

成年向

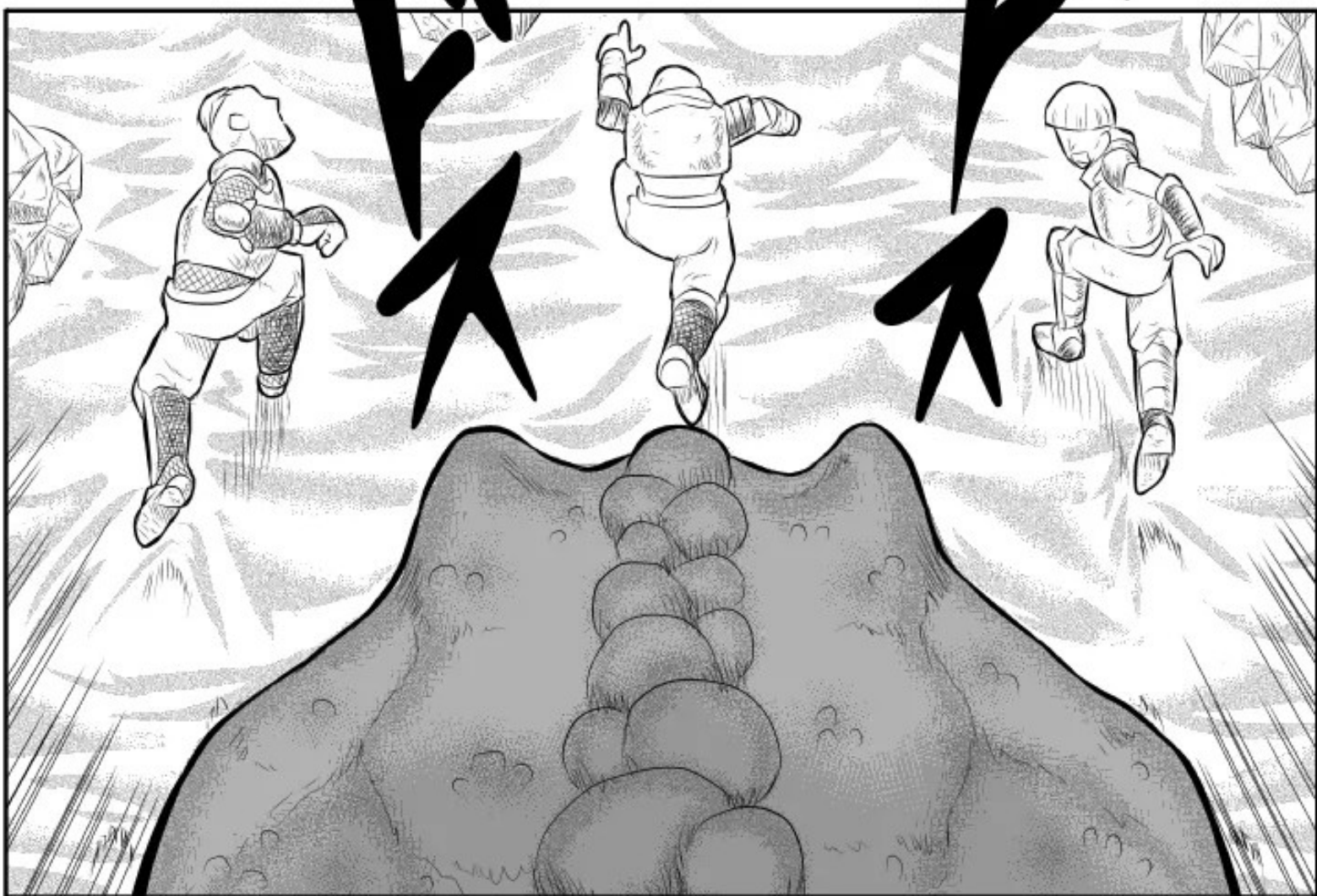
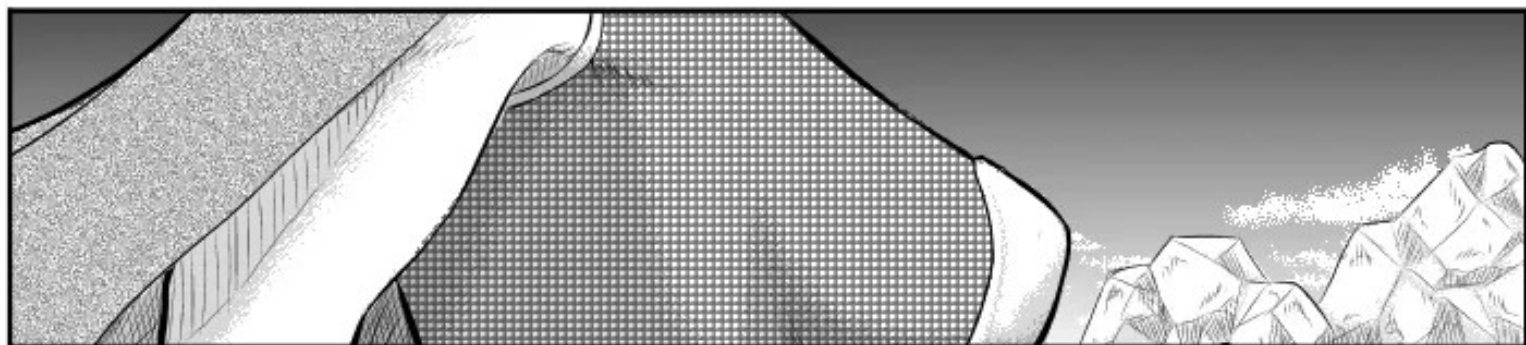
だまされ
美剣士

30



総集編

だまされ美剣士コロナ総集編



だから砂竜に
手え出すなっ
つったがっ！
だろうがっ！



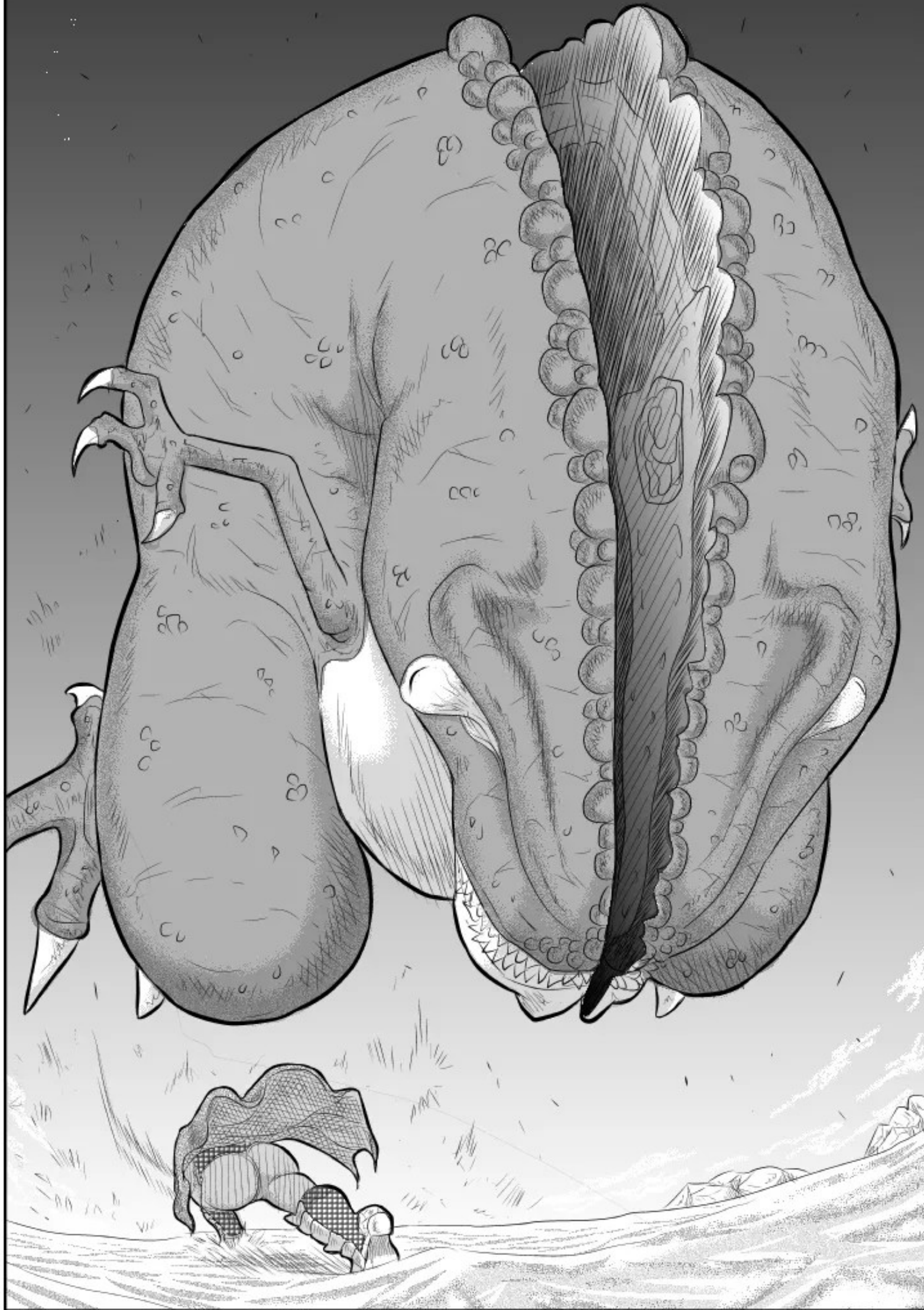
いれから
走れ走れ
死ぬぞおっ！

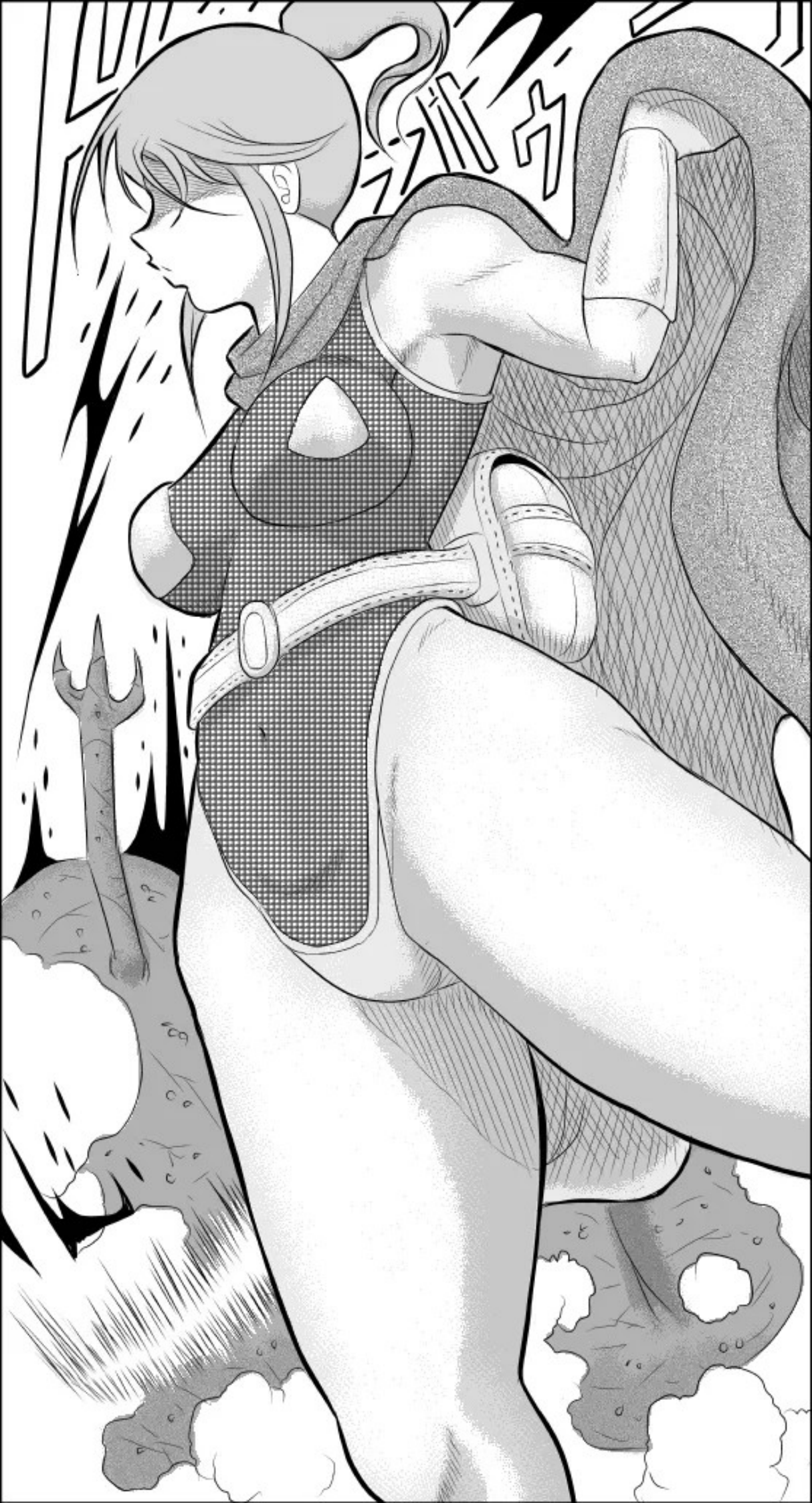
ヤバイヤバイ
無理無理
無理無理っ！

人...?
人...?

おおいお！
逃げろお...









紅のコロナか……

大丈夫か？

あ……ああ
すまねえ
命拾いした

燃えるような赤毛に
竜骨刃の長剣……

あ……
あんた……
辺境一の剣士



全員普段はこの街で屋台引いてるしだいで

……それがどうして冒険者の真似事なんかしている？

いや……ちよつと商売が厳しくて……おまけに家には病気の力カアと腹をすかせたガキが

嘘つけ
コラ

博打で返すのに一攫千金狙ったんだろうが

にしてみても慣れないことはするもんじゃねえっすね

武器も全部ぶっ壊して結局大損で……

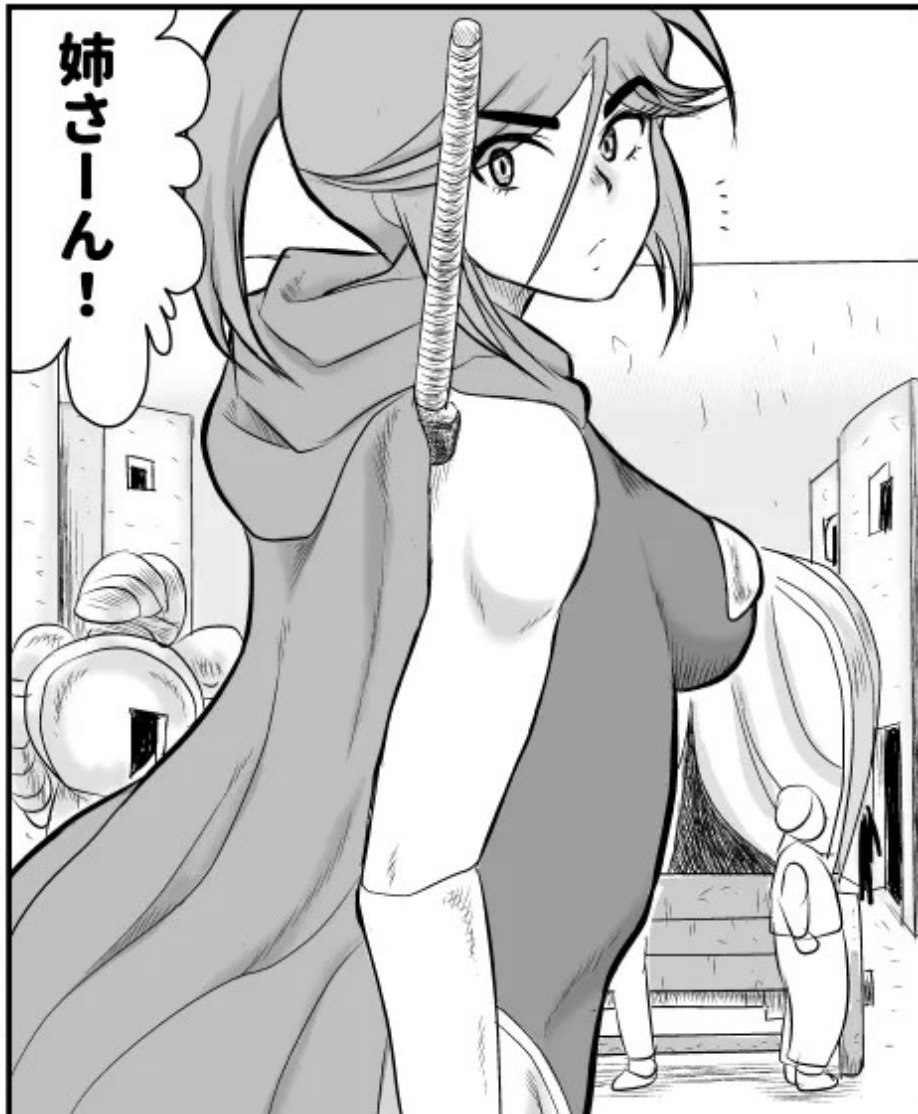


姉さーん！

困りますってこれ！

砂竜しとめた報酬でしよたこんなん丸々渡されても

気にするな受け取れ



お前達の
家族愛はの
賞賛されて
しかるべきだ

では
本来の依頼が
あるのでは
ご家族の
健勝を祈る！

あ……
あのう……っ



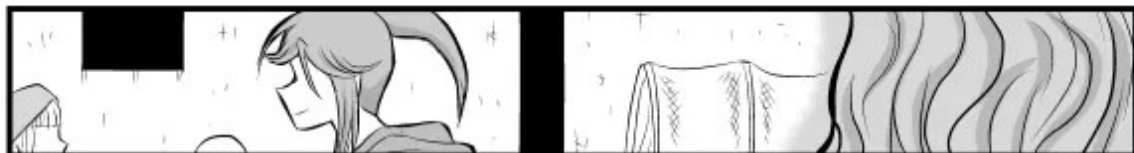
私も
ささやかながら
その一助に
なれたら幸せだ

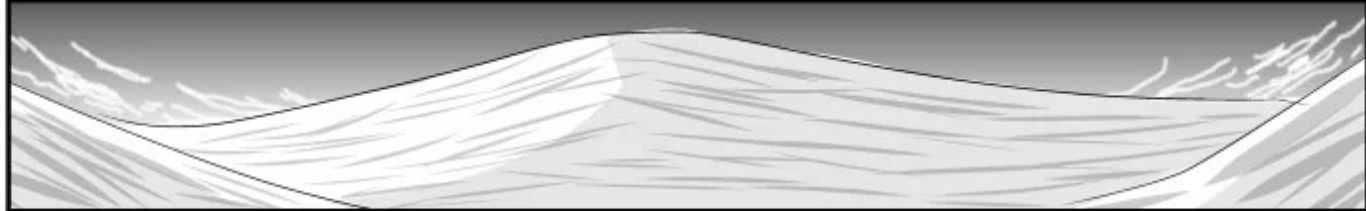
信じ
ちゃったよ
どうすんだ
これ

そういや
聞いたこと
ある

紅のコロナは
めっちゃくちや
腕が立つけど

めっちゃくちや
だまされやすい
アレだった





オアシスに
出没する
大砂竜を
退治せよ……か

砂漠都市で
水源地の確保は
絶対だしな



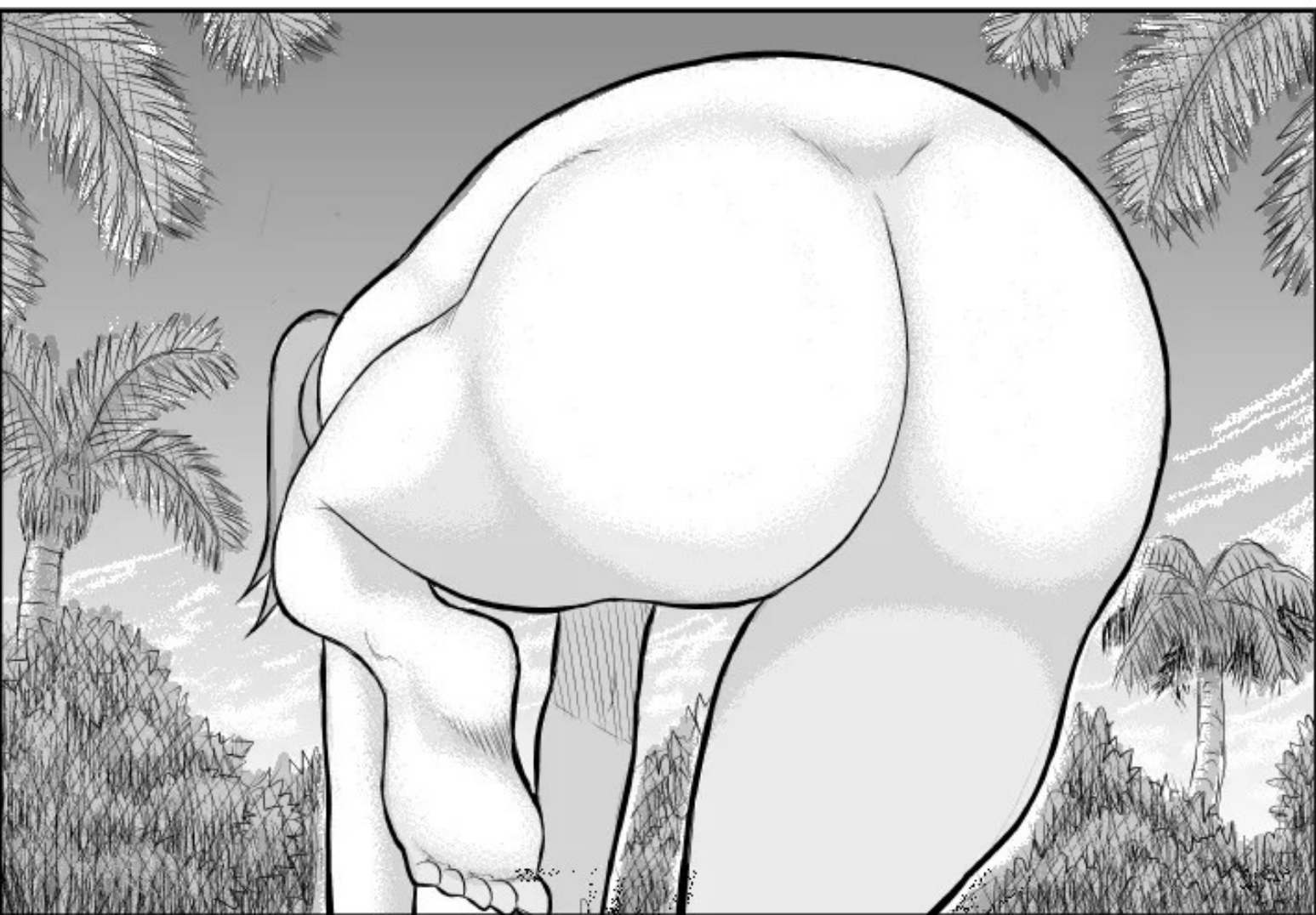
街で
食料も
用意済み

あとは
じっくり
腰をすえて
待つとして……



お

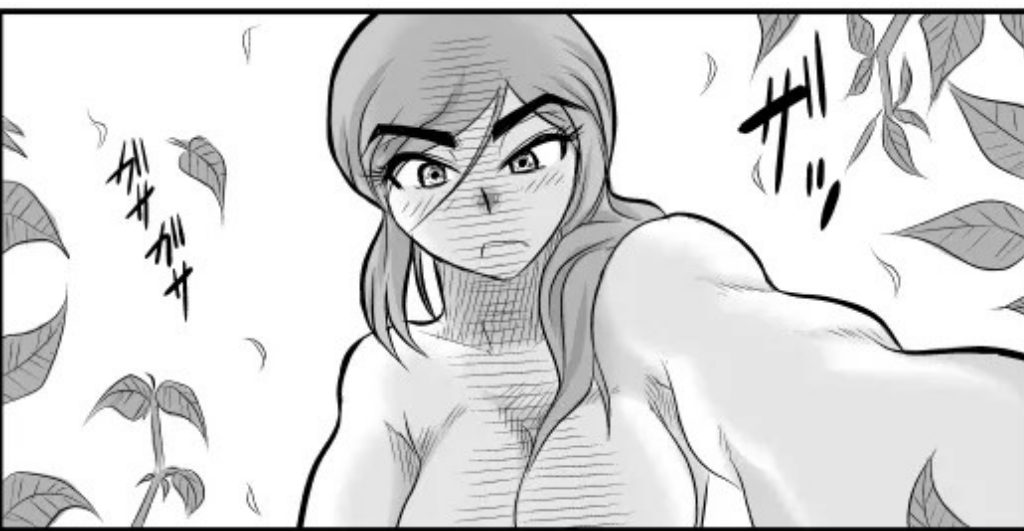
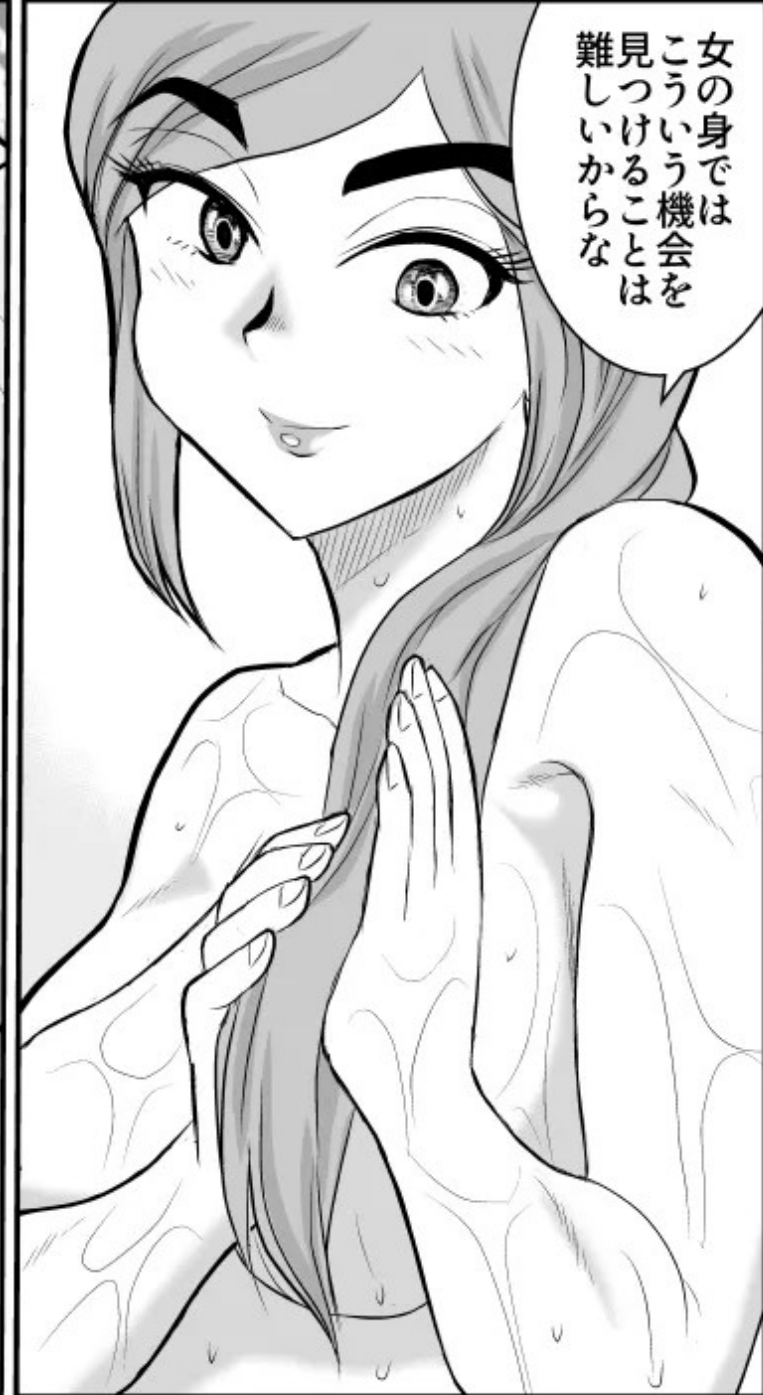
素晴らしい
水辺だ

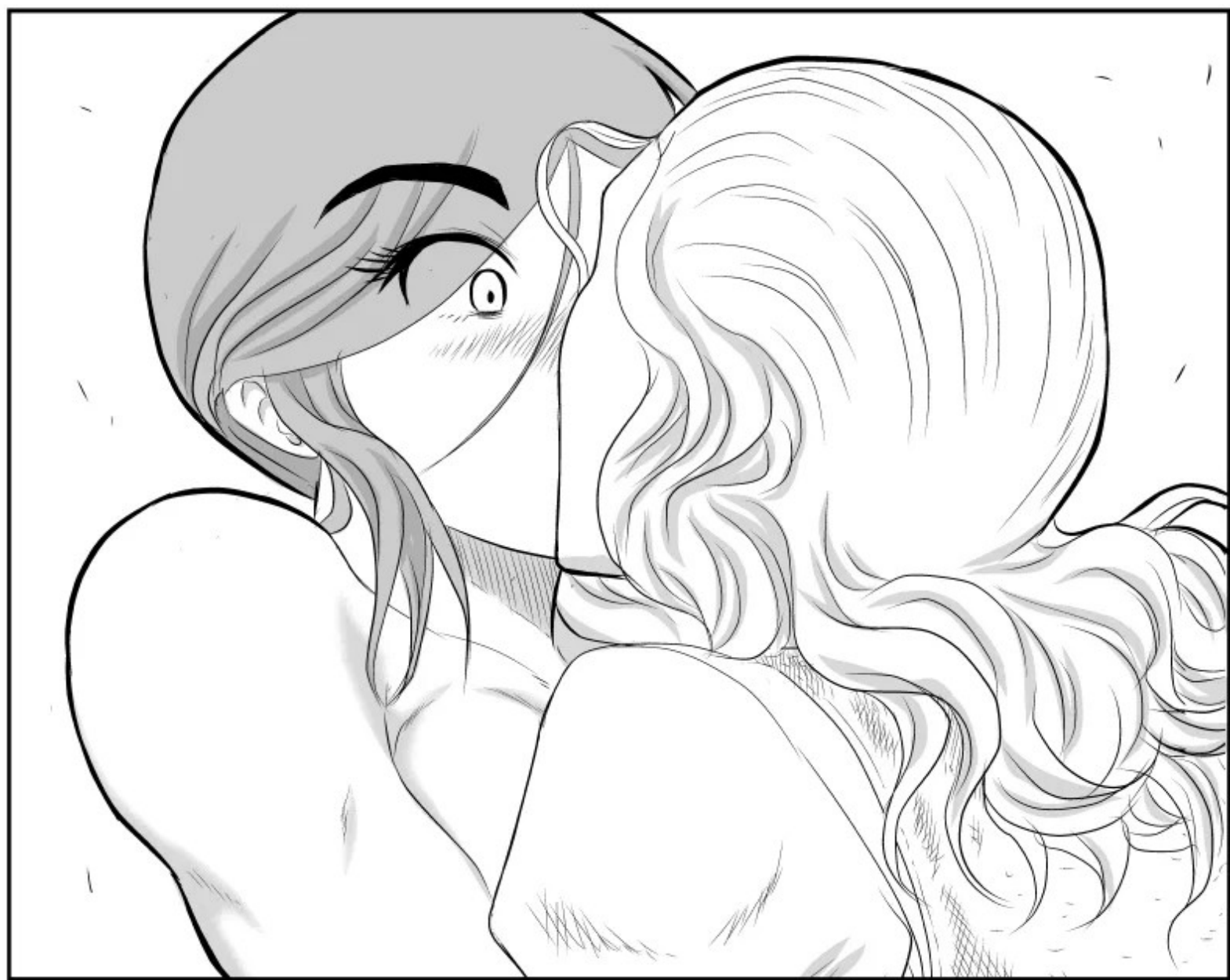


はあ
気持ちいい



砂漠踏破の
汗砂まみれの
身体が返るな
生き返るな







手伝い……？
私は基本
ソロで
動くから
助勢は不要と
ギルド長に
伝えただが

ええ
そう聞いて
ます

大変
失礼しました
砂の街の
冒険者で
アランと言います

コロナさん
のお手伝い
きました

なら何故
ここに

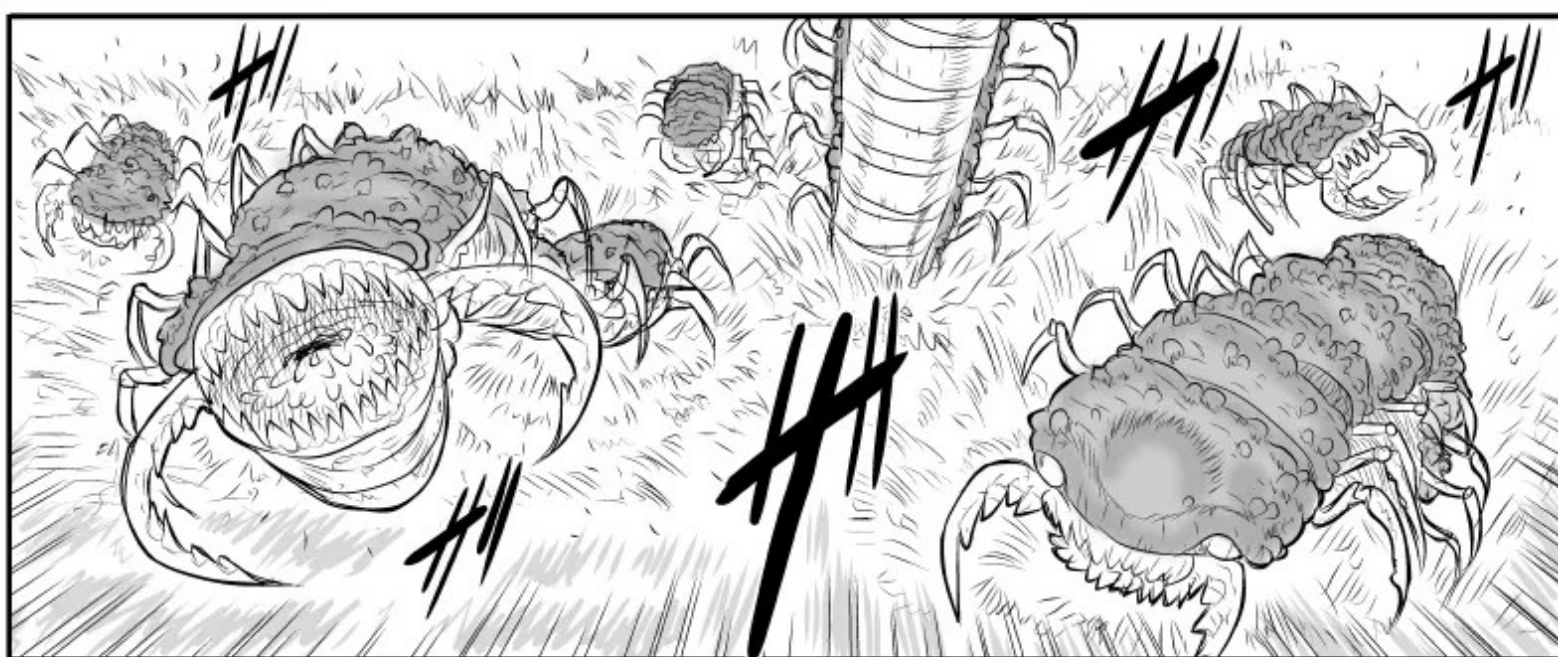
おまけに
裸をのぞき
く……唇まで

コロナさんは
大砂竜討伐のため
ここに
いるのでしょう

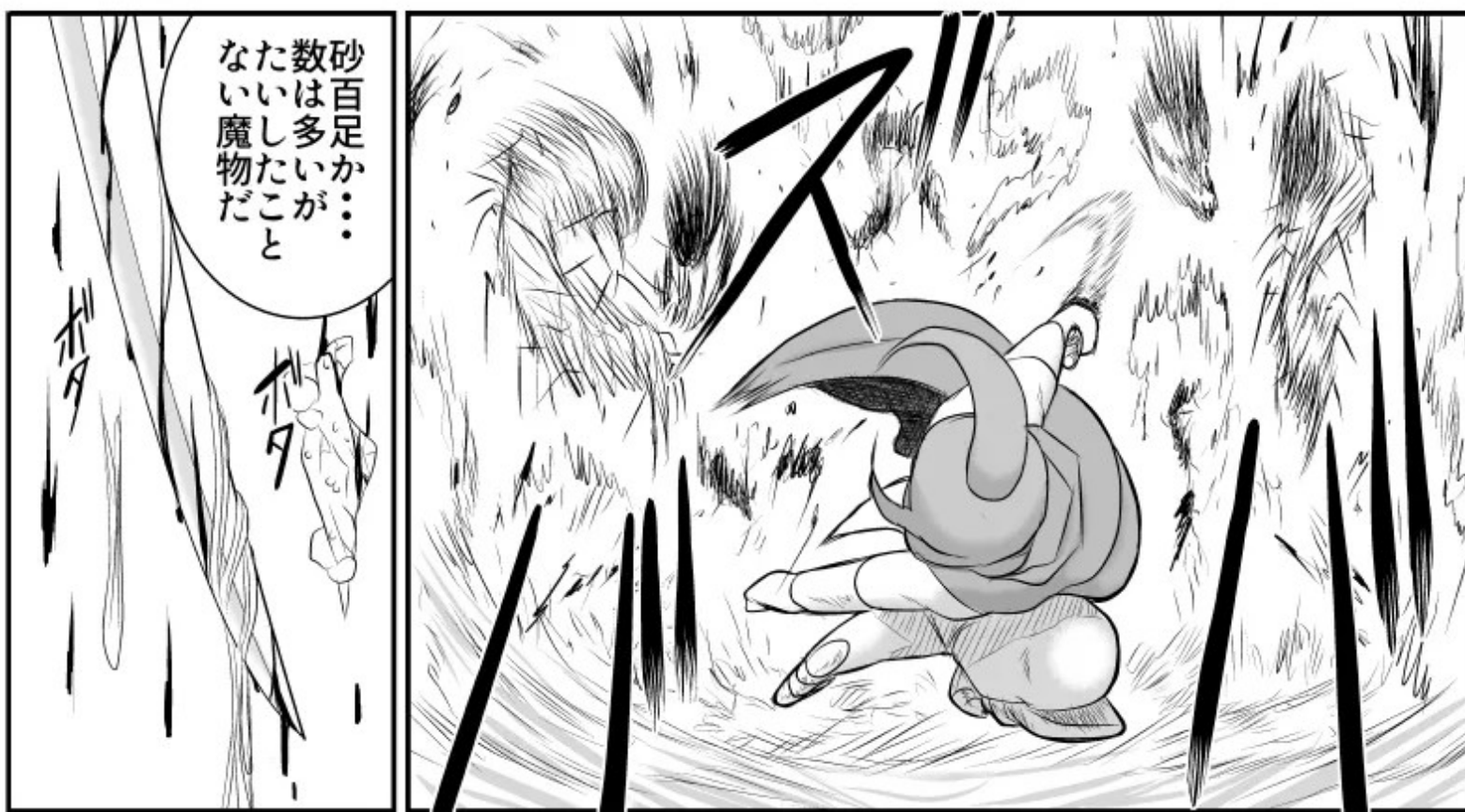
あの怪物は
街の住人を
何人も
喰い殺してます

私の……
恋人も……
く……っ

サササ



砂百足か……
数は多いが……
たいした魔物
じゃないこと



それを相手に
そのザマだ



言っではなんだが
お前の腕では
大砂竜を
どうこう
できると思えんぞ



わ……
わかって
ます……

それでも
奴は仇……
せめて一太刀
あびせないと
気が済まないんです



むう……

それがダメなら
いっそ私を
生餌にして
奴を倒して
ください



そうすれば
せめてもの
……
痛っ



「紅」を
侮るなよ
アランとやら



とどめの
一太刀は
譲ってやるから
死なないことだけ
考えろ

そこまで
言うのなら
共に戦うがいい



ありがとうございます
コロナさん？！

ひゃんっ！

ちよ……
こらっ！

だ……だから
いちいち
くつつくんじゃ
……

すいません
さっきも
言いました
あなたは
恋人によく
似ている……

その赤髪
顔つき……
いや……

女豹のよう
に力強い

瞳だけは違
う
黒曜石のよう
に美しく

あ……

や……



あのう
コロナさん
入って
いますか



ん……っ

ん……っ



見張りが入ってき
てどうする

というか
来るな
節操なしめ

す
いません

不安と彼女との
思いつきがつい……
重なる……



それでは
できません
敵討ちも
あつたが
女性のあ
ひとりの
性残した
でくのは
恥です

……

そういう
台詞は
腕を磨い
てから
言え……

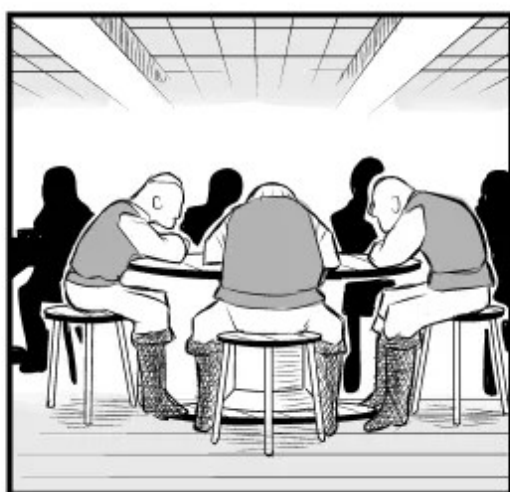
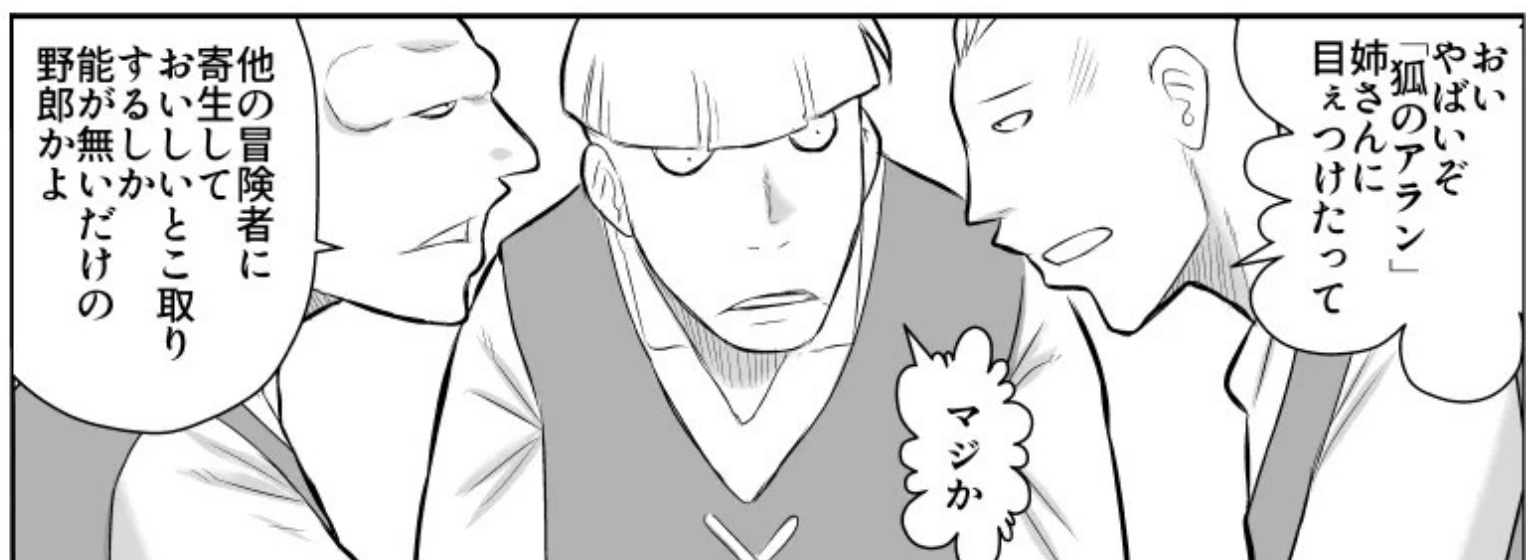
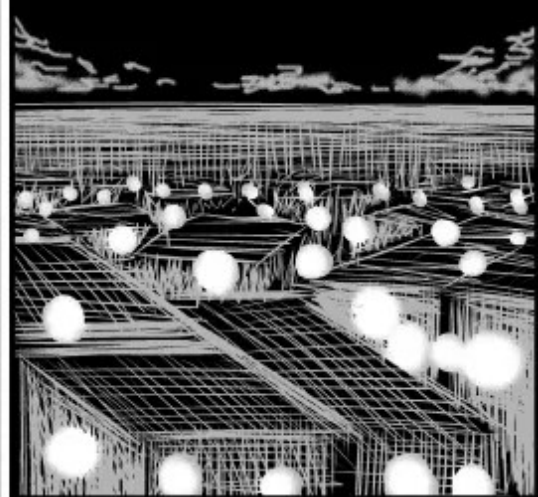
こういうとこ
男らしいと
いうのに……

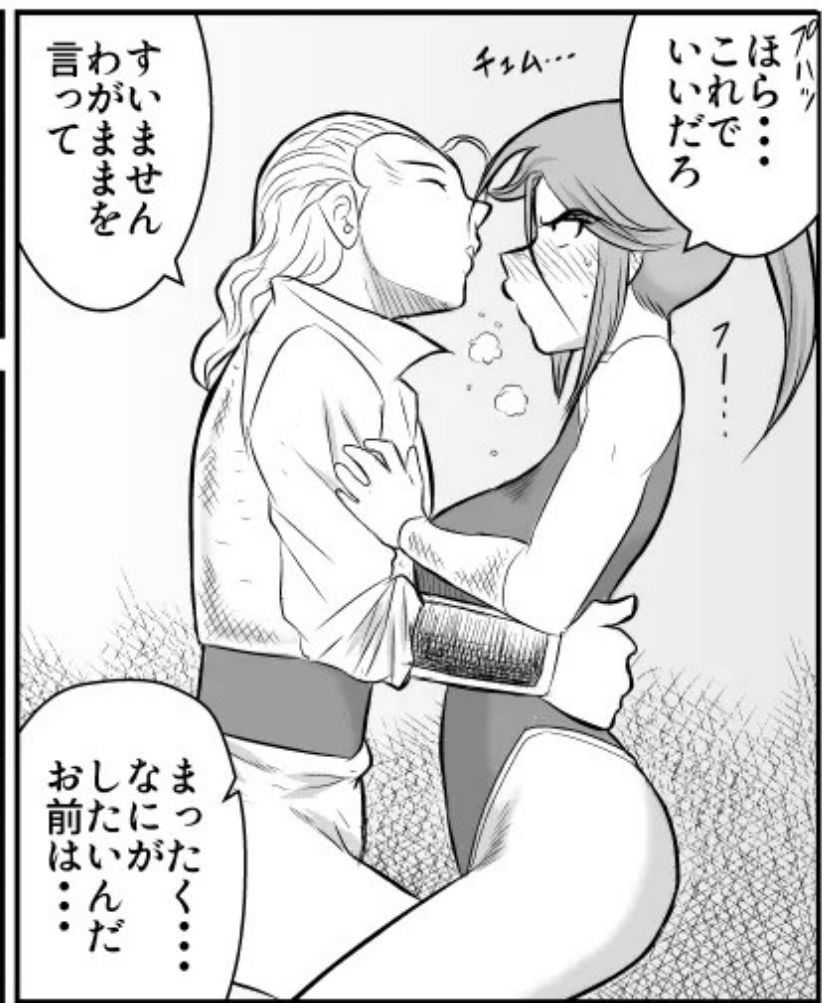
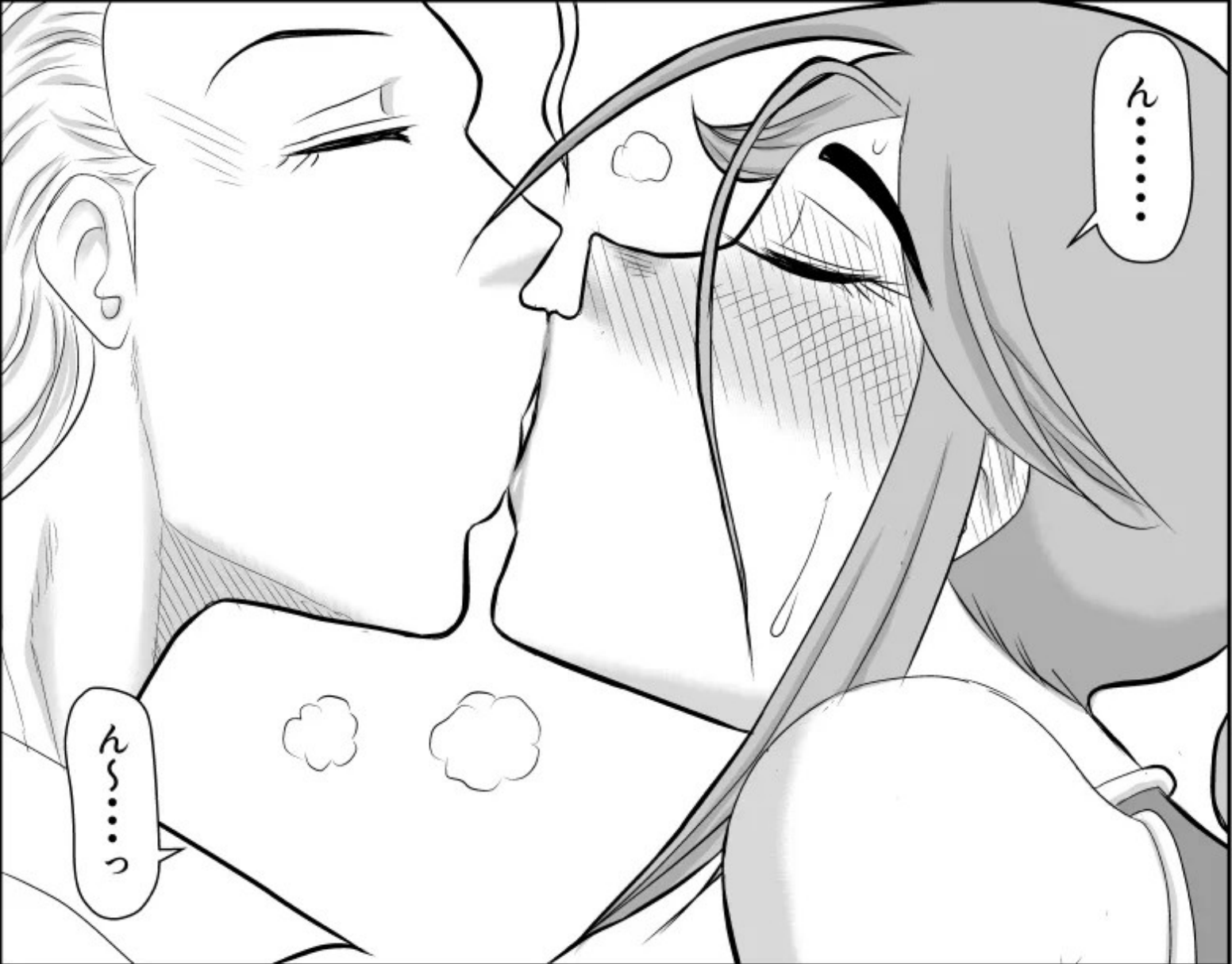


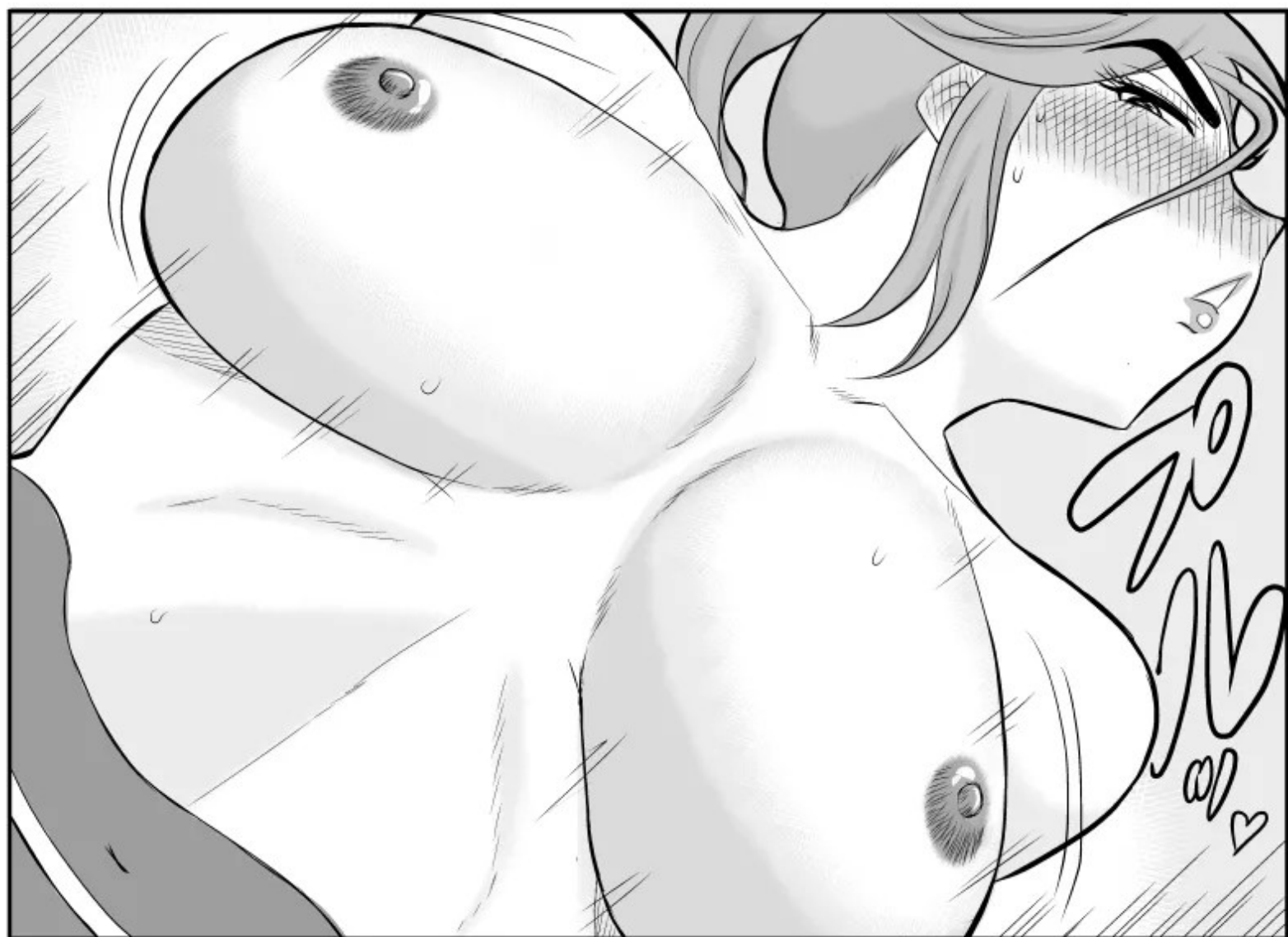
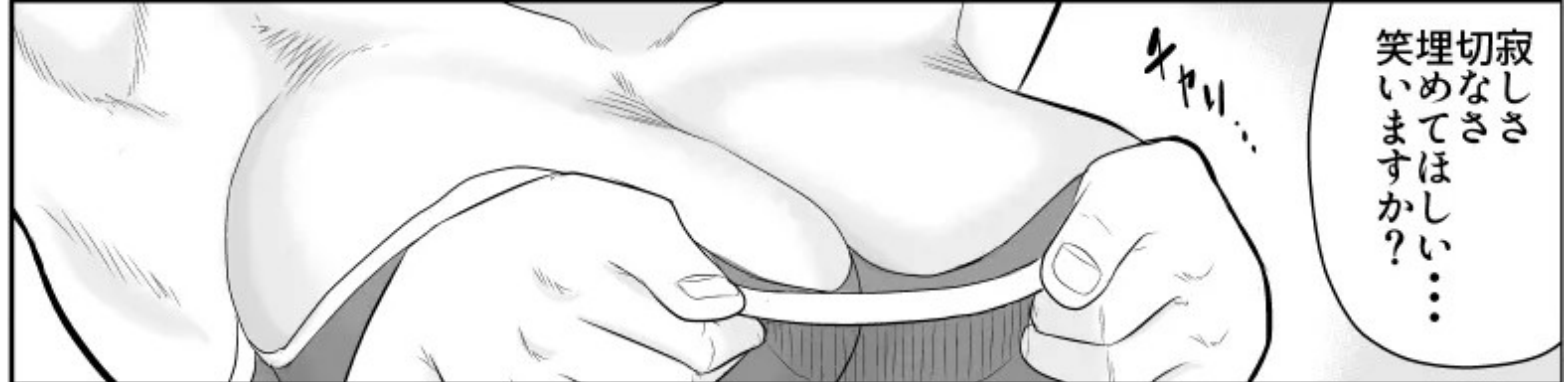
まったく
男というの……

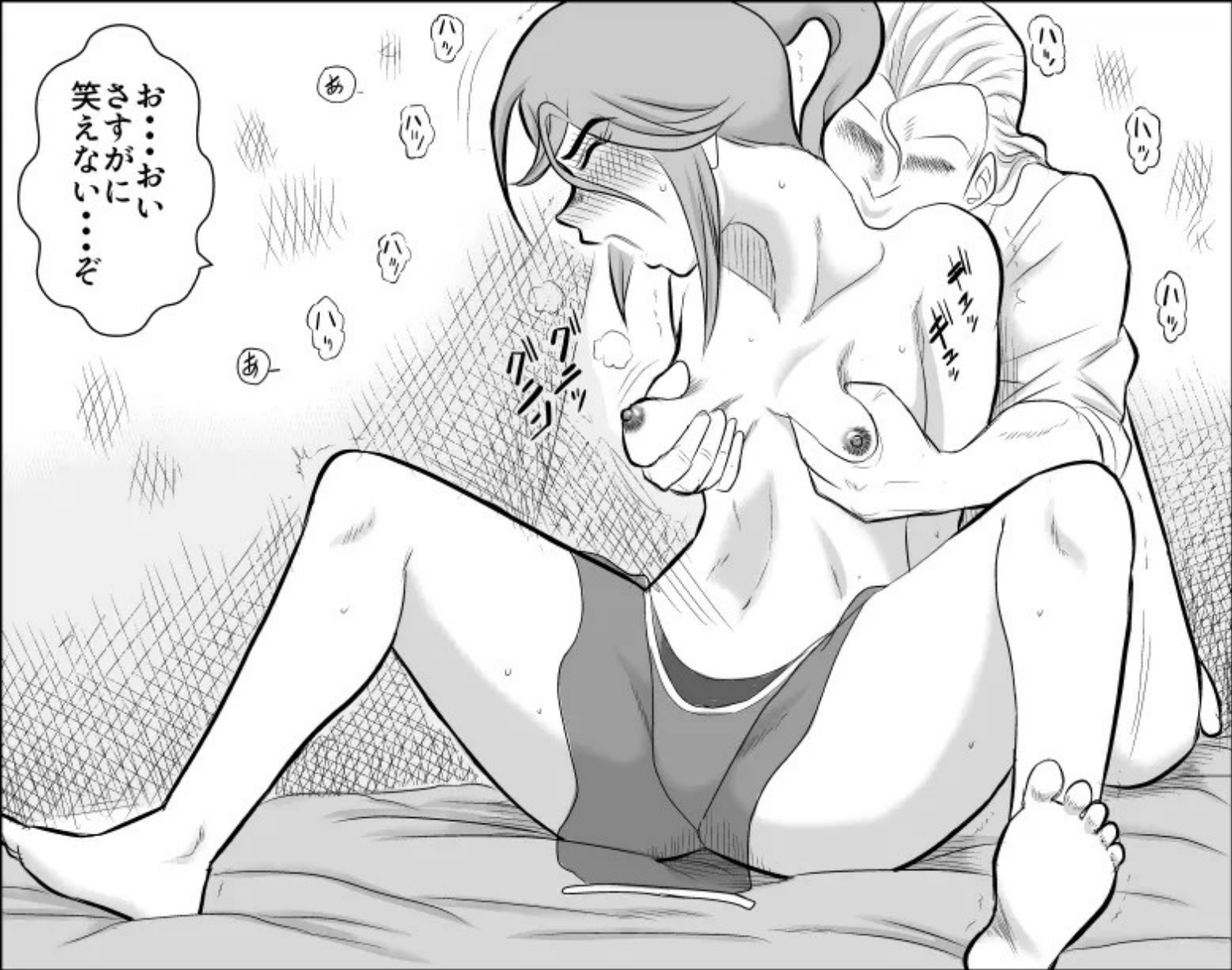
そんなに
恐ろしいなら
おとなしく
街に戻ってろ

どれだけの
似ていよう
別の女に
手を出して
不実の極
みじゃないか

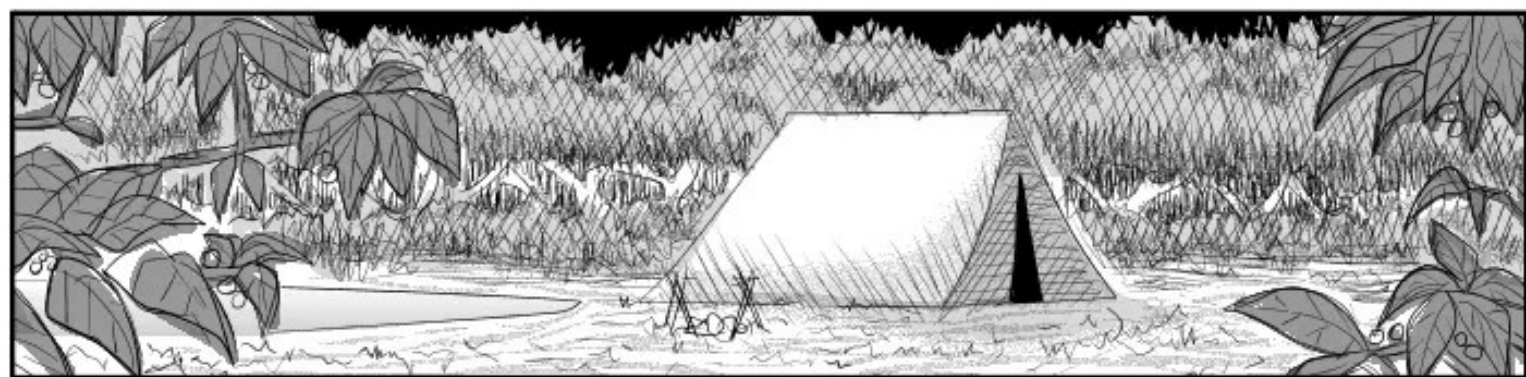
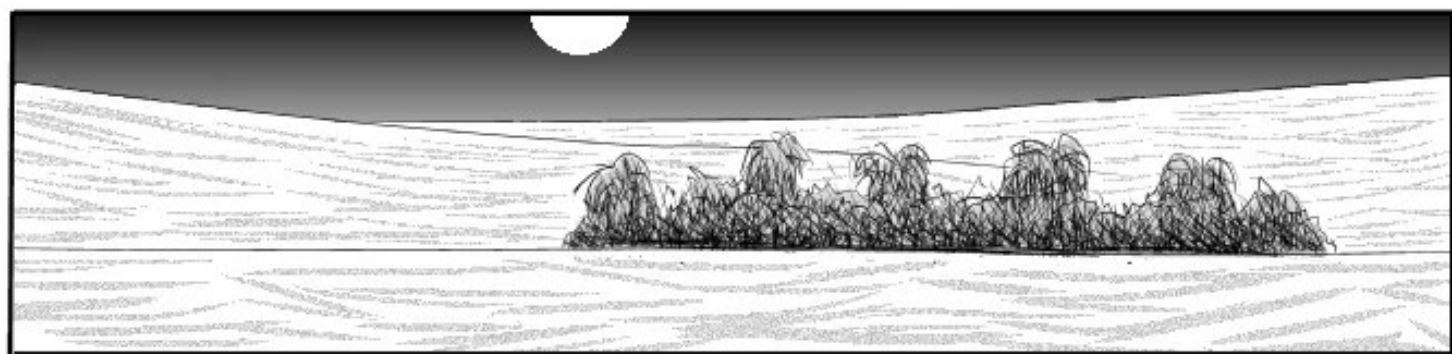
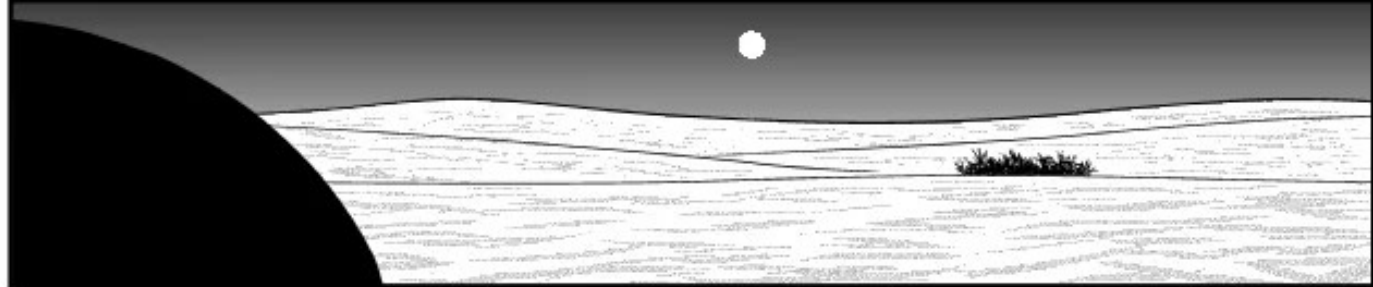




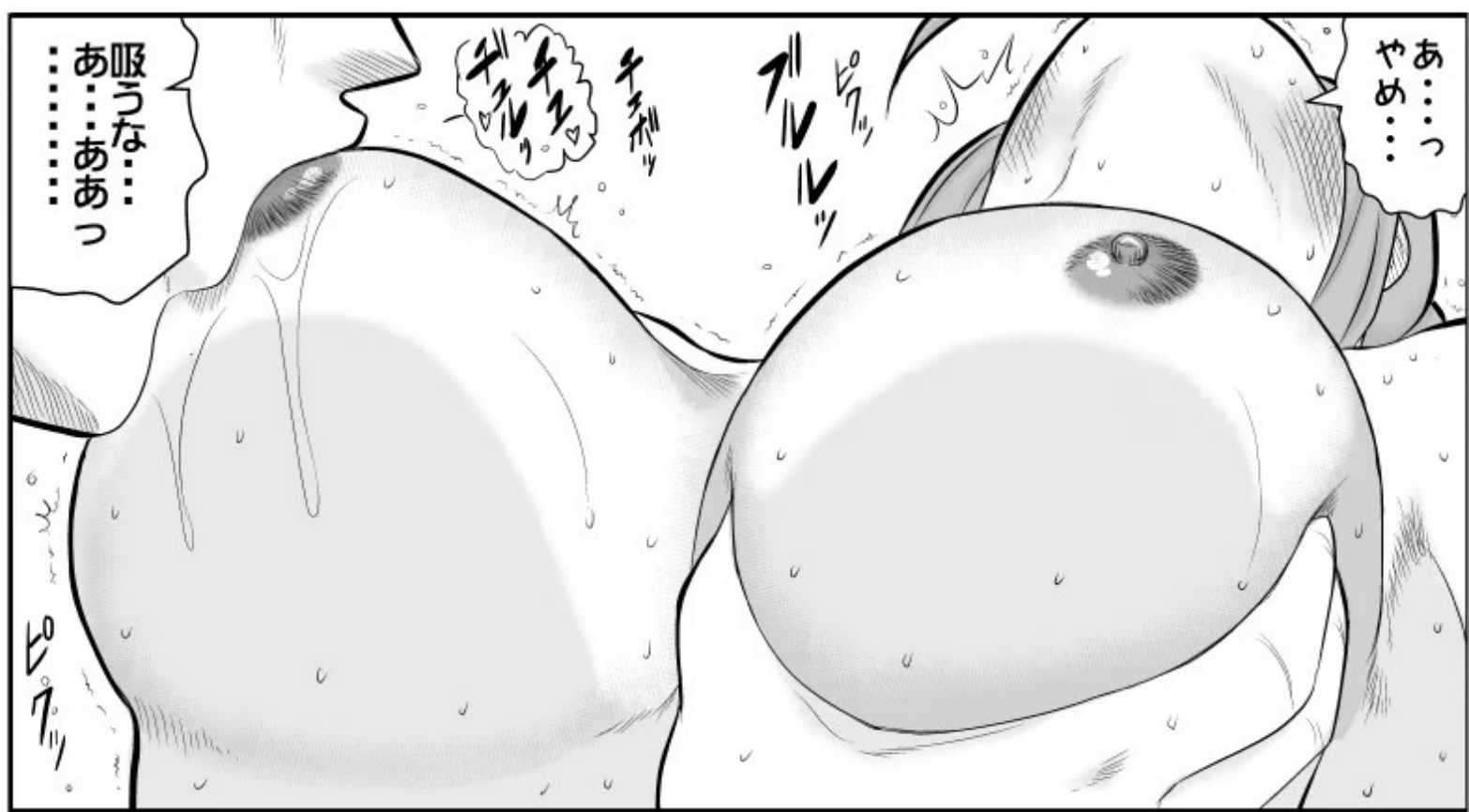


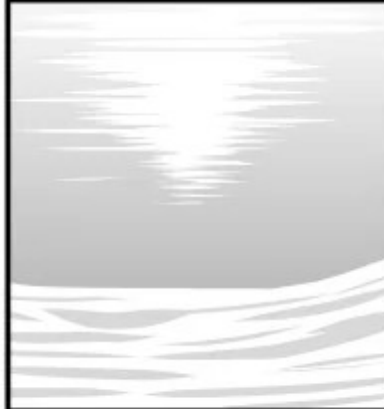










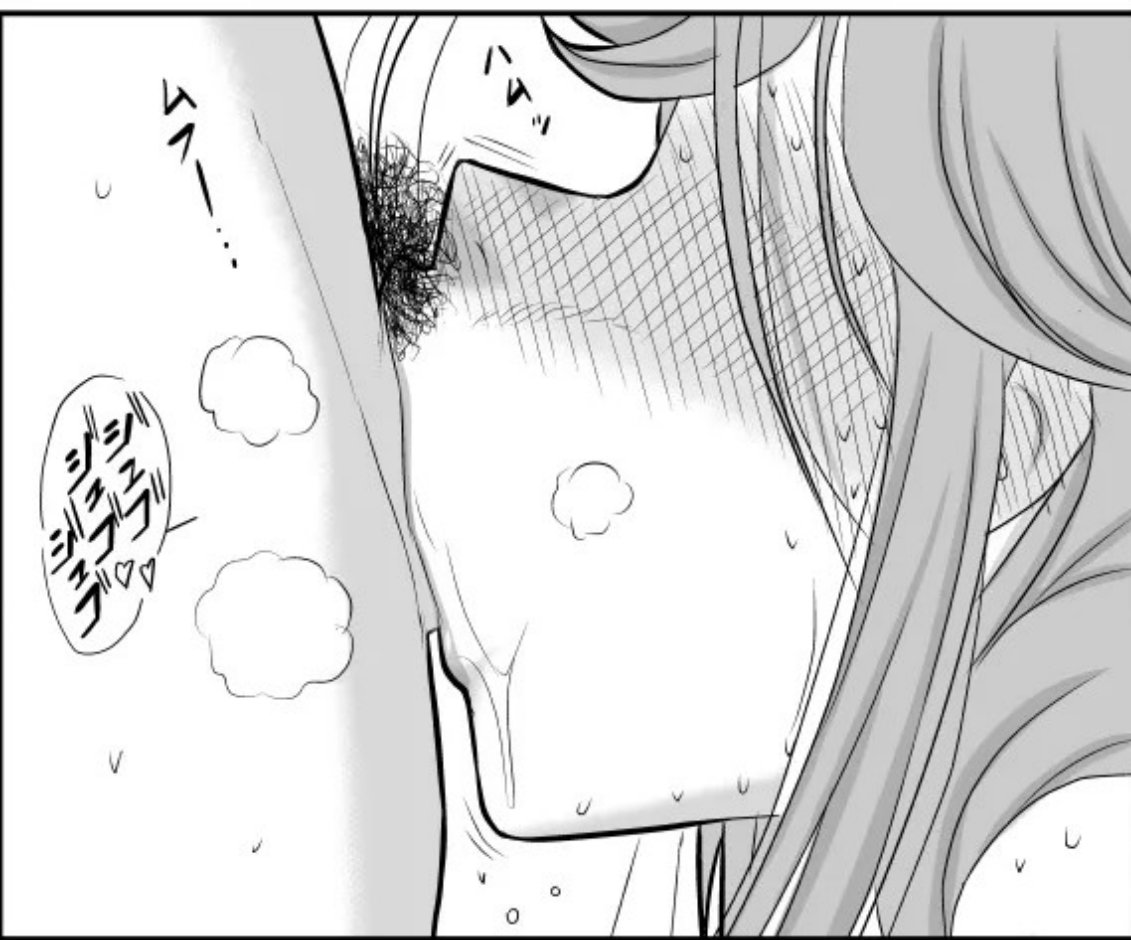


ほら
気が済んだろ
とつとと
どけ……
おいっ！
なんで
かぶさって
くるっ！

まだまだ……
これからが……
本番ですよ……

……の

いいかげんに
……ンッ……！
……ン……
……ン……
……ッ！



ん…
ほら…
キレイになったぞ

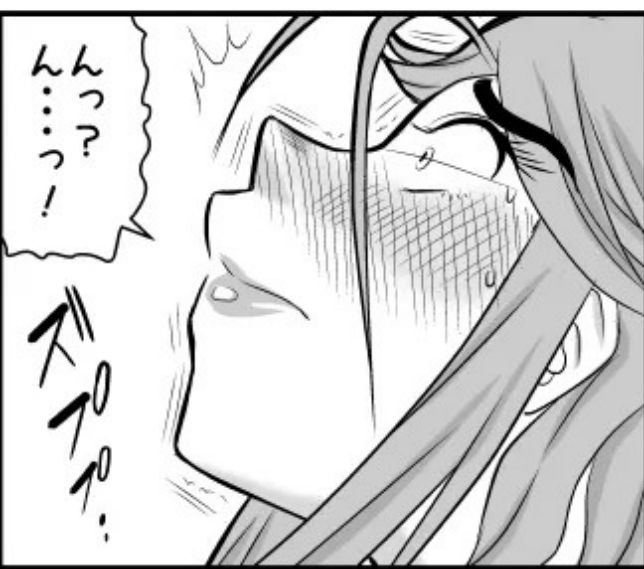
ごくろう様
コロナ

コロナ
1...

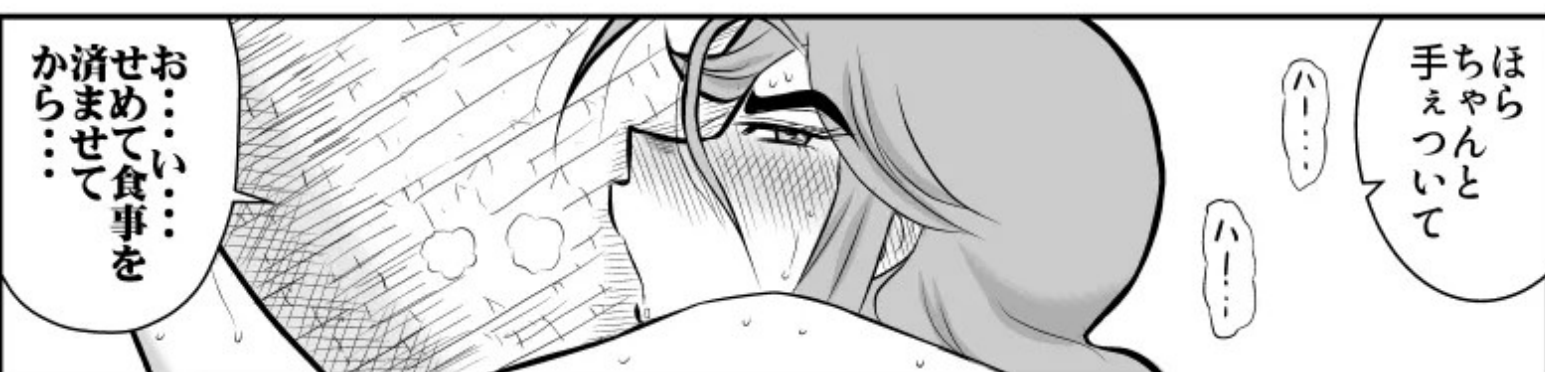
まったく
とんでもない
やつだ
お前は

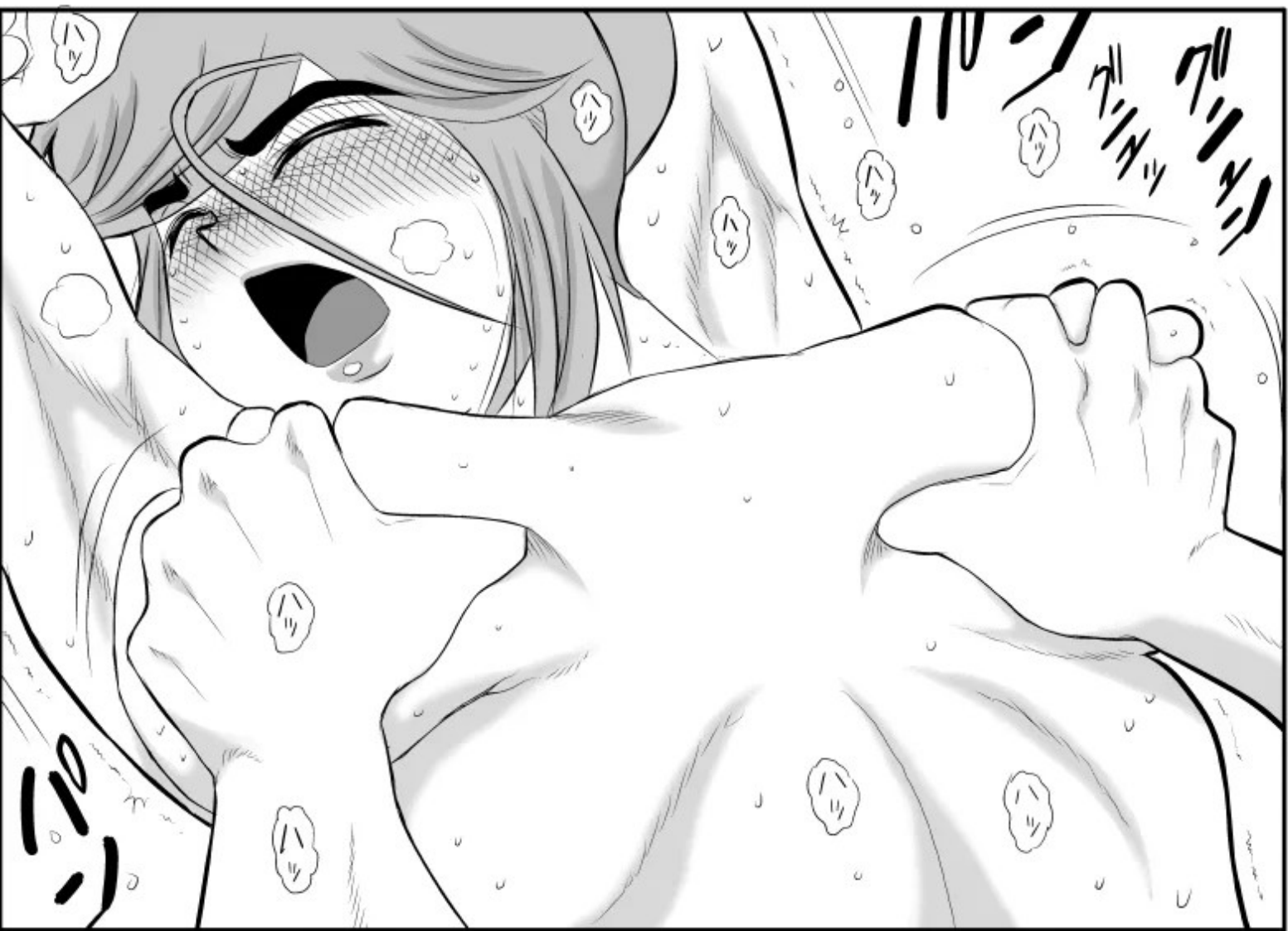
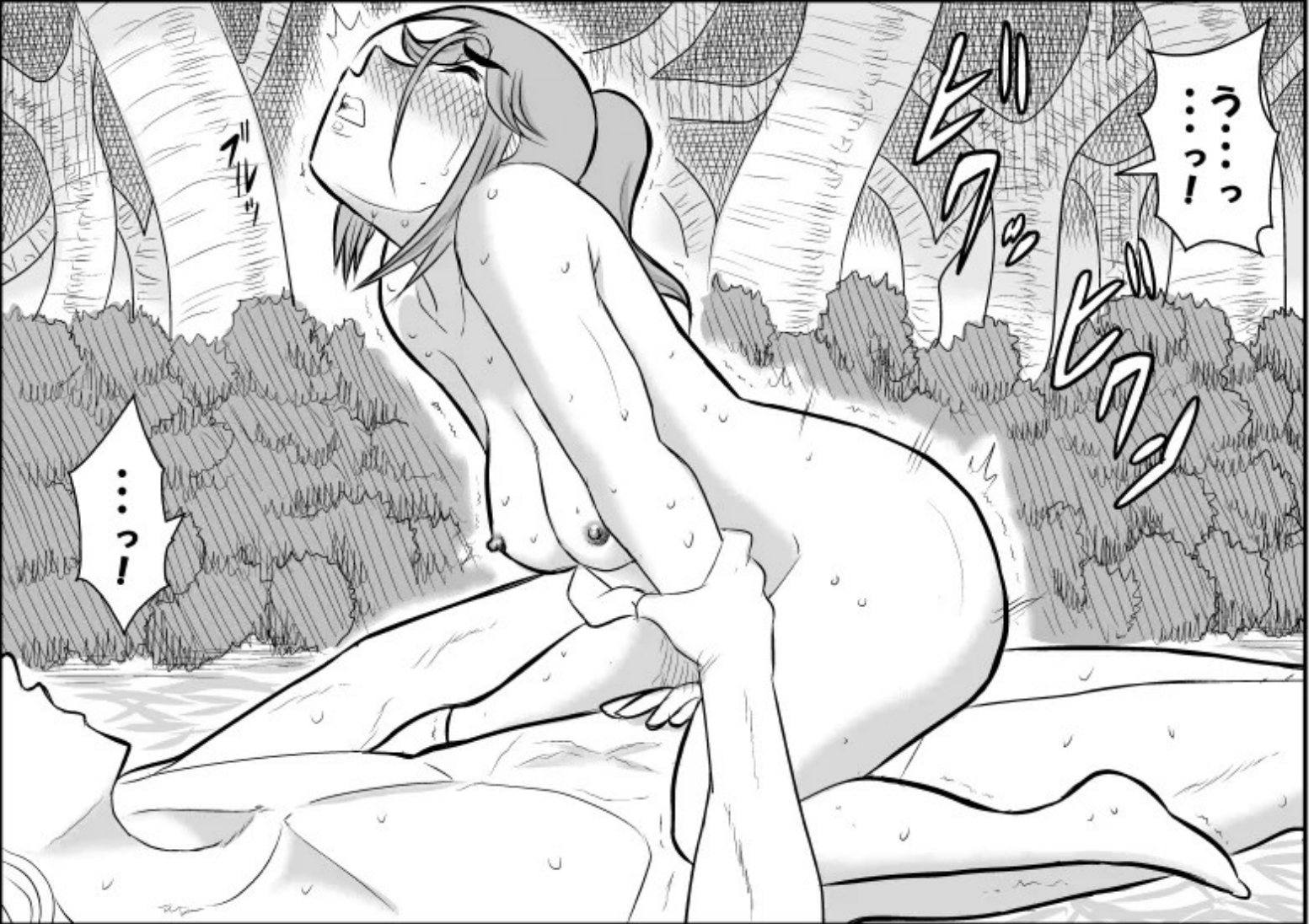
結局
一晩中
私を
なぶりおって



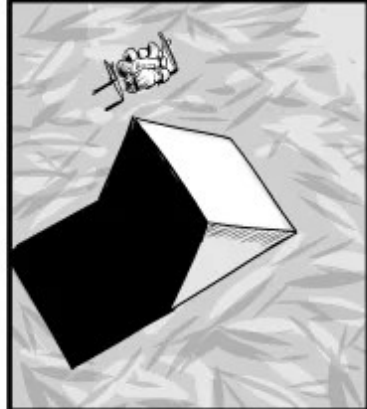














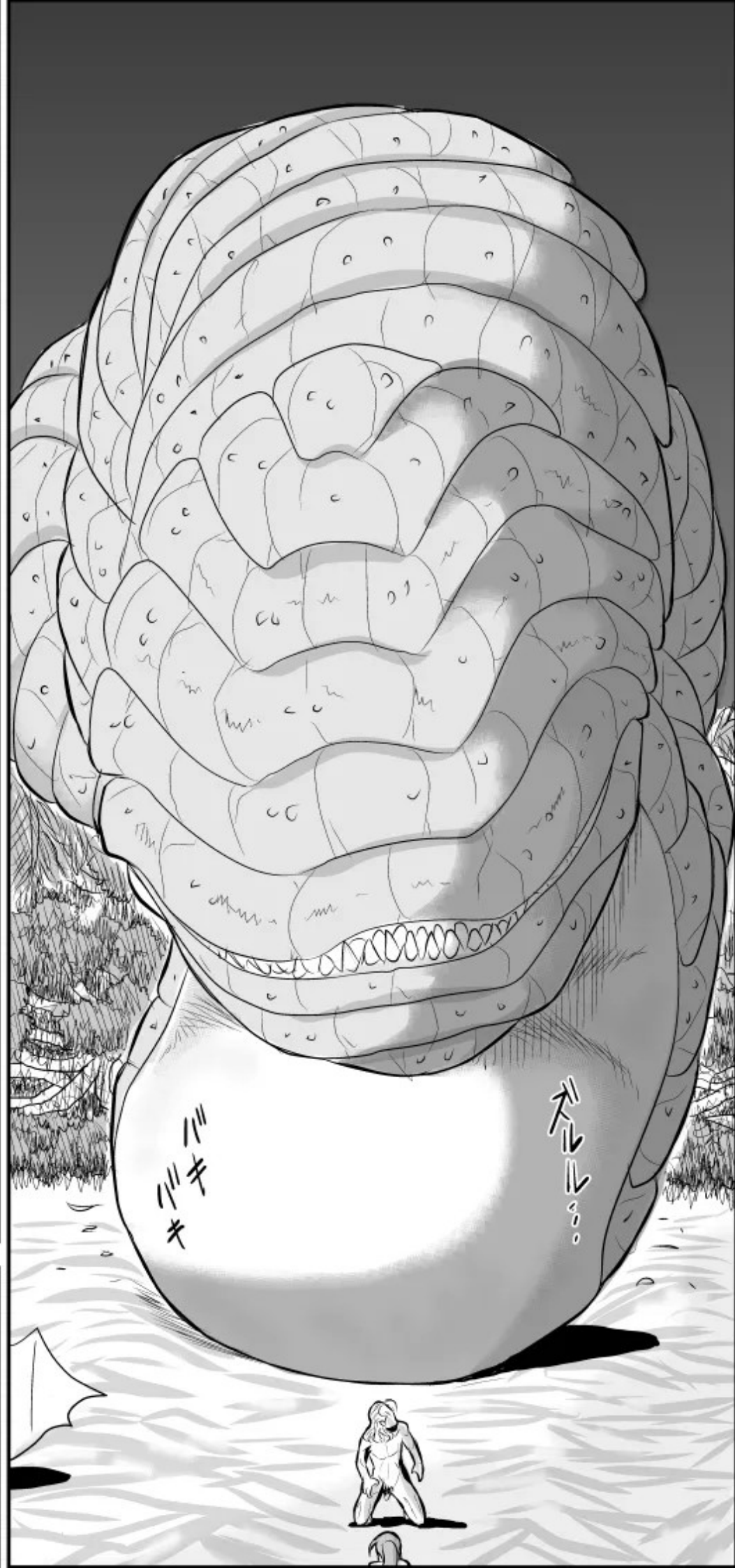


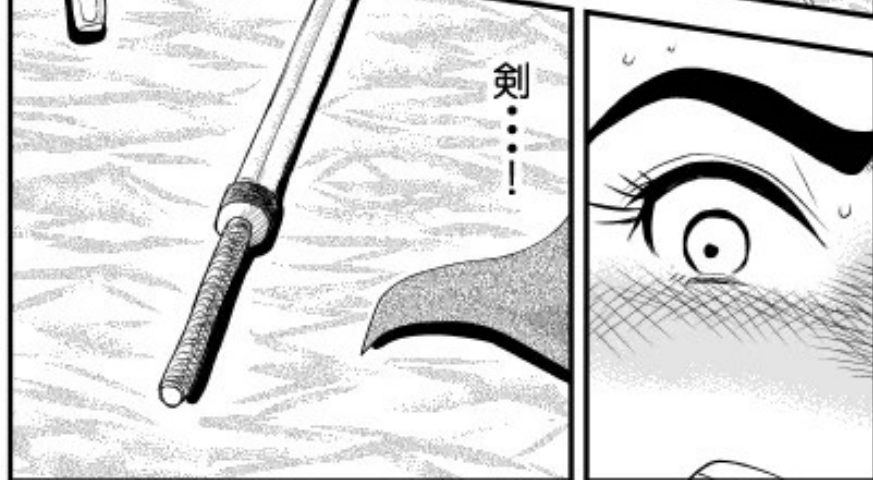
お
お
お

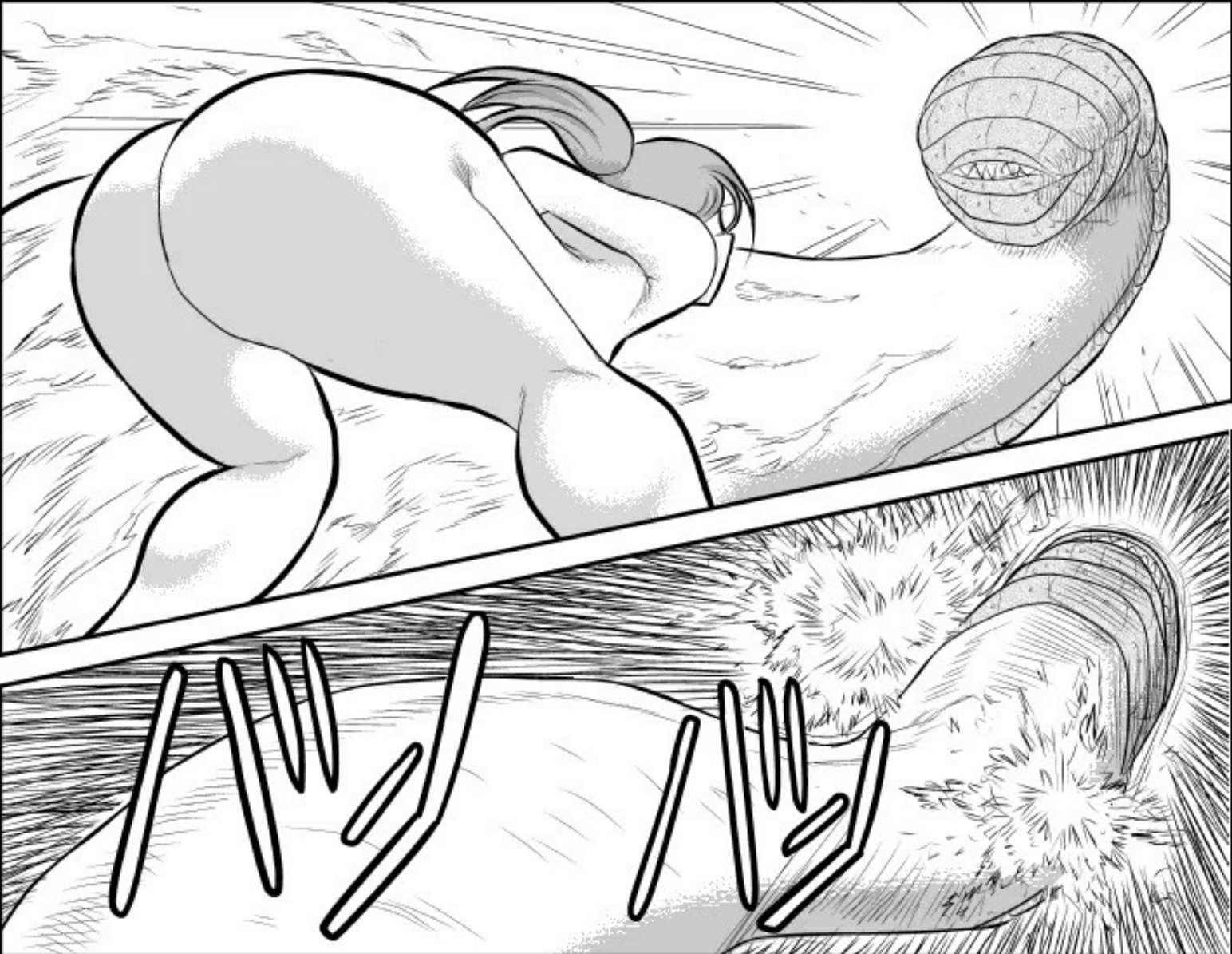
カ
カ
カ

カ
カ
カ

カ
カ
カ







充分だ

ぎやあああつ
来た来たあ！

お前
早くしろ
バカーッ！

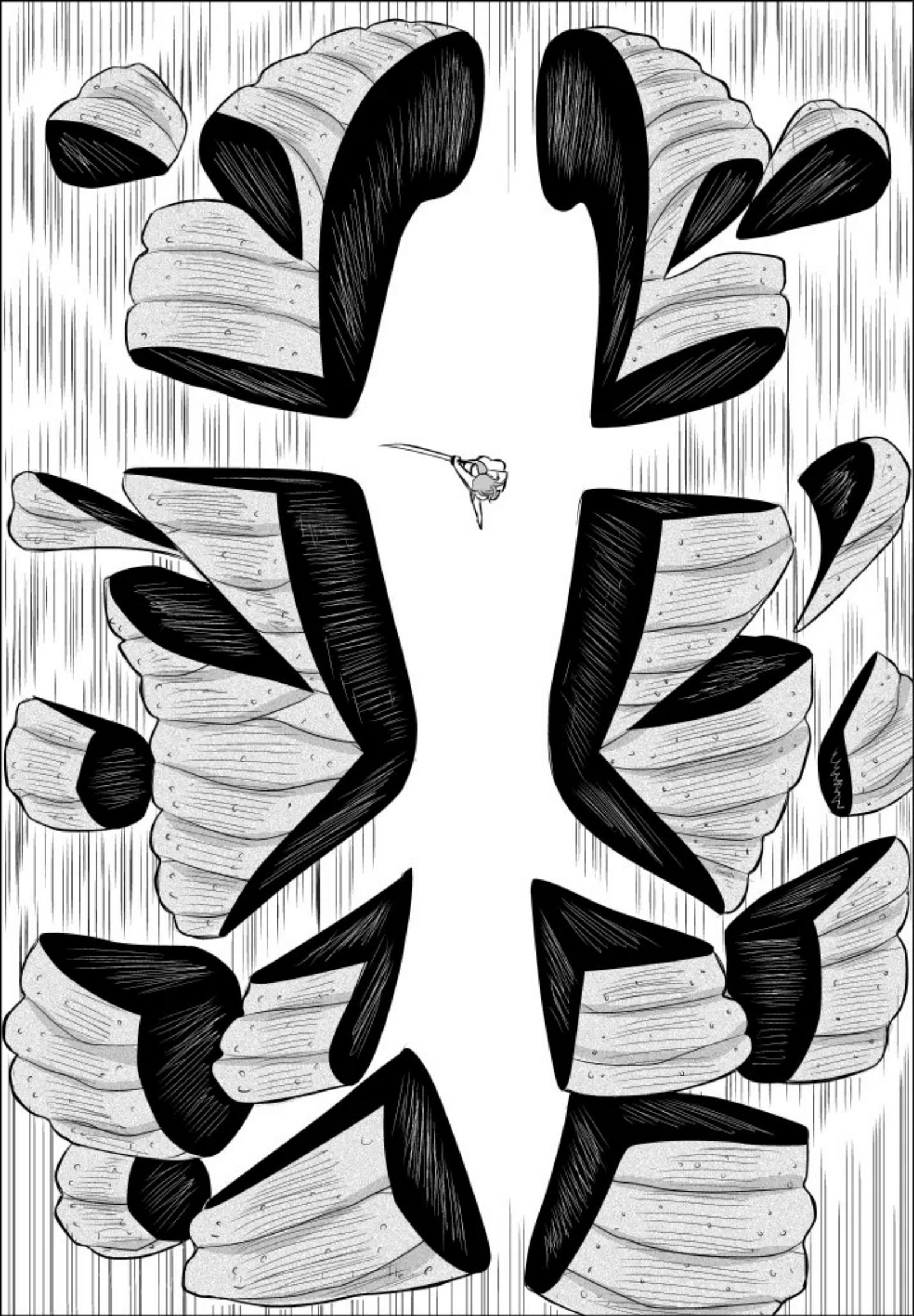
ギヤー

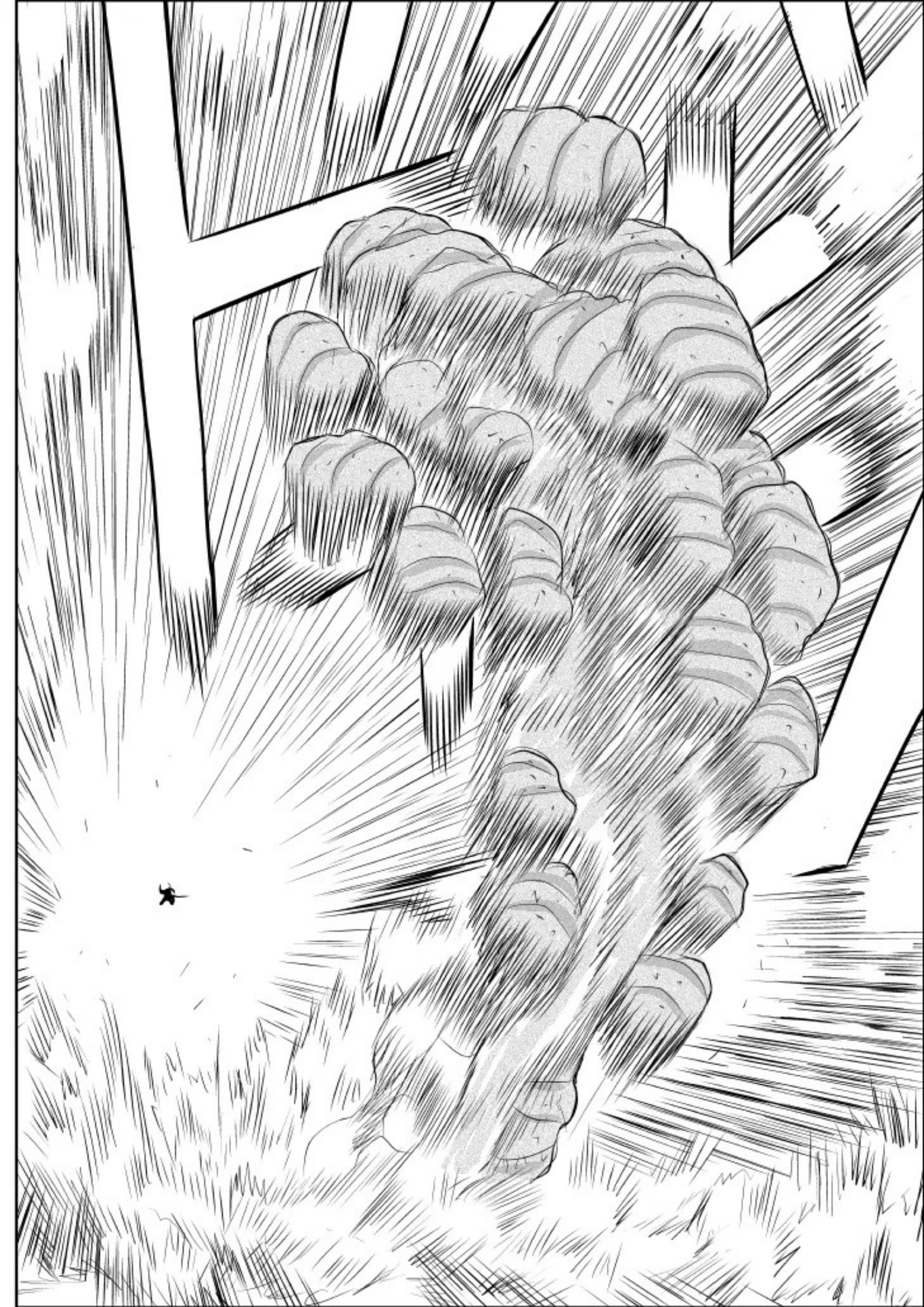
ギヤ

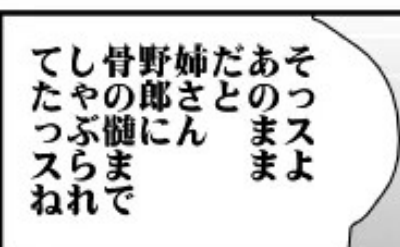
うるせえ！
この…
硬…っ！

よつしや
片方とれた
あとひとつ…

よつしや
片方とれた
あとひとつ…







おい
あの口から
でまかせ
信じられ
てるぞ

全員
独身なのに

ていうか
俺ら一度
命救われてるから
トントンで
ここまでしてもら
う必要ないんだがな

気がつかれたら
殺されるん
じゃね
俺ら

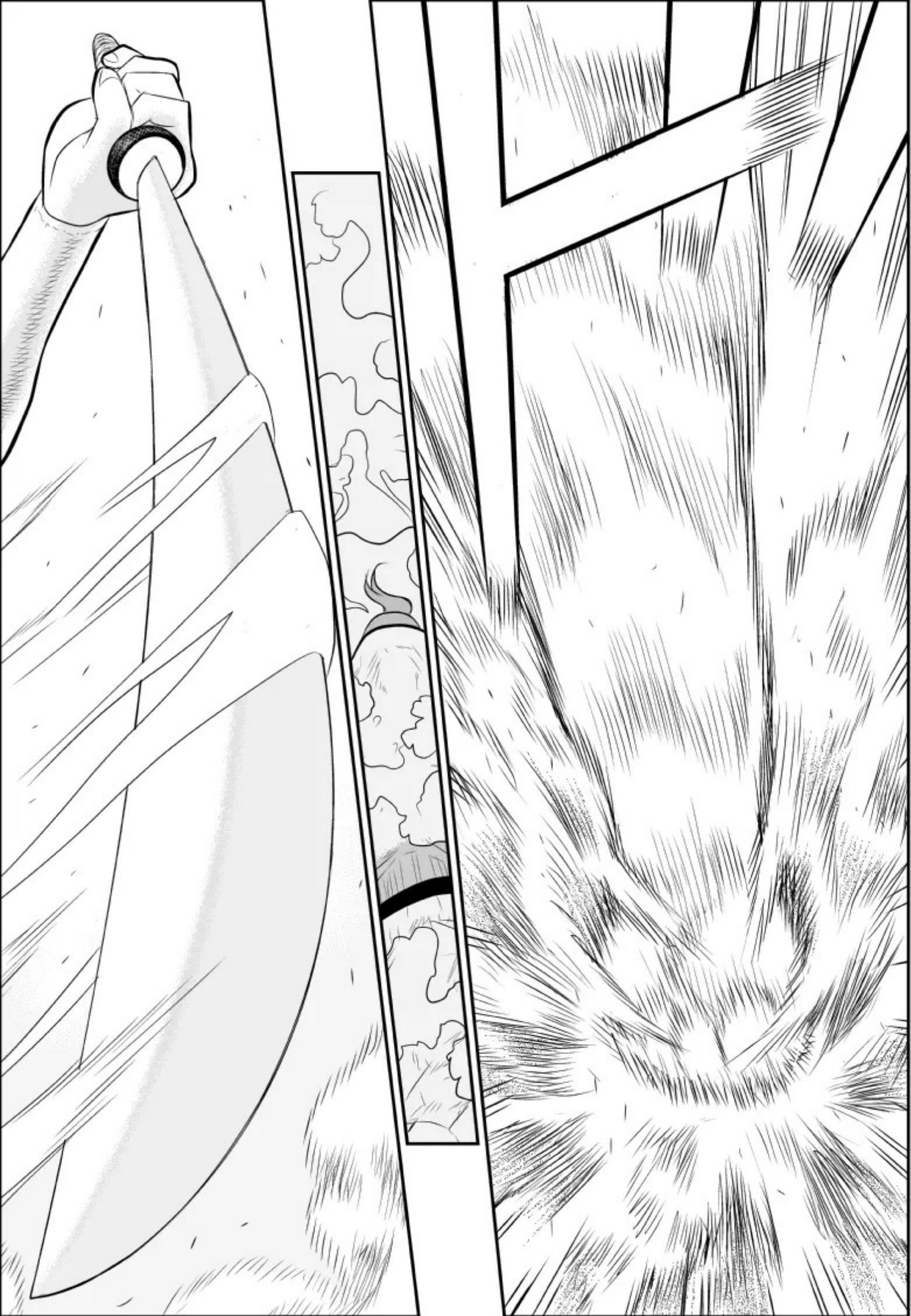
大丈夫だろ
このひとなら

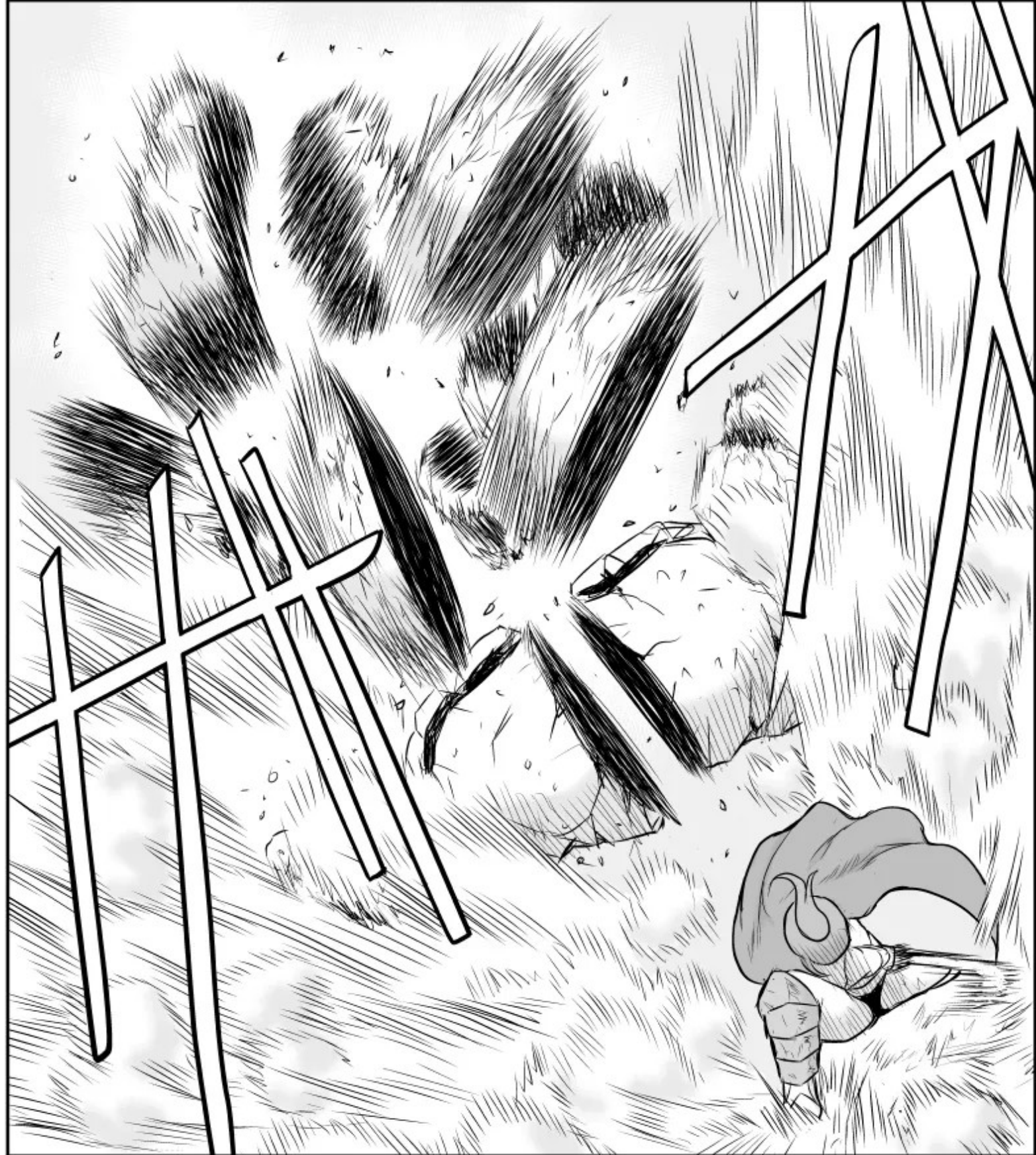
ああ
ああ
ああ



ギガント
その破壊力……
鉄をも砕く……
だからこそ
この新装備を
試せる

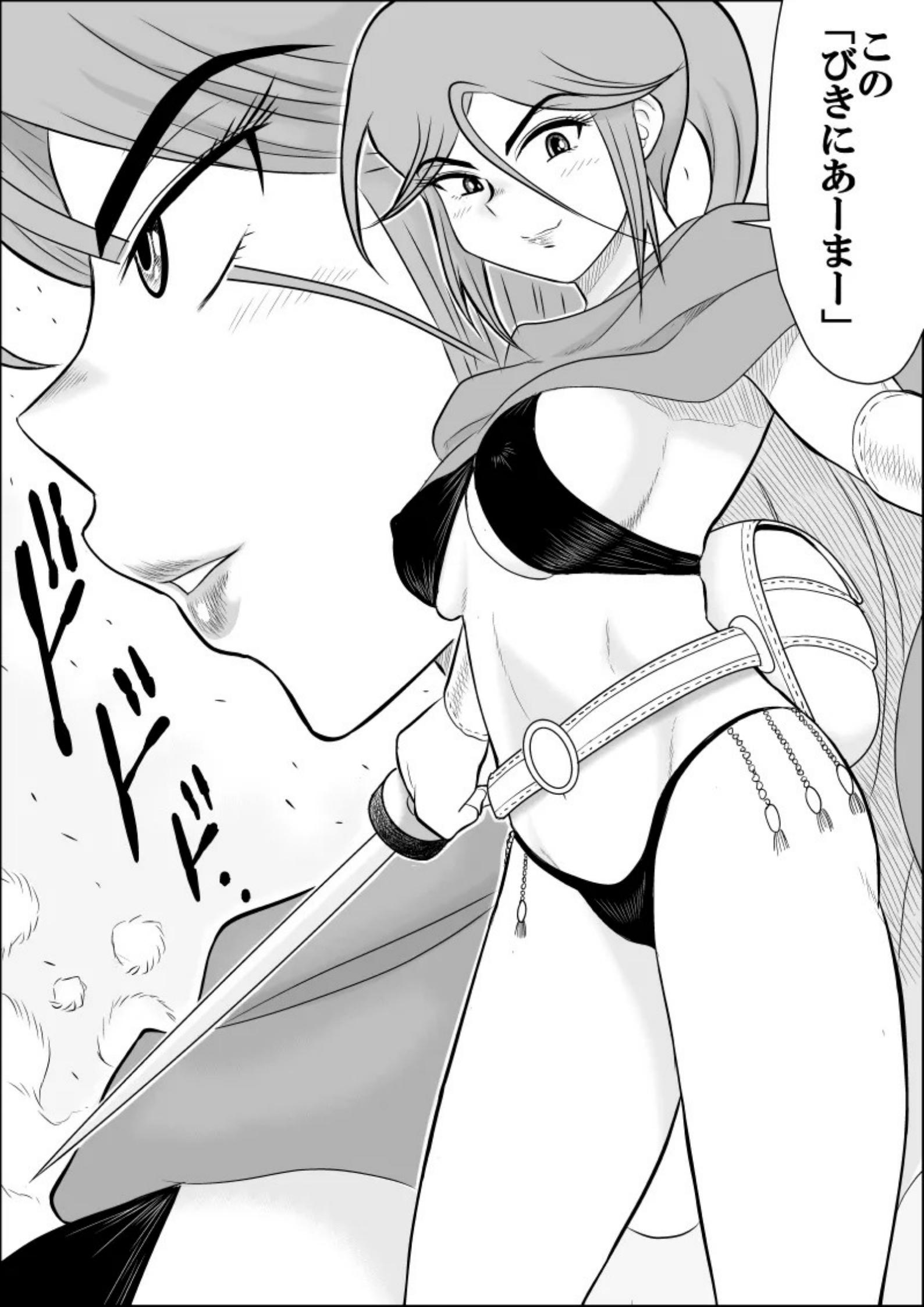


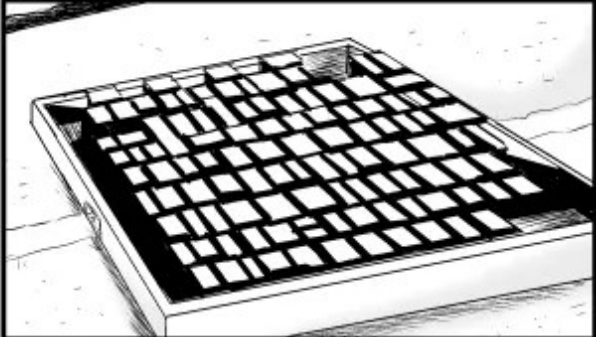




ダメー
高かっ
った買
たない
物が
無し…

この
「びきにあーまー」





お疲れ様
です

なんなんだ
あの女

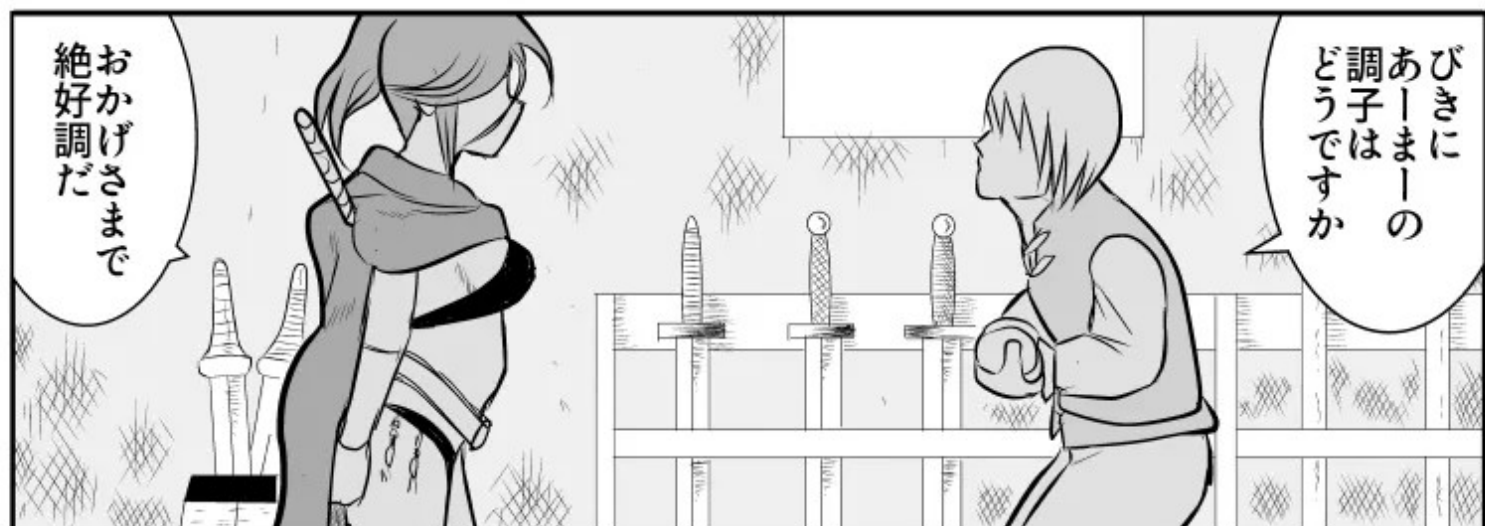
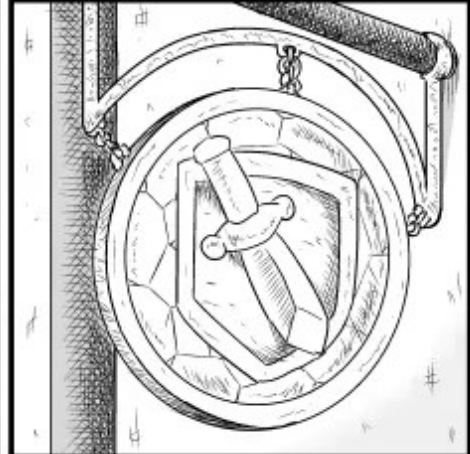
類をみないほど
だまされやすいって
話だ

あ

紅のコロナ…
辺境で
並ぶ者無しの
強者って
話だが…



やあやあ
お帰りなさい
コロナさん



びきに
あーまーの
調子は
どうですか

おかげさまで
絶好調だ



う…
なあ…
もう特に
気にするこ
とないんじ
ゃないか？



では
いつも通り
チェックを
させていただきます



何を
おっしゃいます
天下の紅様に
提供した鎧です

万が一にも
不備があつては
武具屋ゴメスの
名折れですから

おうおう
あい変わらず
綺麗なお肌で

だから
そういうのは
いいから
さっさと済ませろ

はいはい
びきにあーまーは
いまだ
未完成ですから
こうやって
身体つきを
完全把握しなければ

グワッ
グワッ
グワッ

わん…
わ…わ…わ…
わ…わ…わ…
わ…わ…わ…

だから
こうやって
毎回協力
してるだ…ろ

まったく
おかしなことに
なってしまった……

大きな武具屋
として
名をあげたい

そうやって
土下座まで
してきた
この男

その心意気にうたれて
武具の宣伝を
手伝ってやることにしたが……

どうにも
この下心の
強さは
だけはない……

まあ健康な
男であるから
しょうがない……

まったく
幸運の女神に
感謝だぜ

借金まみれで
店をたもって
たまたまに
こんな力毛が
現れるとは

なかにヤビキソで
まーが
辺りつた猛者
紅境の後は
知ったとては
マジで死を覚
しただけだよ

こんな
脳天気な女なら
いくらでも
利用し放題だぜ
……ヒヒ

ただ……金もそうだが

このエロい身体も
手に入れたいもんだ

あっ

こ……
こらっ

グ
グ

モ
モ

調子に
のるな
毎回言
ってる
まったく

す……
すいません

慌てねえ
慌てねえ

仕込みは済んでんだからな

そういや紅様
お預けしてた
剣の具合はどうでした？

たしか
貴族用の
ものだったか

ええ
最強名高い紅様が
品質を保証
したとなれば
お客様も
喜びますから



何
——
!?

ん？

実戦で切れ味を
試されてくれれば
言われてたあれが
何かわるって
問題なかったぞか？



剣が折れてた……？



ええ……
正確には
亀裂が入ってた
よう……
言いづらいん
ですが
あなたの力には
耐えられ
なかつたらしく

持ち主が
振ったら
ポツキリと

わ……
私のせい
……それで
どうなつた？

幸いというか……
賠償金で
済みました
金貨百枚
ほどですが……



っ……

わ……私が
払おう！いや
払わせて
くれっ！

いえ
私の管理不足
ですから
……お気になさらず



そういうわけにも
いきまい！
原因は私にこそ
あるのだから



ん……っ

んんっ
ん……！





プハッ
お……
おいゴメス
お前……っ！

キゅん……

ハ……

愛しています！
償いをして
くれるんでしょう！



ちょ……っ
待……っ
ん……っ
ん……っ！

キゅん……

ギッ

バァ
バァ

んう……っ

ギシ



お……
お前の気持ちに
気づいて
言わなかったとは

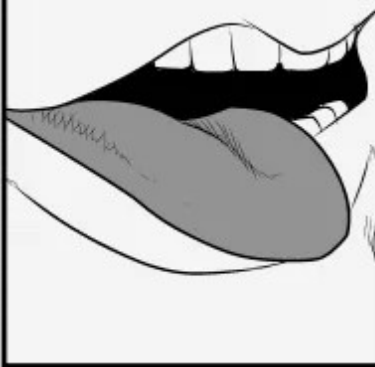
だが
この状況では
もちだすのは
卑怯じゃ
ないか

貴族様の
ご不興を
買った以上
死罪もありえます
むしろ
今言わない
理由こそ
ありません

だ……
だから
それは私が
なんとか……

ギッ
紅様！

あ……っ！
バ……バカ！
そこは……





お前本当
最低だな……

人の弱みに
つけこんで……

それは
ないでし
あたいの
気持ちは
知ってる
くせに

フッ

フッ
フッ

……
どうだか……
ン……

言っとくが
私は武具屋の
女房になる気は
ないからな

とうわけ
朝の一戦
まいる
ましようか

ア
ア

はあ？

おま……
一晩中……
しといて……

承知してます

しばらく
夫婦ごっこに
お付き合
くださる
望外の幸
せですよ





うっはう
うっはう
♡♡

はは
♡♡

はっあ
♡♡

はは
はは
♡♡

まったく何度も何度も……

根が真面目だから
抑制が効かなく
なっているのか……？

まあ……
元は私の……
落ち度だし……

ネロ……

フムフム

しばらくの間だけでも
受け止めてやるか……

ギュッ

↑……

ハハッ……ッ
笑いも腰も
止まんねえ

つか
身体も想像以上に
良すぎ

あッあッ
あッあッ
あッあッ

あッ
あッ
あッ
あッ
あッ
あッ

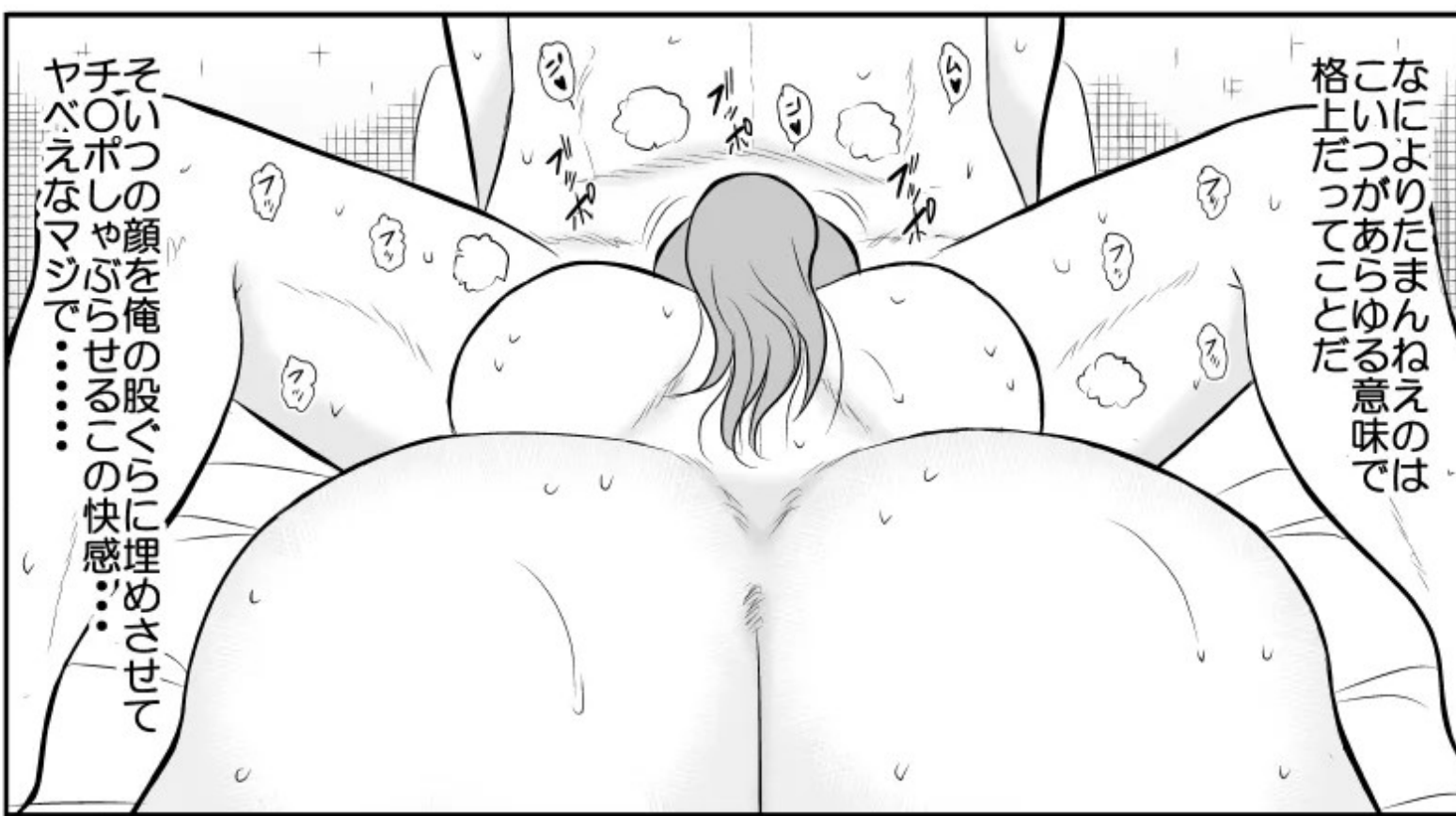
想像以上に
チヨロすぎで
拍子抜けだわ
この女

胸も尻も
アソコの締めりも
超一級品
何度抱いても
抱き足りねえ



なによりたまんねえのは
こいつがあらゆる意味で
格上だってことだ

そいつの顔を俺の股ぐらに埋めさせて
チ○ポしゃぶらせるこの快感……
ヤベえなマジで……



ほら中に残ってるのも吸い出して

これから毎日抱いて絶対ハメ堕としてやるぜ



無論貴族うぬは全部嘘っぱち

まんの女をとこに手入れたわけだ



それから
この隙だらけの女は
毎日金貨百枚を
稼ぐために
魔物を狩り続けた

だが腕利きとはいえ
辺境で大金
すぐには
手には
わける

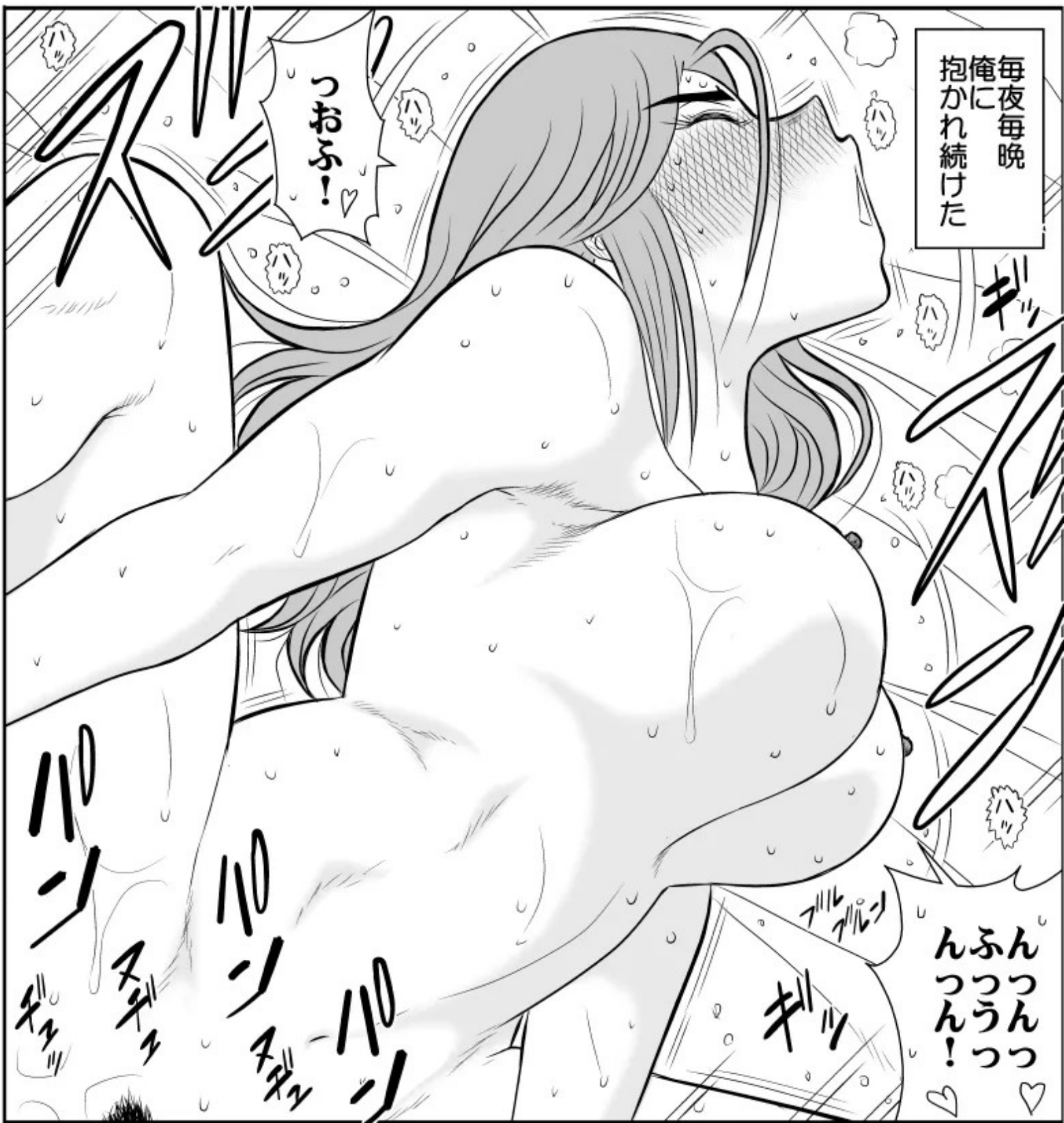


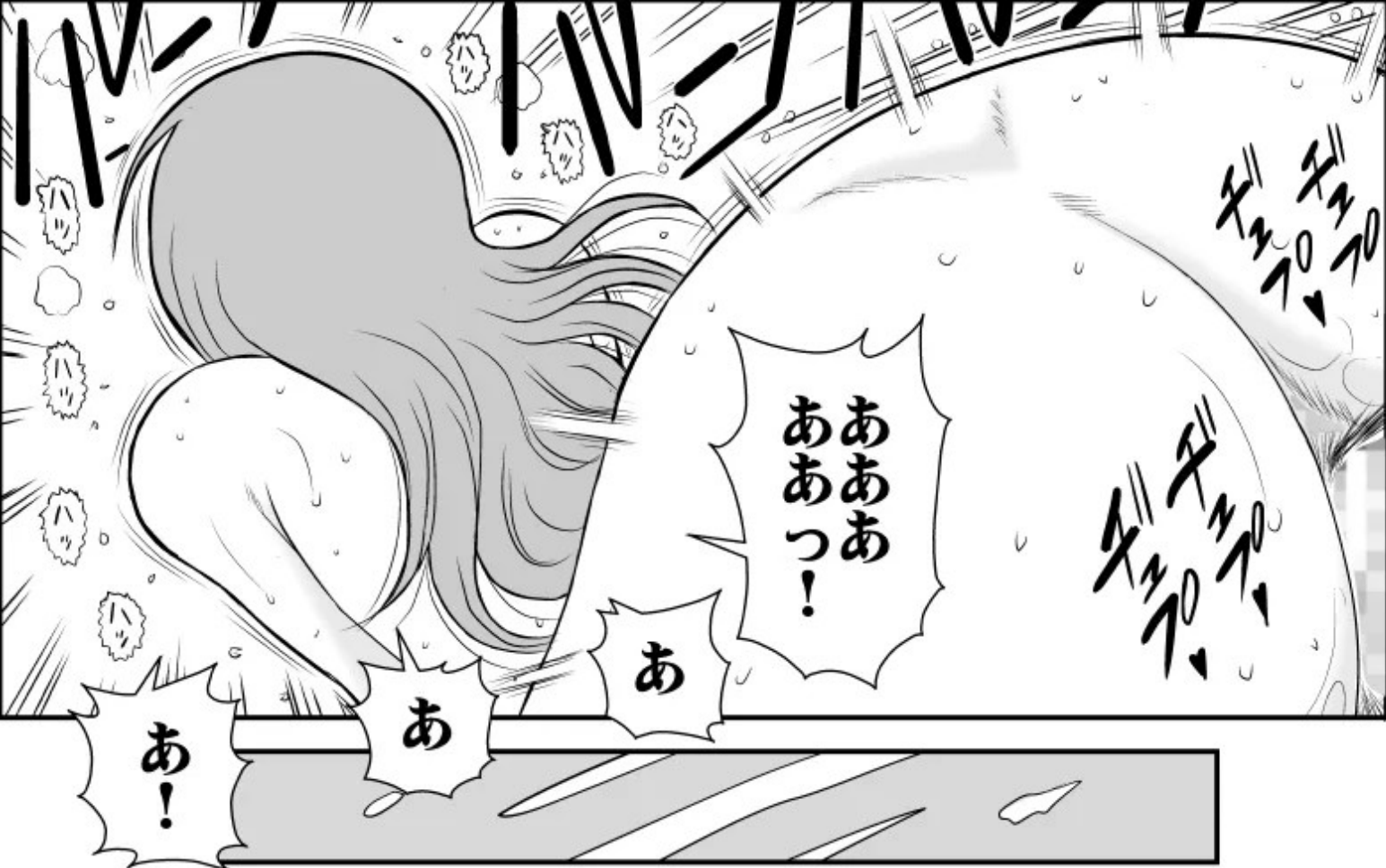
毎夜毎晩
俺に
抱かれ続けた

っおふっ！

んふん
つつん
うん
ん！

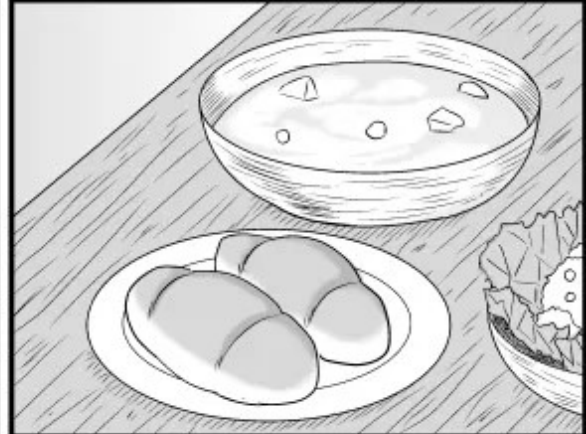
ギッ







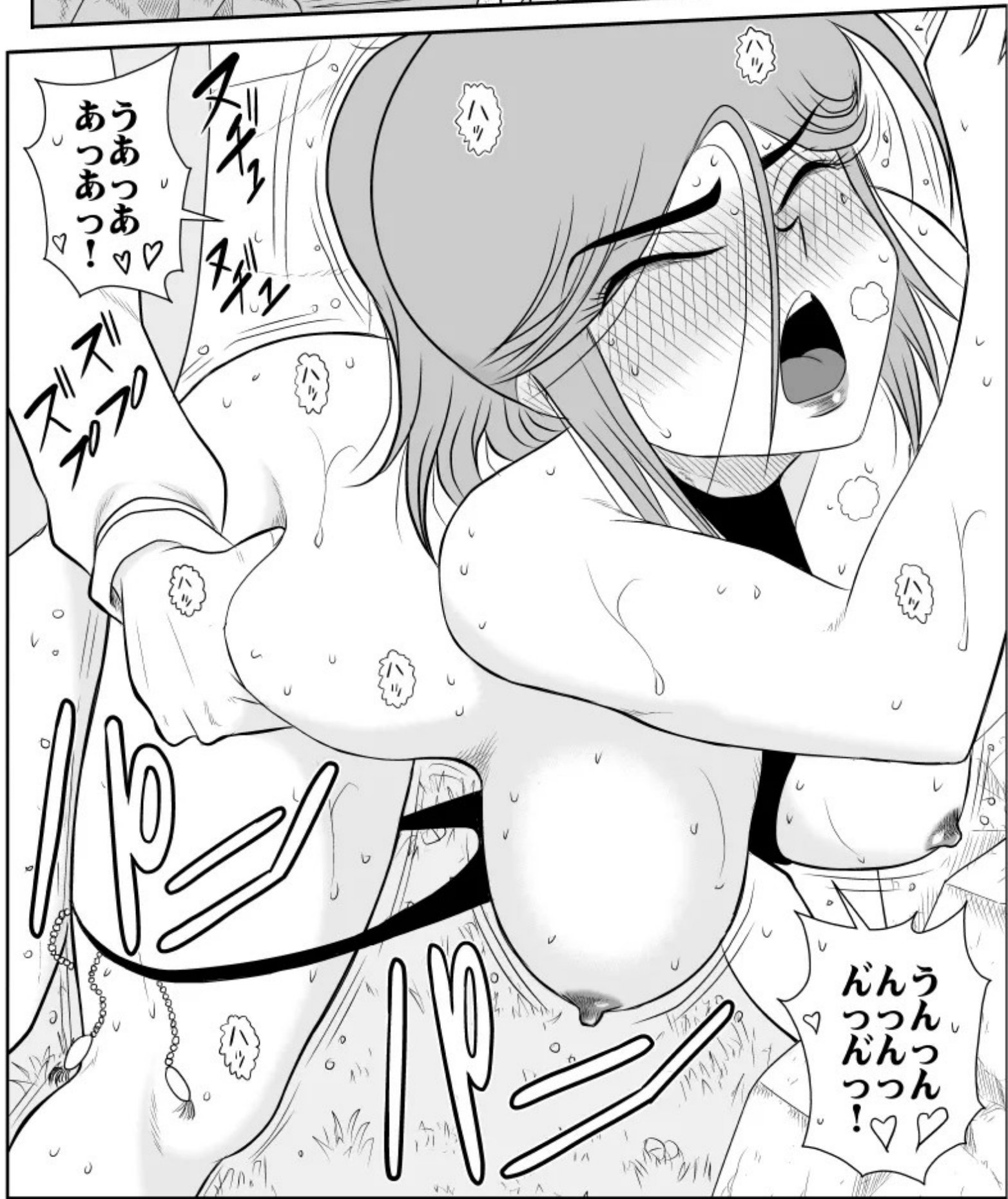
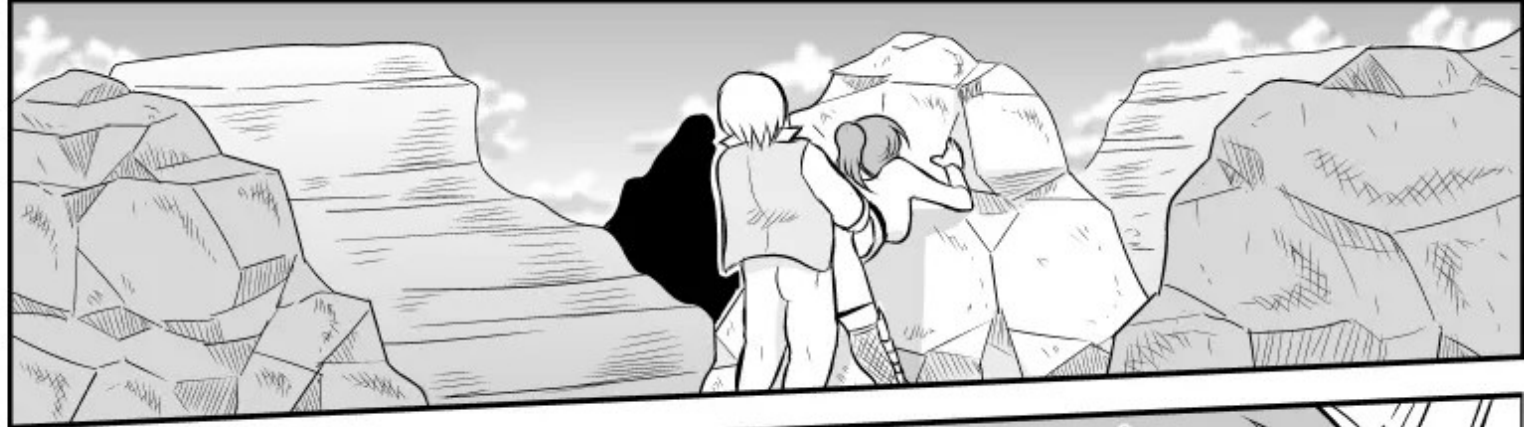
意外と言ったら
悪いけど料理も
出来たんだな
美味いよ

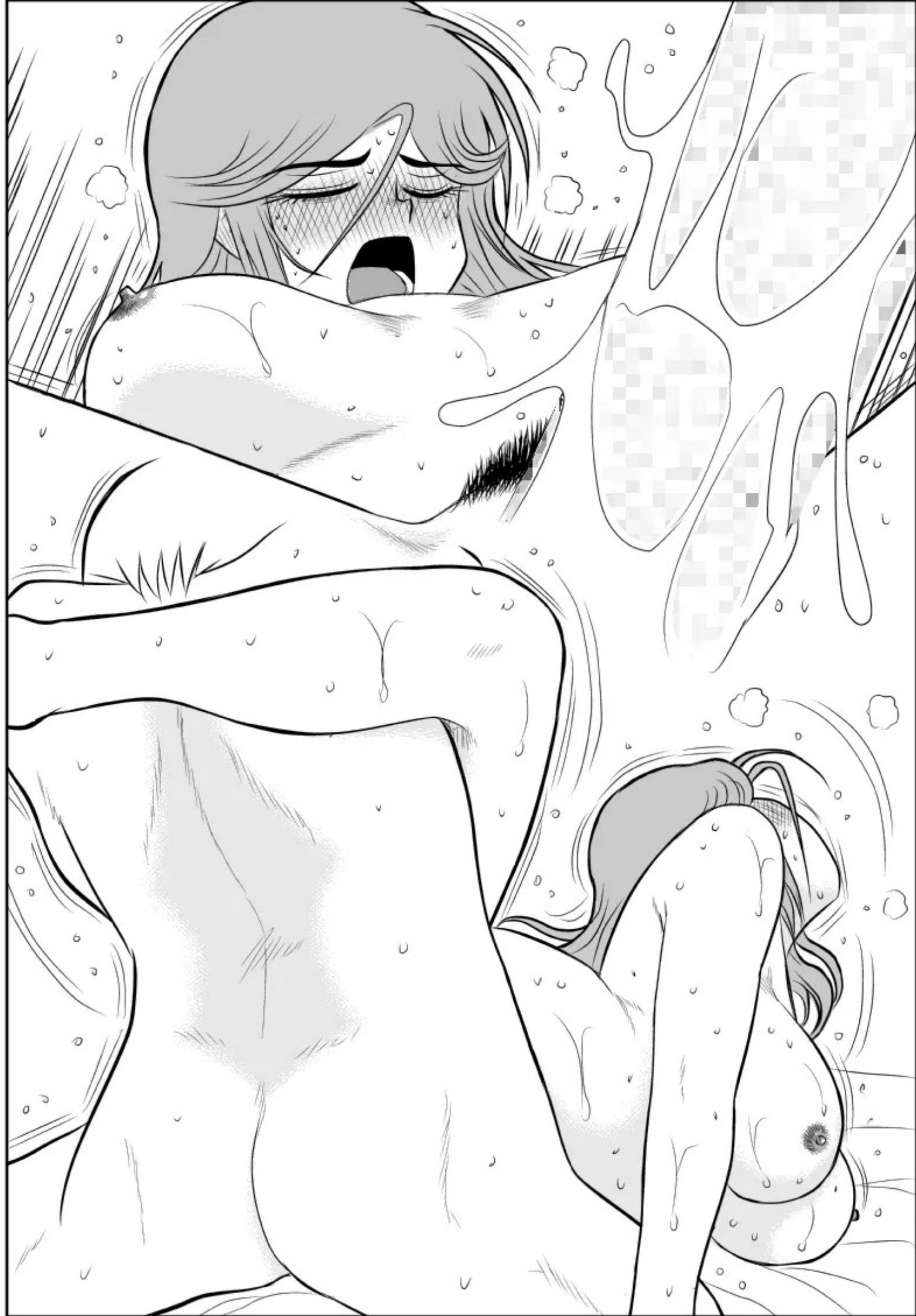


俺の
チ○ポも
美味いでしょう

風呂入って
ないから
塩味効いてて(笑)

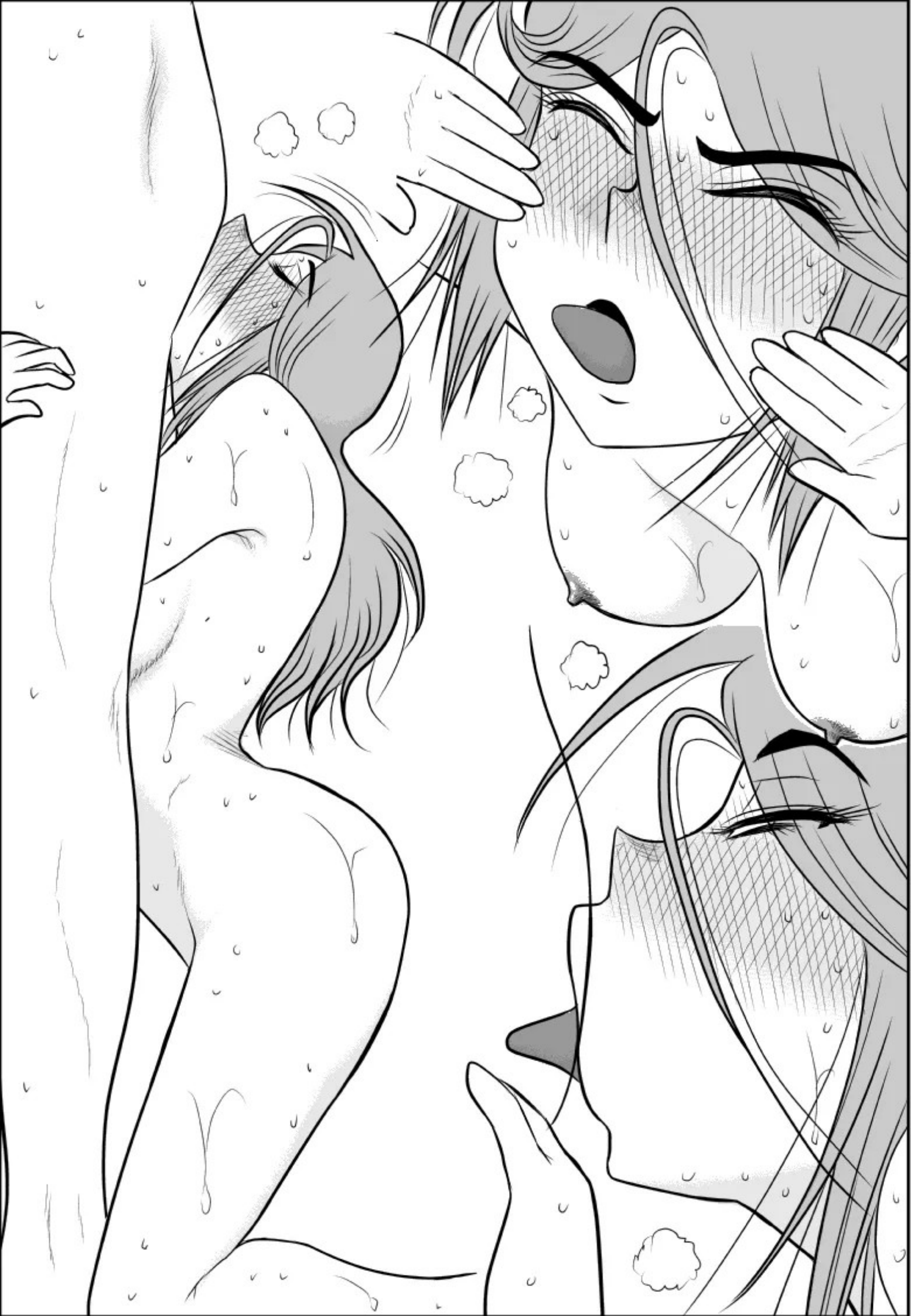
馬鹿者
ふあかもも













ほんとに
確かに



楽しそうだな
いつから
女術に
なったんだ

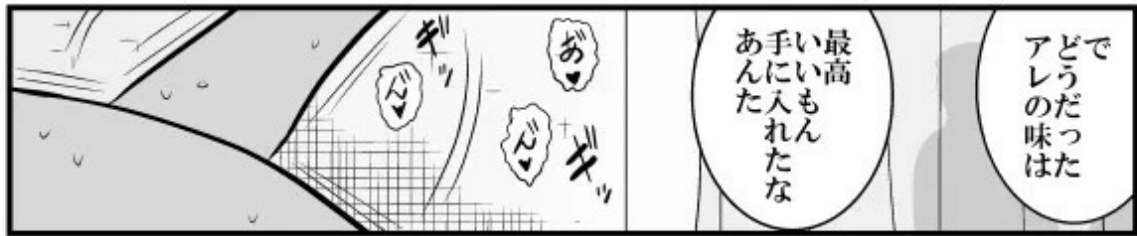


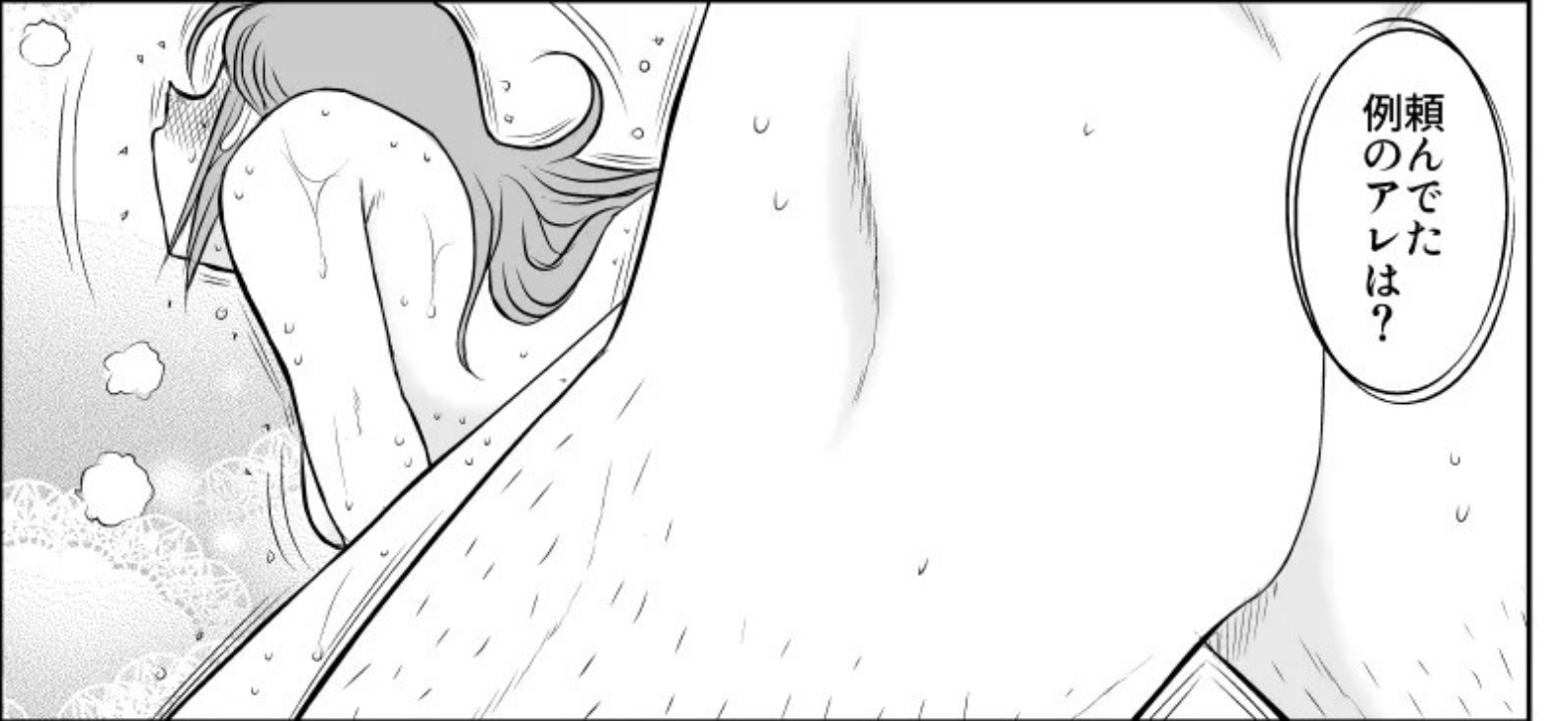
本人の
意思だけ
借金
返済
ってやつだ



で
どうだった
アレの味は

最高
いもん
手に入れた
あんな





頼んでた
例のアレは？



ほれ

飲ませた
相手を
隷属させられる
魔道薬
高かったぜ

コト...

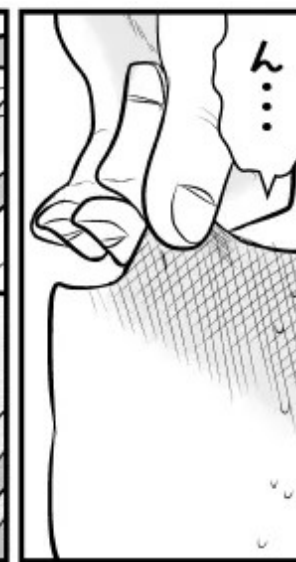
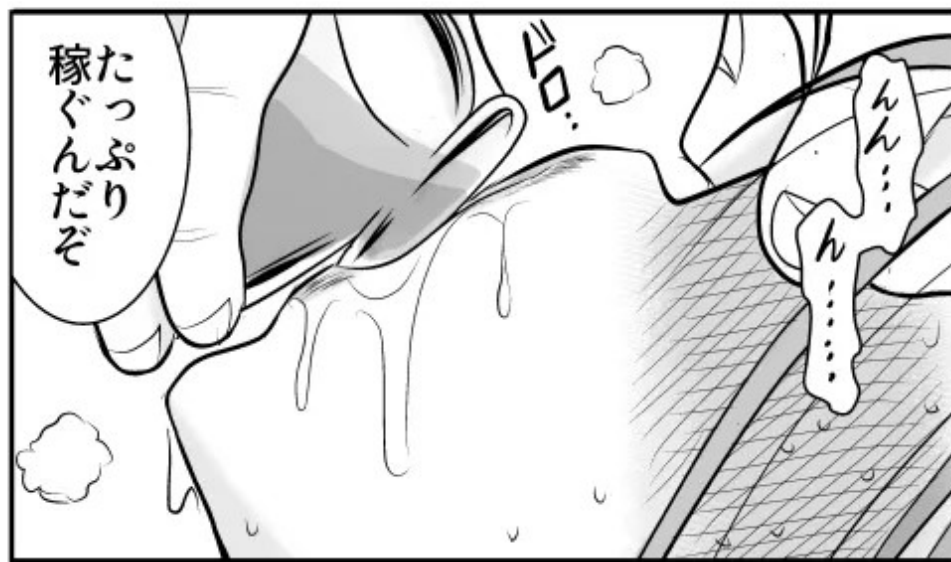


ありがとう
これで完璧に
あの女は俺のもんだ
へへ……

っーかの
そんなの
使わなくても
とっくに
堕ちてんだろ

さっき
俺の穴まで
尻の穴まで
平気で
舐めてたぜ







そら
かき混ぜて
やる

おぶ...



よしよし
飲んだな...



ハ...



いっそ
都に出て
王族や貴族
相手に
売り込むかあ?

さして
これから
どうするかな

チエホ...

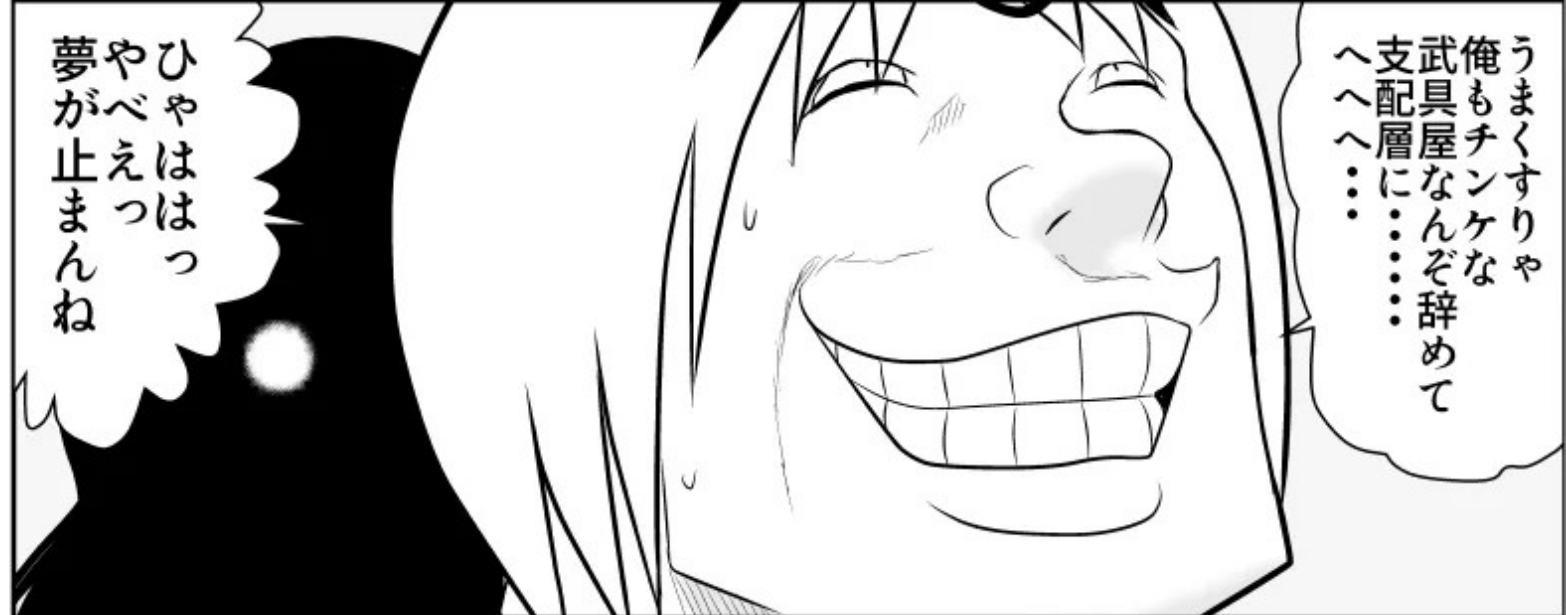


今飲んだのは
目の前の相手に
絶対服従する魔薬だ
...ヒヒ...

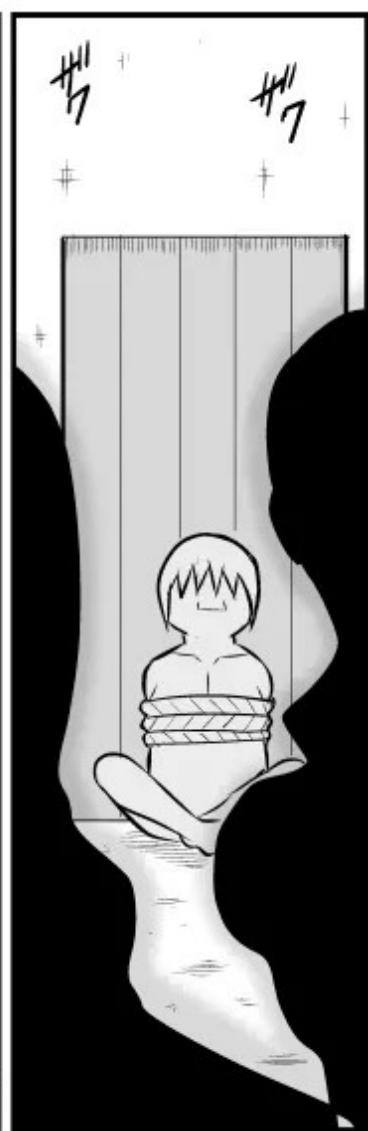
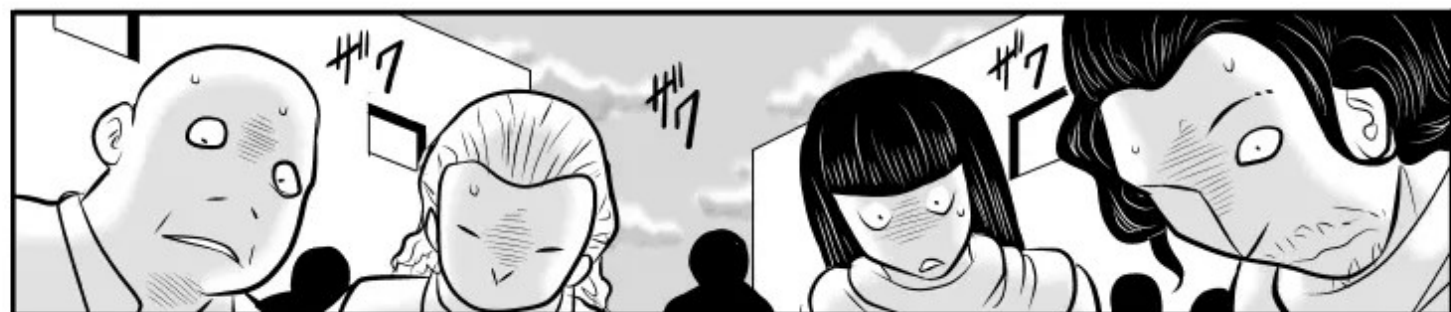
ん...

ん...

これでお前は一生
俺だけの奴隷ってこと



バク バク グッ



はあ…
つまり
コロナ様には
魔薬は
効かないと

うむ
昔から
毒や呪いには
耐性が
あるのだ

はあ…

それにしても
何故あの男を
生かして
おいたんです？
さんざん
無礼を
働いたのに…

まあ
反省して
一から
やり直すと
言ってるし

その証として
この「はいば」！
びきにあーまー」を
もらったからな

今度こそ
武具屋として
ちゃんと
やっていく
だろうさ

ん？

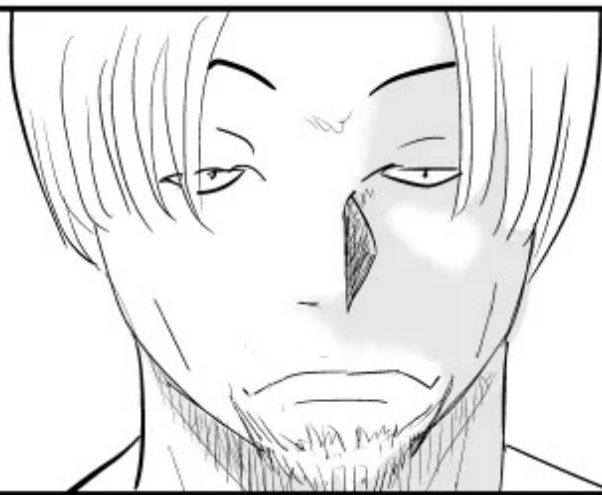
ダンゴロ
盗賊団

辺境では
それなりに名が知れてる
……いや……
知れてたのが俺達だ……
いや……だった



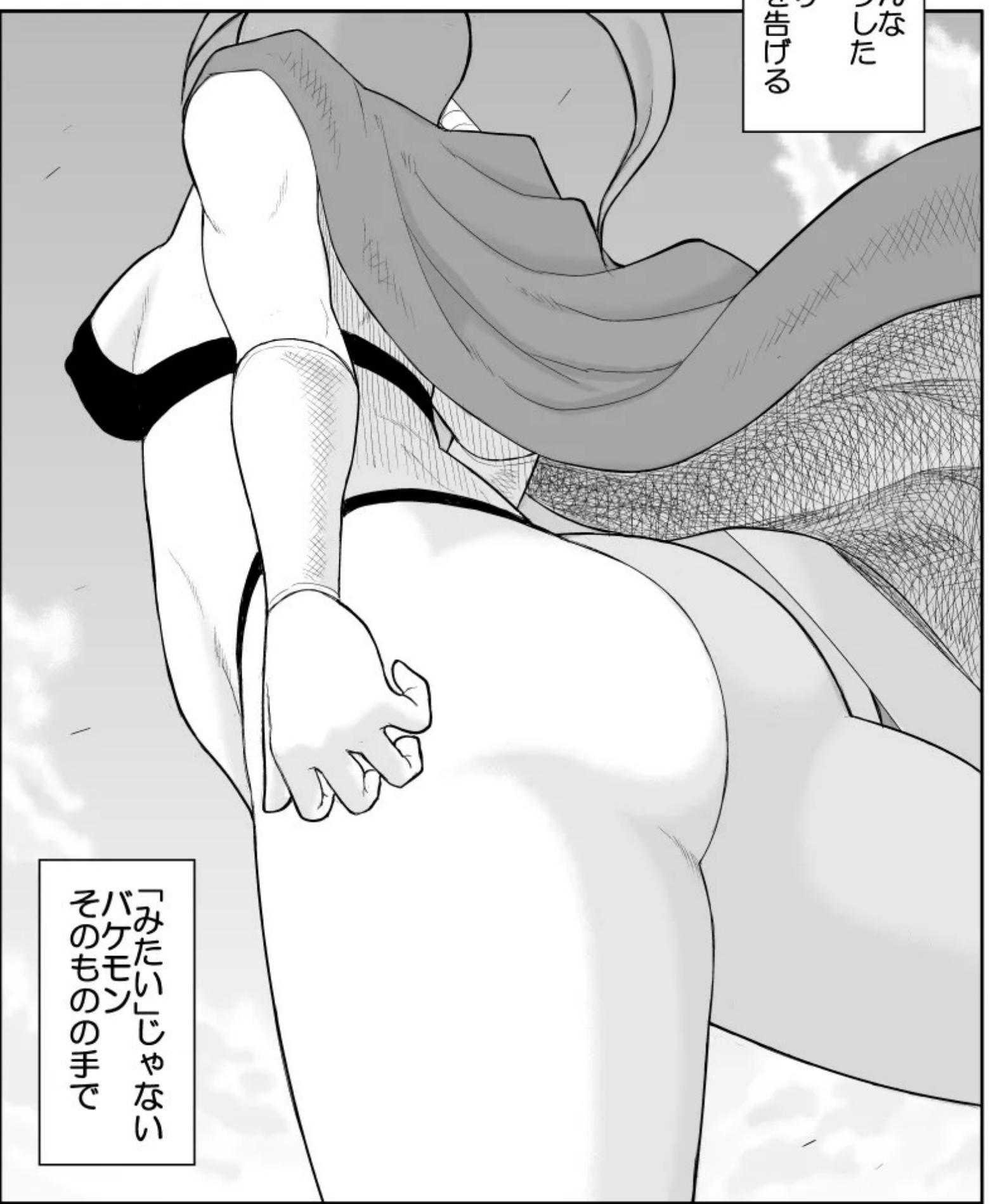
まあ知られてたのは
頭目のダンゴロで
俺達はそのおこぼれに
あずかってたクチ
なんだけどな

砂龍の頭も
一発で砕く
デカイ斧を片手で
ブンまわす
バケモンみてえな
人だから
そりゃ俺ら小物は
すり寄るさ

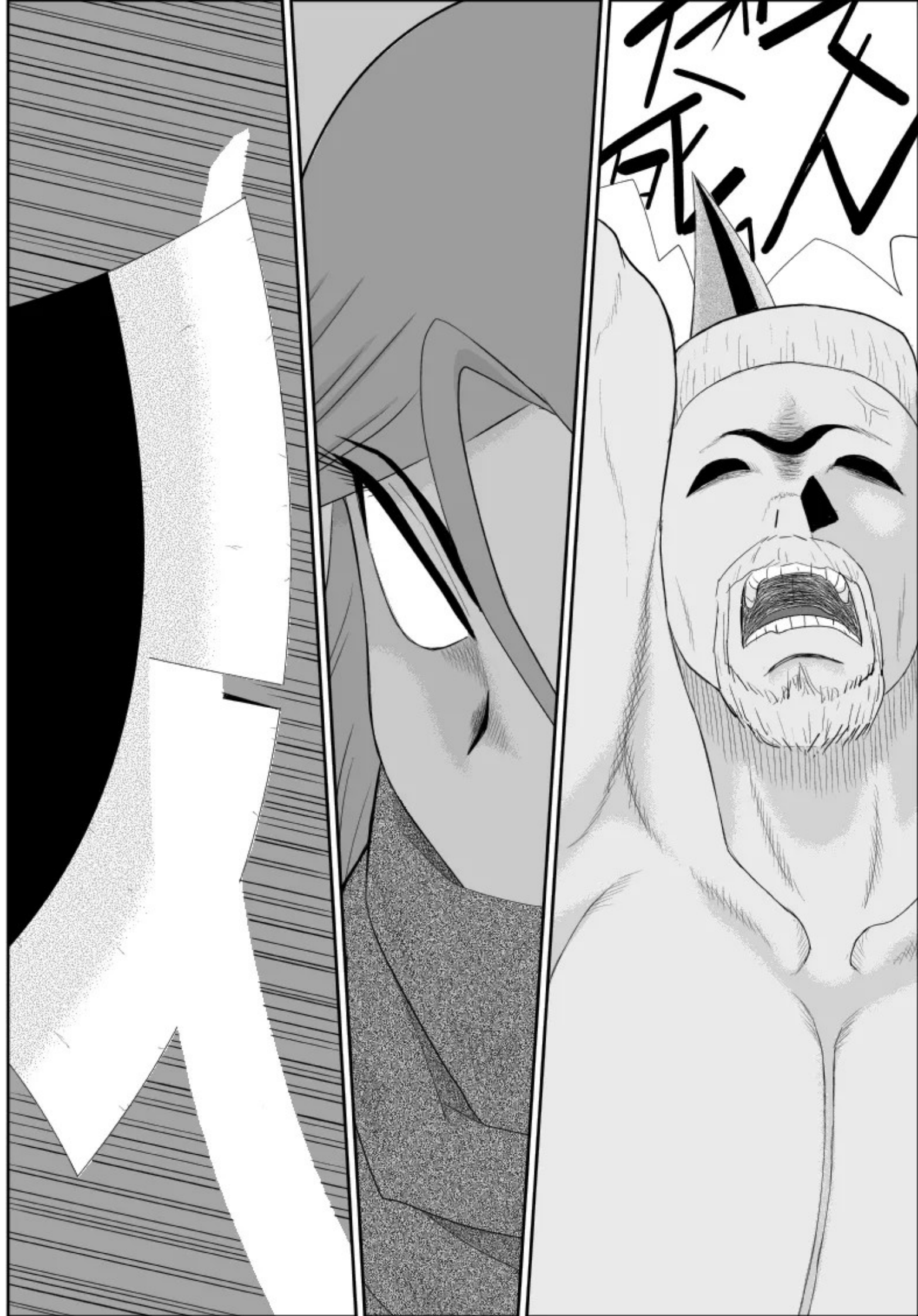


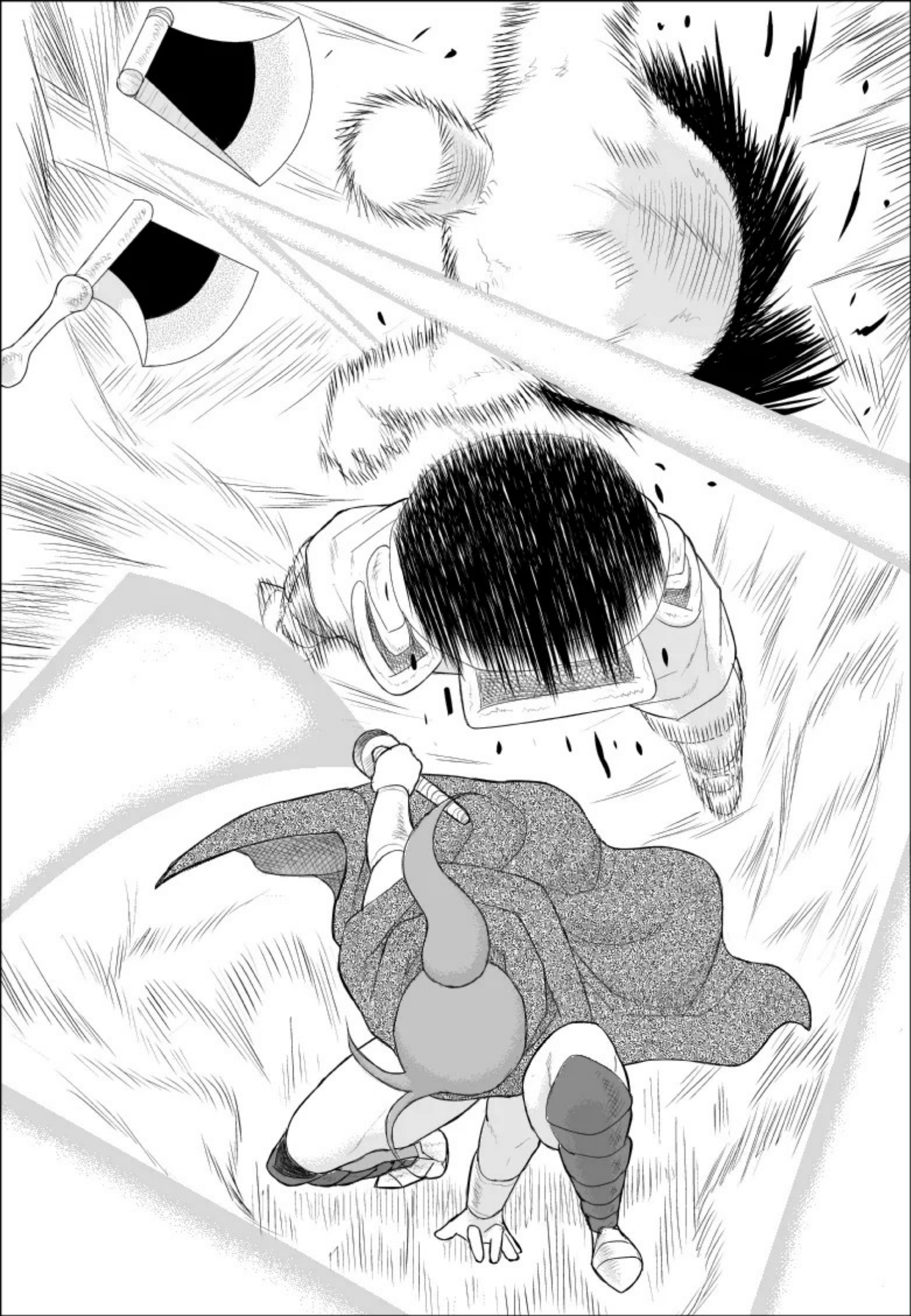


けどそんな
チンタラした
毎日は
あつさり
終わりを告げる



「みたい」じゃない
バケモン
そのものの手で







あつてぶ
ねえええ

つか
紅のコロナじゃねえか

あーあ

俺以外
見事に
じゃねえ
かん

全員
あつての
知ってた
な感じで
向かって
かなあ

まあ見た目は
姉の工口しい
姉の差がんだ
変に強気に
させたらうけど

自分に見え
変な勝ち

竜骨刃の大剣を
ぶらんまわす
辺境最強の
女剣士

この稼業
やつてりゃい
出くわすとは
思ってたけど
いきなり来ると
勘弁してくれ

獲物は確実に
ボスなんだろ？
雑魚その俺に
興味は無えな？
そのま帰って？

なんだ
まだいたのか

ぎゃああああああ

ダメだ
終わった
クッソ
マジに
ここまでかよ

って
冗談じゃねえ
なんとか
なまんとしか
ごま切れ
乗切
：確か
：うたあ
：うたあ
：うたあ

なるほど……
つまりお前は
さらわれた
近隣の村人で

生き残るため
やむを得ず
連中に付き従って
いたと



それは
苦労をしたな

あ……というか
ひょっとして
私が斬った
なかにも
同じような者が
いたの？

バラバラに
しちやったか？

あ……いえ
俺だけです
……はい

信
ぢや
った
よ
マ
ジ
で……

ビキビキ……

紅のコロナは
めっぽう腕は立つが
嘘みてえに
だまされやすいって
聞いてたが……

これなら上手く
やり過ごせるぞ……

頼
み
の
だ
が
あ
る
の
だ
が

あ……
……はい？

……通信玉
ですか……



私はダンゴロや
奴隷と繋がってる
奴隷商を潰す
依頼を受けてきた

奴らは
それを使って
連絡を取りあ
つてないか？

はあ……
多分……
いい乳
な

それを利用して
連中を
上手く
呼び寄せたい

……えーっと
まさか……

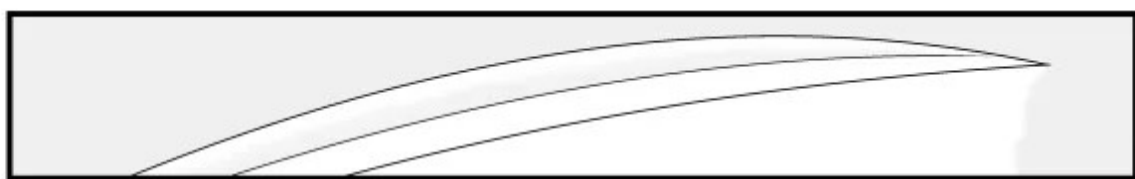
うむ
あいつらの
仲間のふりを
して取引を
もちかけたい
もらいたい

やめよう

ふりじゃなくて
実際に仲間なんだよ
殺されたるだろ

お……俺に
とてもそんな
大役は……

ホッ……



共に
奴隷商を倒して
罪滅ぼしを
しようじゃ
ないか

ク・ツ・ア・マ



ダンゴロが
殺られるとは
信じられ
ねえな

信じられ
ねえけど
事実なんです

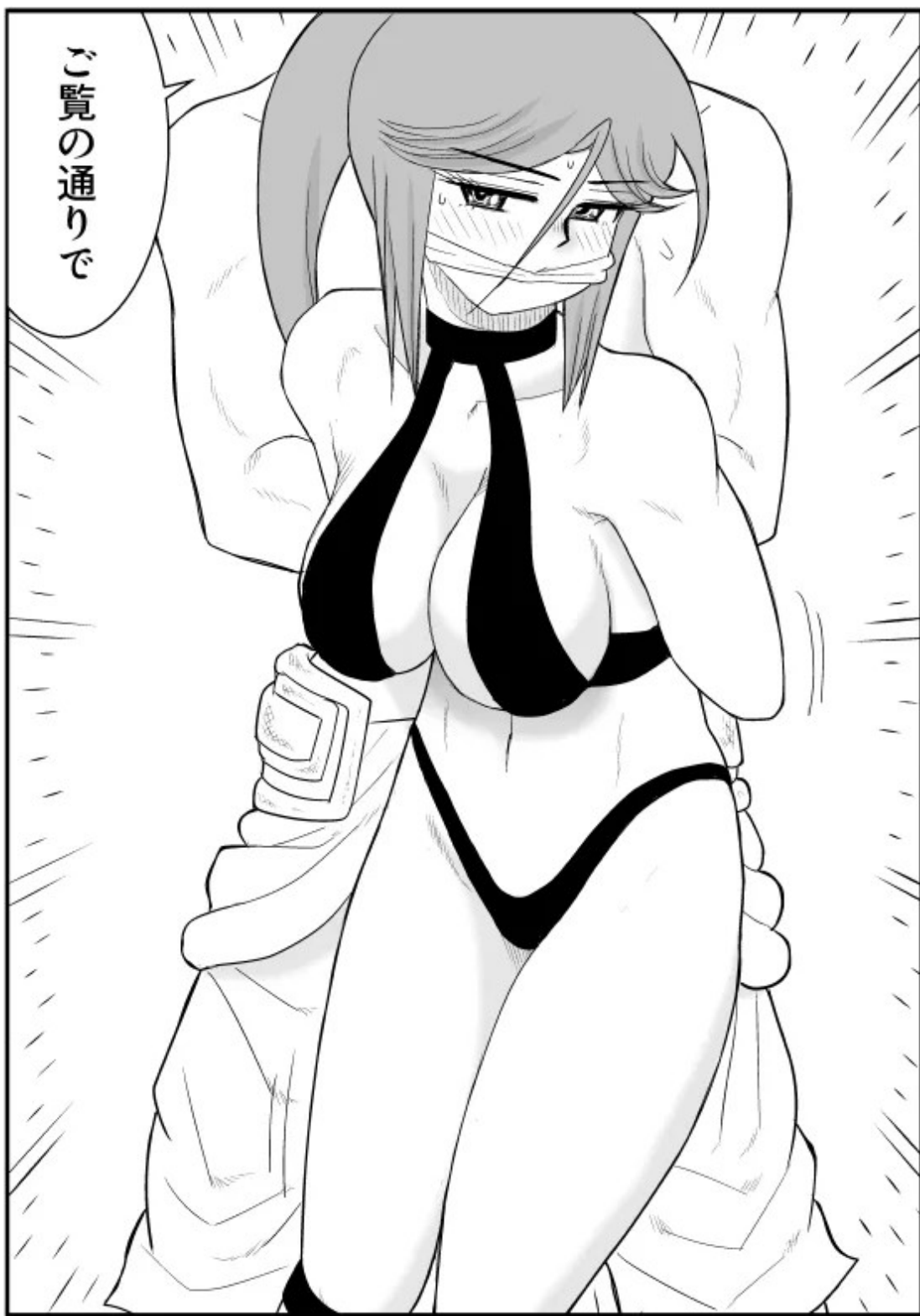
噂以上の
バケモンですわ
紅のコロナ

それ以上に
信じられ
ないのは
そのバケモンを
お前と
捕まえた
ことだ



へへ…

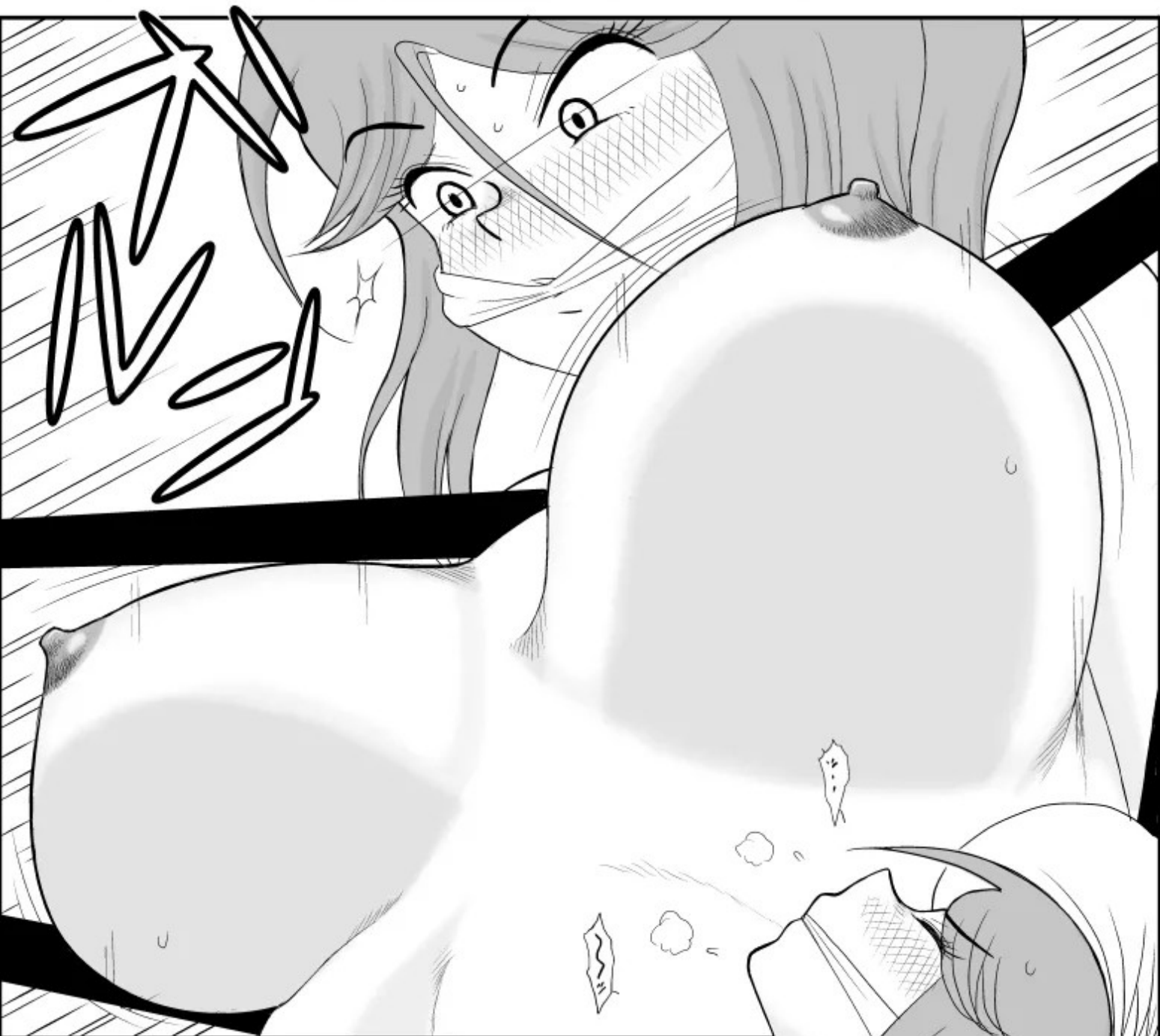
ご覧の通りで



一体
どうやった
？

あゝ…
ダンゴロを
殺って
気を抜いた
ところを
痺れ薬で…

で
後は…



こうして
調教中
でして…
へへ…

おいおい…
大丈夫なのか

いっ
いっ
いっ

紅のコロナが
売りに出されれば
相当な
目玉になる
そうでしょう？

フッフッフッフ

そりゃあ
まあ……
かなりの
高額で
売れるだろうよ

クワッ
クワッ
クワッ

ツブッ

だが
野生のドラゴン
飼うのが
客なんかいねえぞ

ン——…！
(おい……ここまで
やれとは……)

シー……
大丈夫
ですから

任せてくださいよ
キツチリ
牙あ抜いて
みせますから

ググググ

クワッ
クワッ
クワッ

ツ
ツ
ツ

グ
グ
グ

…とりあえず
使いを
送ってやる

金も頼んまずぜ
…へへ…

ドラゴンにて
喰い殺されて
なきやな

んぎっ！

カッ

だられろが
あそこまで
やっていた
言った

メキメキ…

シイイイ！

んげげ…
あそこまで
やらないと
信じません
って…っ

ヤバい稼業の
連中は
うまい話ほど
疑ってかかる
もんなんです
から…っ

實際警戒
しまくってたでしょ
絶対腹ん中で
「罨くせえ」って
思ってますよ

だから
罨でも
ここまでは
やらないって
確信させるん
ですよ

んん…
んん…
んん…

もうこの際
開き直りだ
本当に
奴隷として
売り飛ばして
やるぜ

このバカ女の
ちよろさなら
不可能じゃねえ
一発逆転
大金持ちだ

そう考えると逆に
ツイてたかもな…

フフフ



私はコロナ

辺境の冒険者だ



そのために
一計を
案じたのだが…



ん…っ

ア…ッ

どうです
いい泉でしょ

ダ...

まったく...好き勝手...
してくれた
ものだ...

いやいや計画のうっちゃって
言っただじやないですか

まったく...好き勝手...してくれたものだ...

いやいや計画のうっちゃって言っただじやないですか



へへ…
最強剣士っ
つつても
所詮女だな

ハメちまえば
この有様だぜ

聞いてんのか
オラ

ネッ
ネッ
ネッ

ネロ…

録画してんだ
しっかり女を
アピールしろよ

…ッ
…ッ
…ッ

ちゃんと
打ち合わせしたうえ
でのことなんだから
そんな
怒らないでくださいよ

俺だって
あんな態度とるのは
心苦しいんですから

どうだかな…

というか
触ってる
お前

普段の俺は
優しいってとこ
教えたくて…

フキ
フキ

ああいうこと
してるのは
あくまで
作戦上のことだ

バヤめろ

調子にのると
痛い目を
みるぞ

おおいお

口調が
ちつとも
怖がつてないぞ

男というのは
どうして
一度許すと
態度が
変わるんだろうな
まったく…

ザハ
ザハ

グモ…

ほら
もっと念入りに
しゃぶれ

グッ…ゴ

ン…

グン…ン

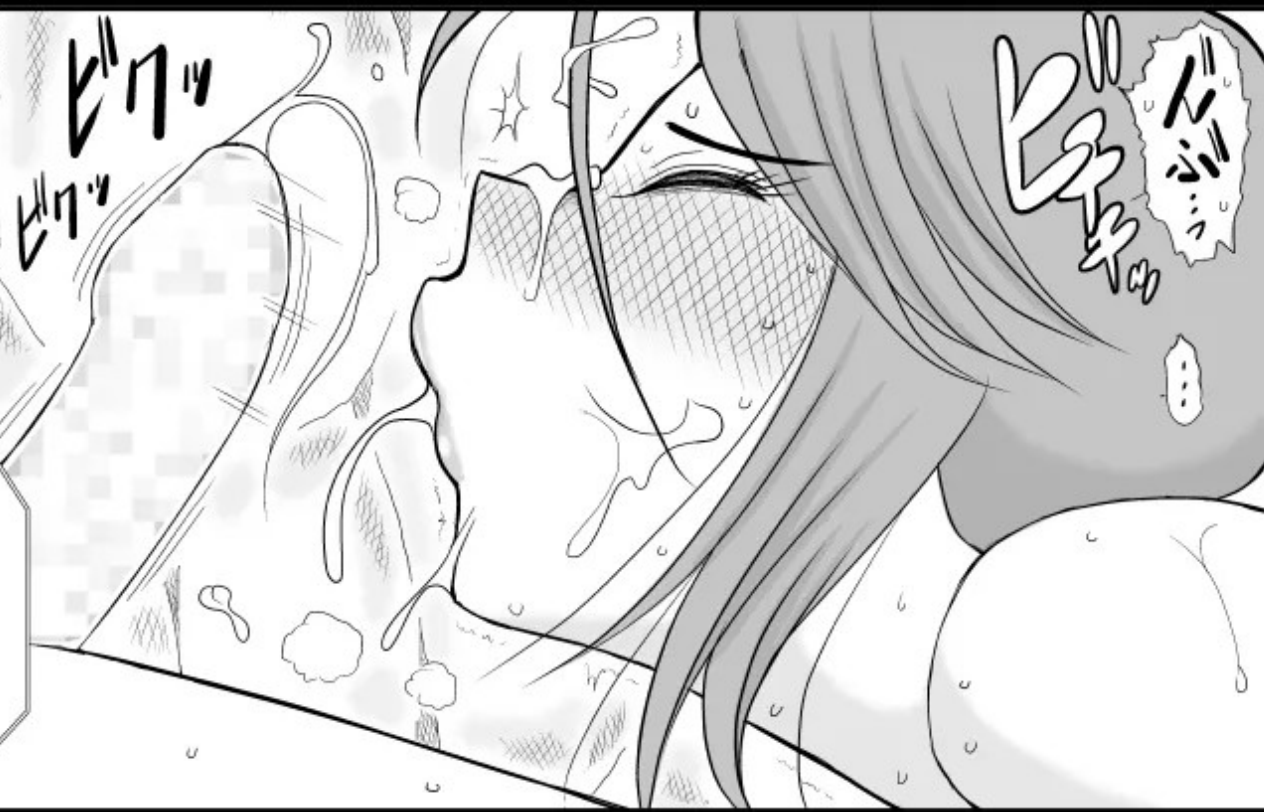
えー…
ごらんの通り
調教は
順調です

最強と
呼ばれて
女剣士が
むしやぶ
つまいね
絵スね



おっと
飛び出し
ちまいました

まだまだ
教えこまな
ダメですな
…ハハハ

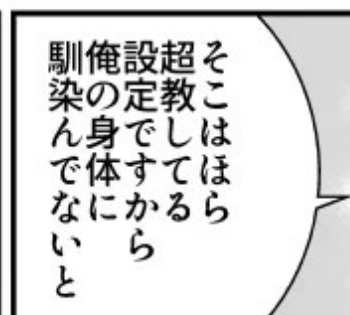




…なんで
通信してない
ときまで
こんな…



ぎこちない
雰囲気
出してたら
すぐ
バレますよ



そこはほら
超教してる
設定ですから
俺の身体に
馴染んでないと



本音はただ
楽しんだとしか
思えんのだが

正直は
否定は
しません♪

まったく…



あつあつ
あつあつ
あつあつ!
あつあつ
んああつ!

スダスダス

スッ
スッ
スッ

スッ
スッ
スッ

はいどうも
今日も元気に
超教に励んでおります

最強剣士の
アソコはハメると
喰い干切れそう
イメーですが
これが名器!

締めりは良く
膣内は
うねりまくって
絞りとられる
感じですよ

スッ
スッ
スッ

スダスダス

スッ
スッ
スッ

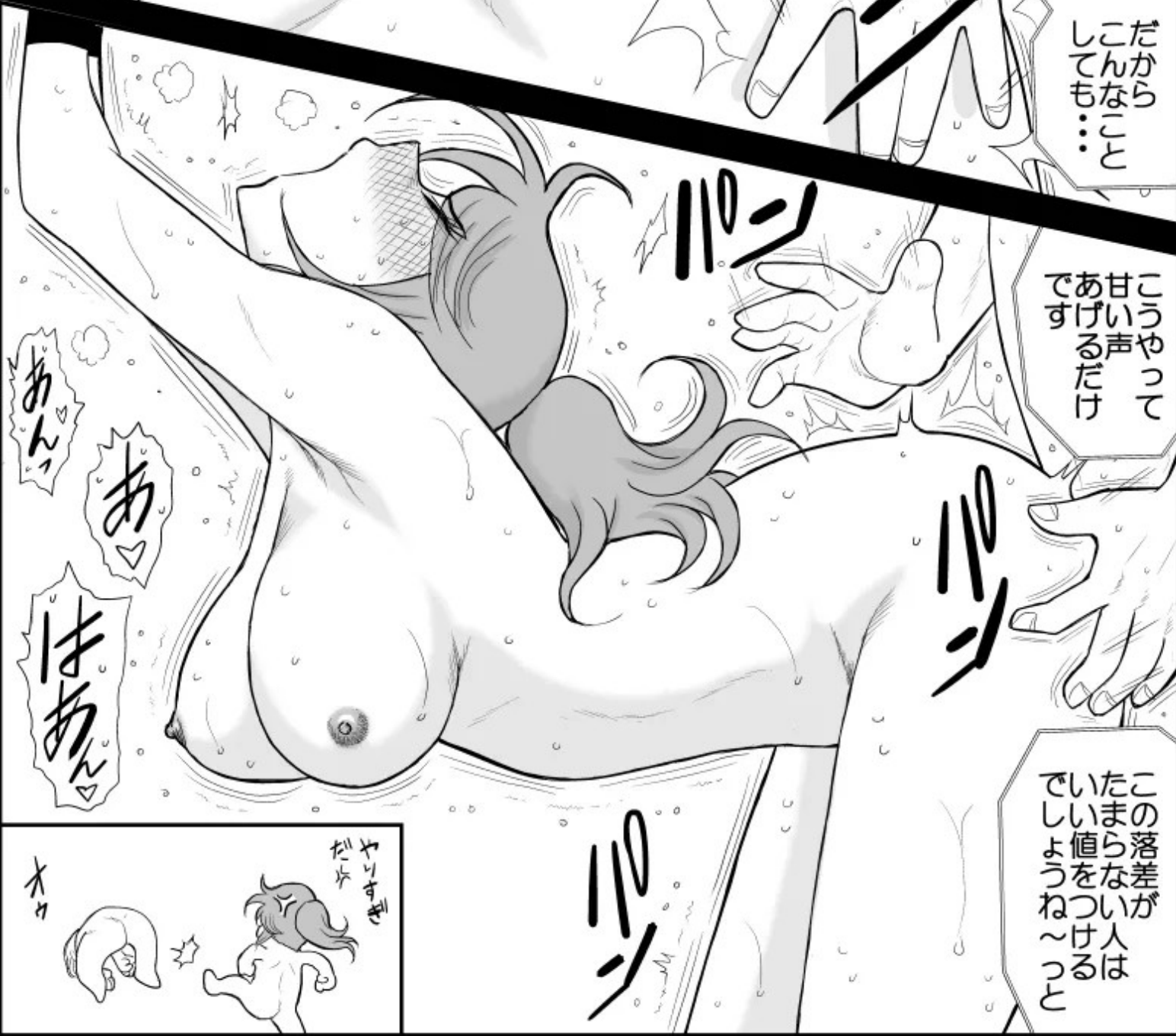


どうです
この蕩け
メス丸出
し顔



どうやら紅の
コロナさんは
根が好き者
みたいです
ね

だから
こんなこと
しても……



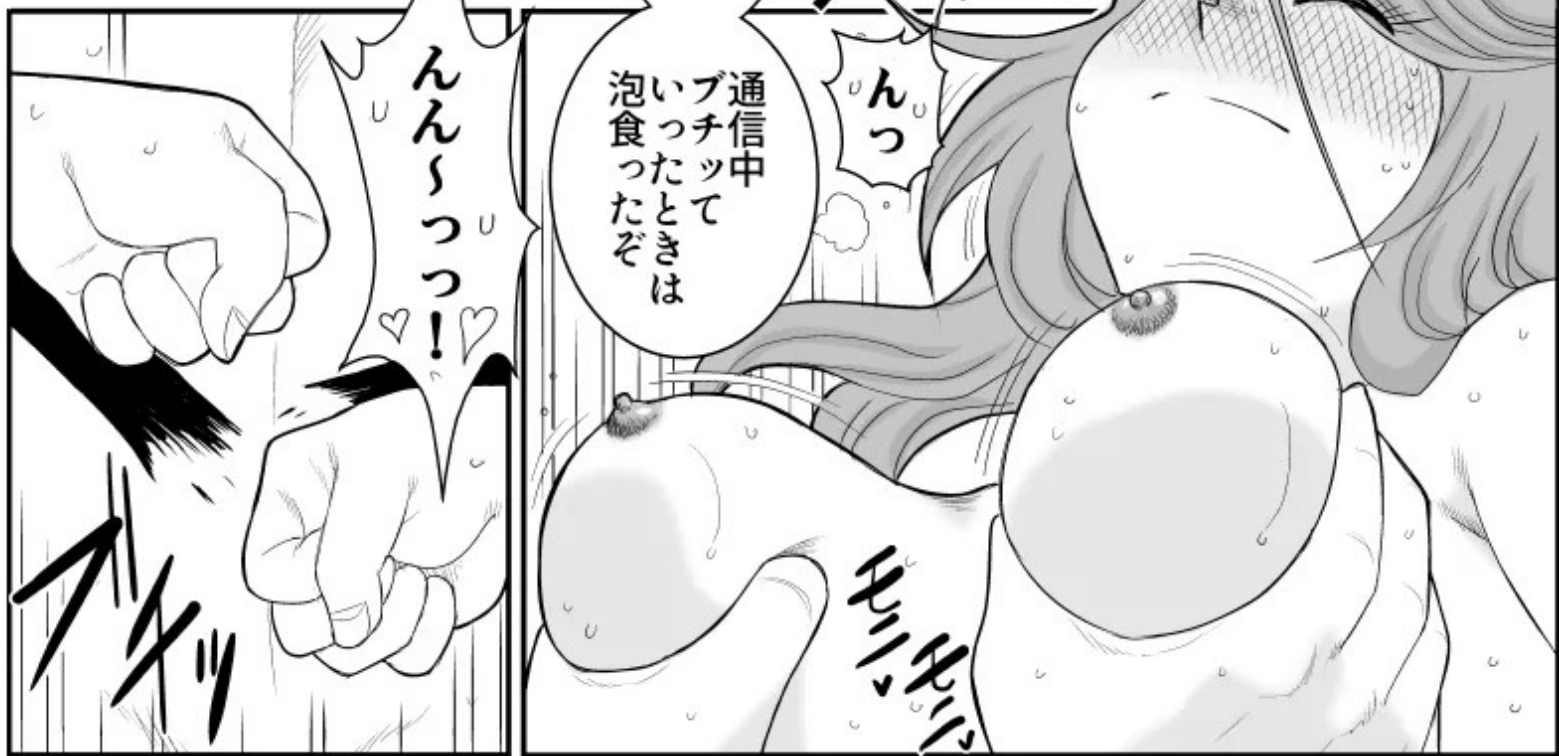
こうやって
声出して
あげるだけ
であす

あ
あ
はあ



やりすぎ
だよ

この落差が
いまない人
は
いい値をつ
けること
でしょうね
〜と





見えません
ごらんの手
もつかない
してません

その必要も
ないくらい
完璧にま
ちてます

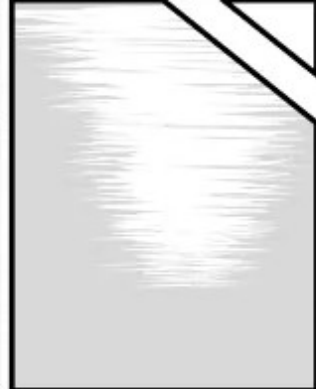
シッキュ
シッキュ

……

……

……





俺のためになんか
言ってるけど、い
本当はこれに
ハマってる
からだ...

グン...

ろっと

ん...っ！

あっ♡

あ♡

あ♡

あ♡

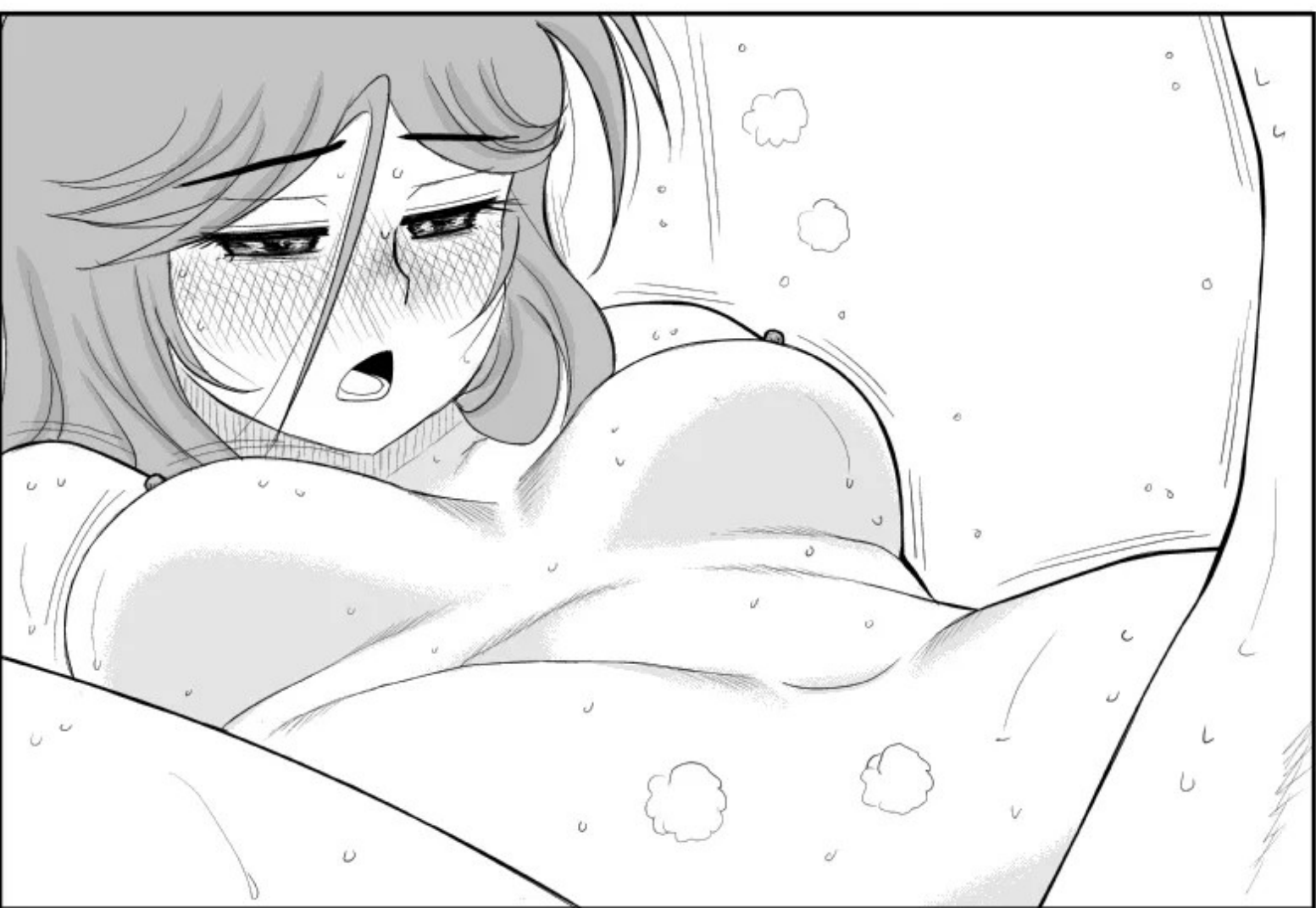
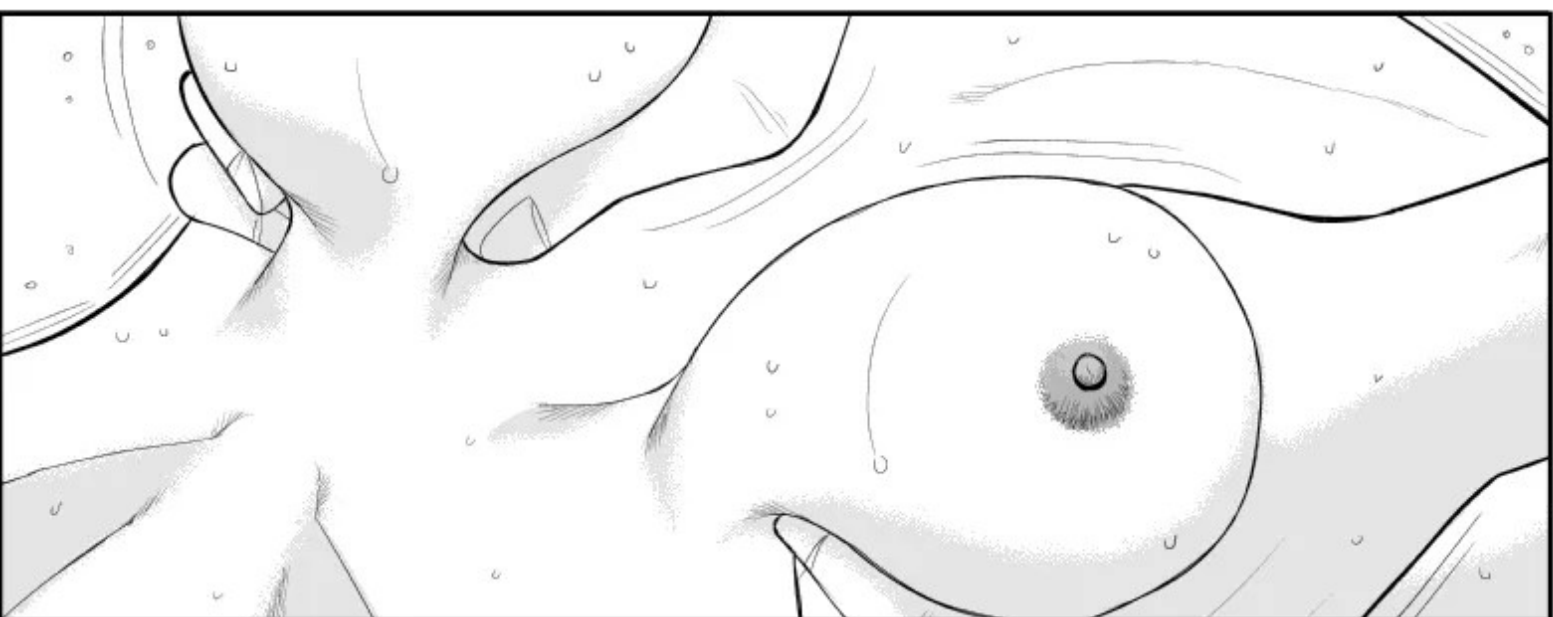
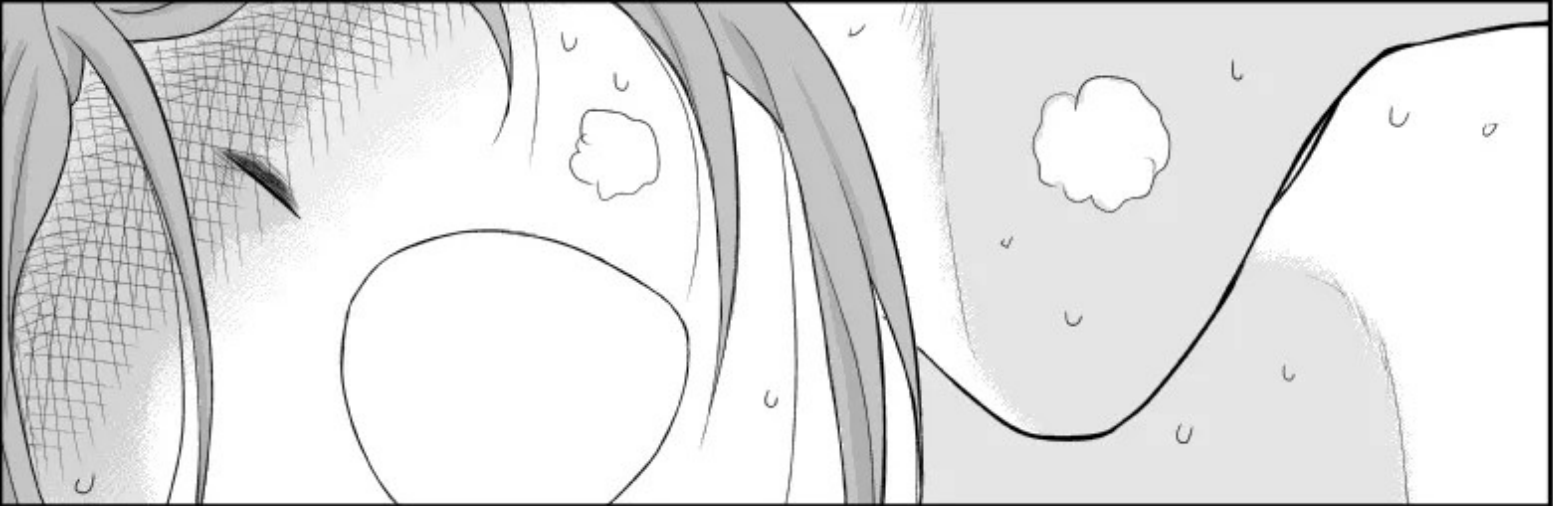
ズググ...

ズググ...

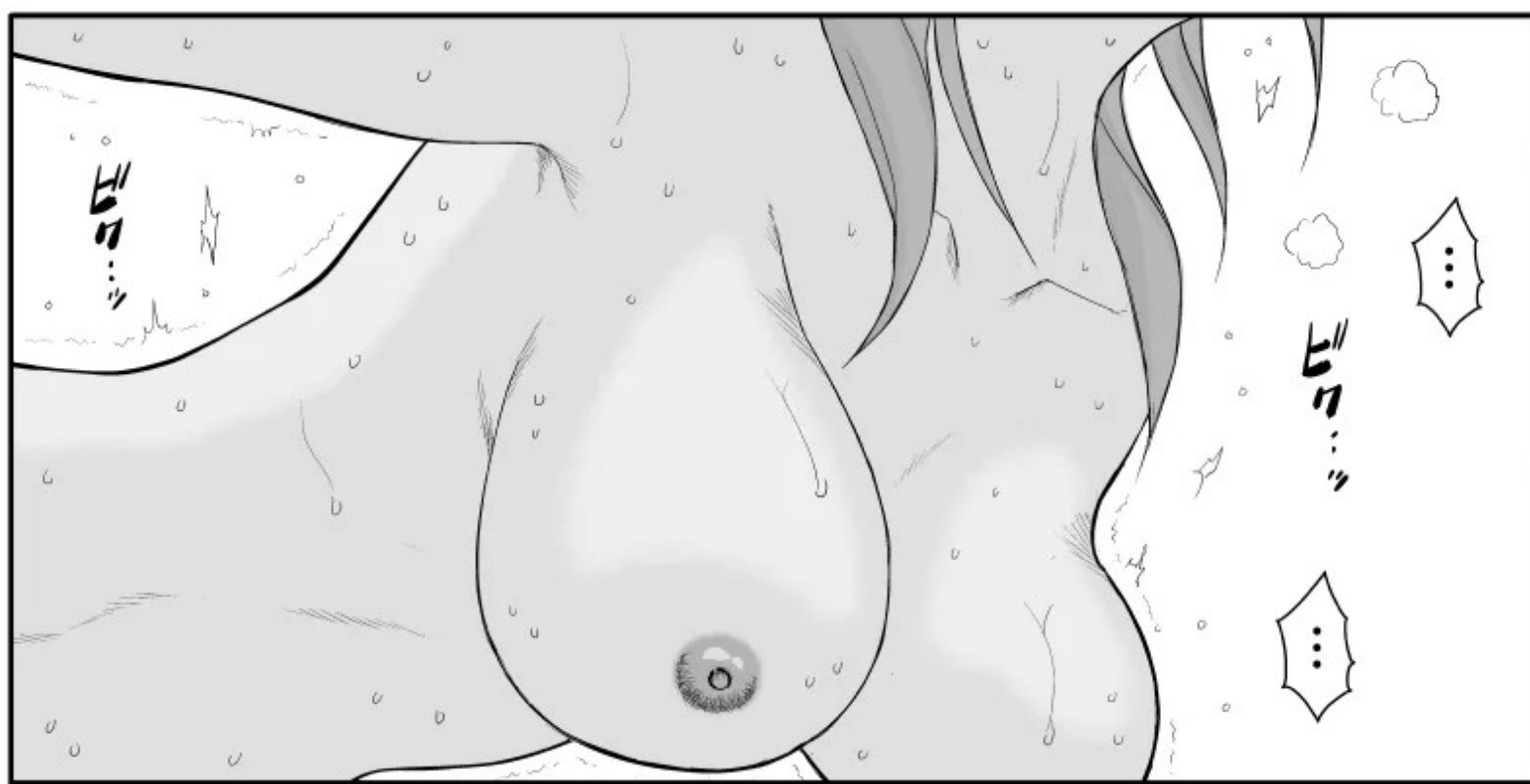
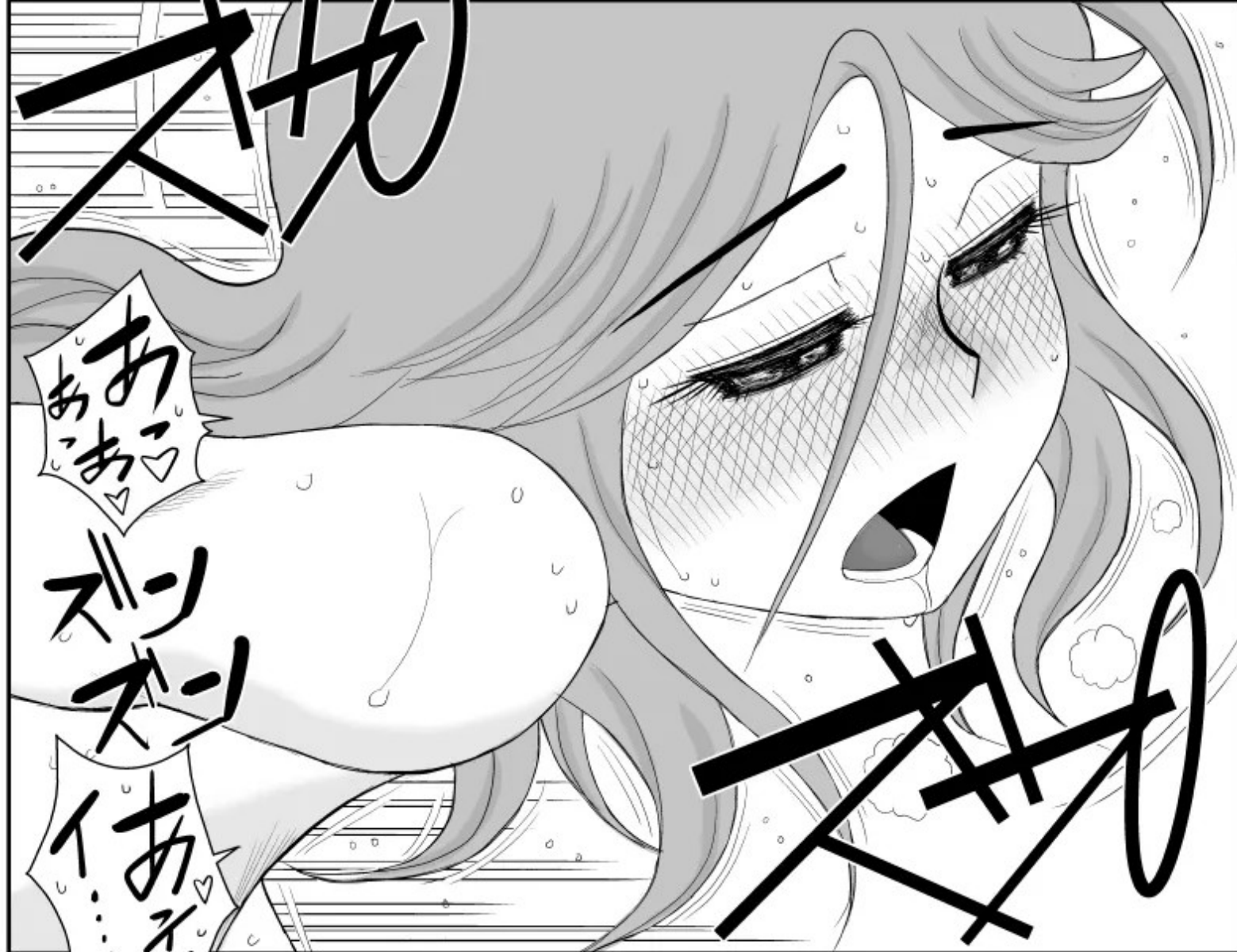
ズググ...

ズググ...









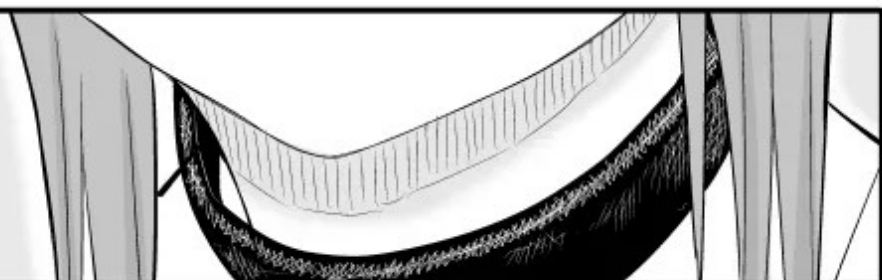


まさか
噂の紅を
手に入れ
るとはなあ

下手な
魔獣より
凶悪なこ
いつを



まその
封印の
はめら
れた
以上も
できな
い
だろ
うが
いよ



これ
着たら
安全
スか？

古代魔術式で
作られた
逸品だぞ
それこそ
ドラゴンだ
って
力を封じ
られる

じゃあもう
ばらしち
やうて
いいか

そ
うい
うわ
け
で
し
た
ー



絶
対

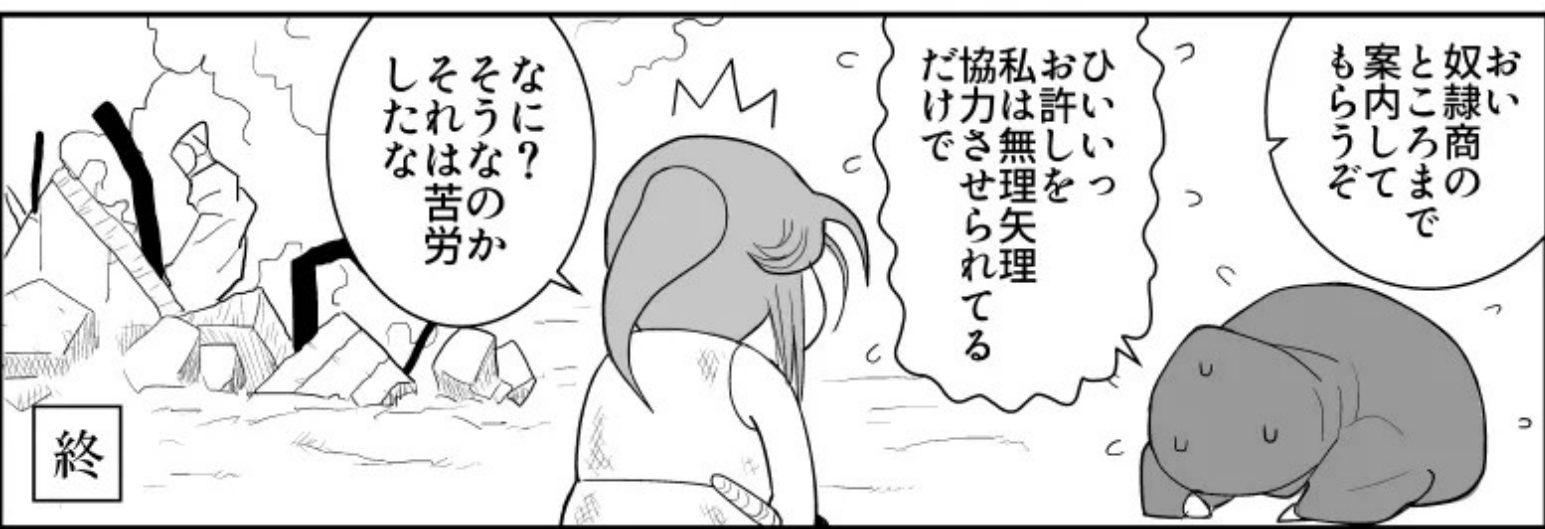
絶
対？



だますんなら
最後まで
だましきらんか

さすがに
ツメの甘さを
見逃す程
抜けないぞ

フッ
オ
オ
オ

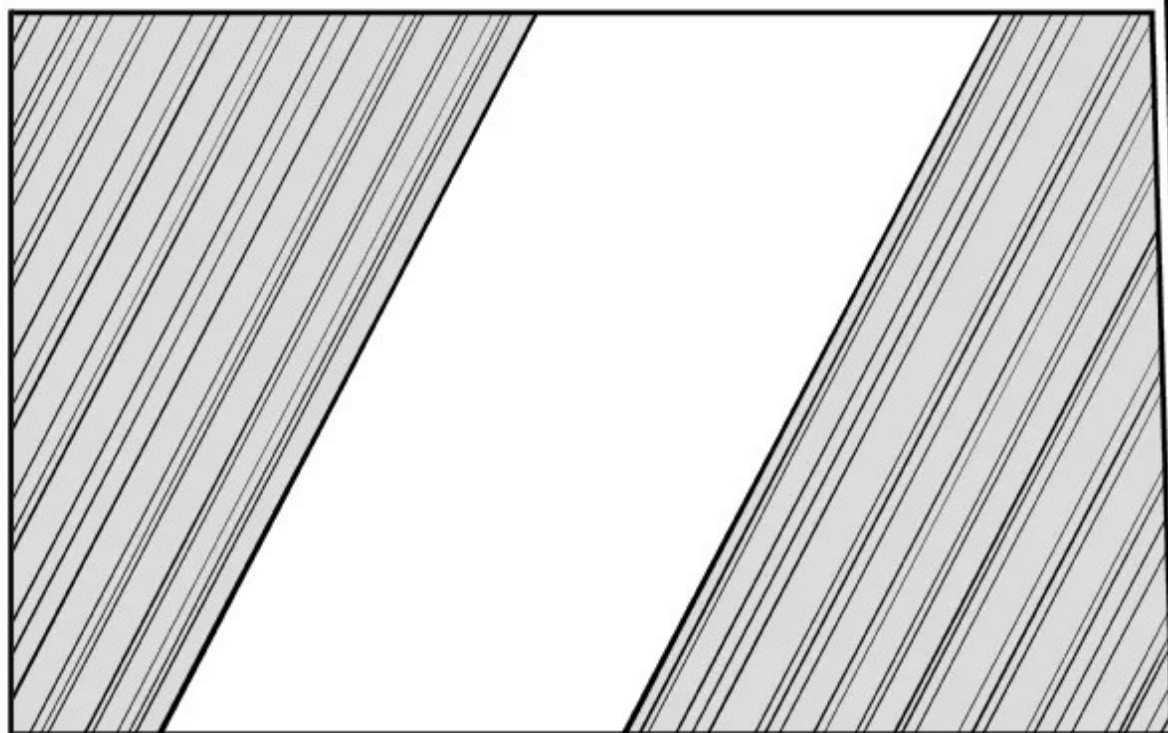


おい
奴隷商の
ところまで
案内して
もらうぞ

ひい
お許しを
私は無理矢理
協力させられてる
だけで

なに？
そうなのか
それは苦労
したな

終







おーい
ドワゾー

グシ
グシ



辺境最強の剣士**紅のコロナ**



いつもながら
唐突で
すまん

なに
こんな辺鄙な
鍛冶屋
ろくに客は来んわ



おう紅の
ひさしぶりに
来よったか

鍛冶師 ドワゾー



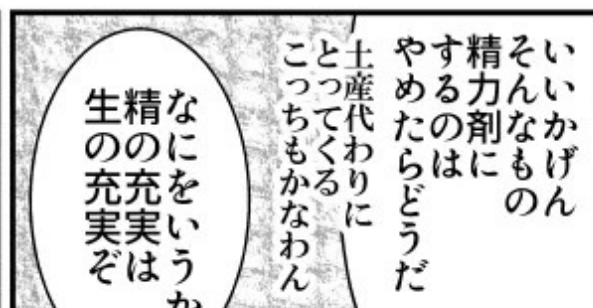
ほれ
魔猿の陰囊

おー
ありがたい



そろそろ
味わってん
みんか?

おにゃん



なにをいうか
精の充実は
生の充実ぞ

いいかげん
そんなもの
精力剤に
するのとは
やめたらどうだ
土産代わりに
とってくる
こっちなわん



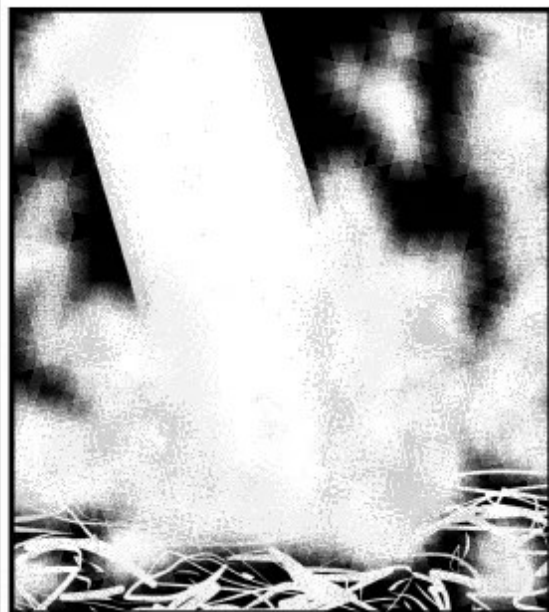
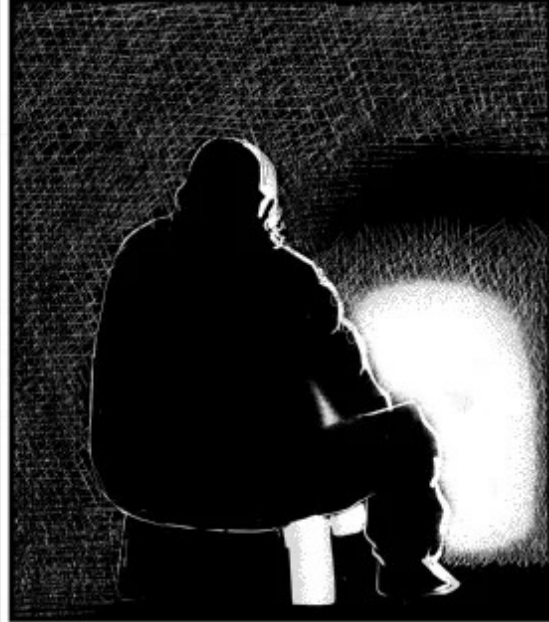
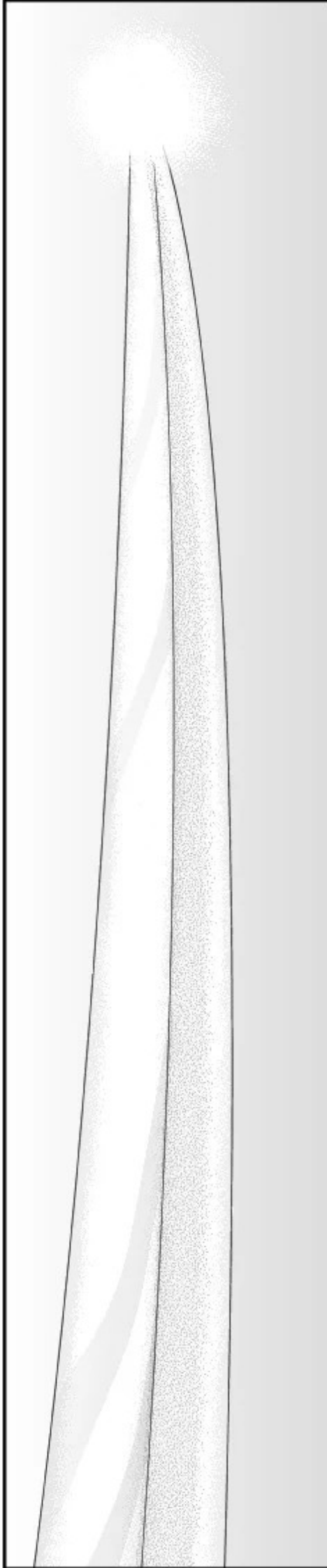
見よ
この股間の
金槌を
若さに溢れて
おろろが

はいはい



仕事せんか

うむ



さすが
千年竜の骨で
出来た剣は
物が違うわ

さんざん
酷使しとるのに
芯がまったく
歪んどらん

それでも
お前じゃなければ
砥ぎ直しは
無理だろうがな
感謝するぞ
ドワゾー

なに
これほどの
一振り
鍛冶師冥利に
つきるわい

それに
報酬が
ええから

うわ
うわ
うわ

何度も言うが
それだと
とても払い
きれんぞ

：何度も
言うが：
金じゃダメ
なのか：？

物が物だけに
砥ぎ直す
かなりの元手が
かかるう

神泉の水に
希少な
超硬砥石を
大量に

金銭に
したらに
いくらに
なるやら

いくら
おぬしでも
払いきれる
ものじゃ

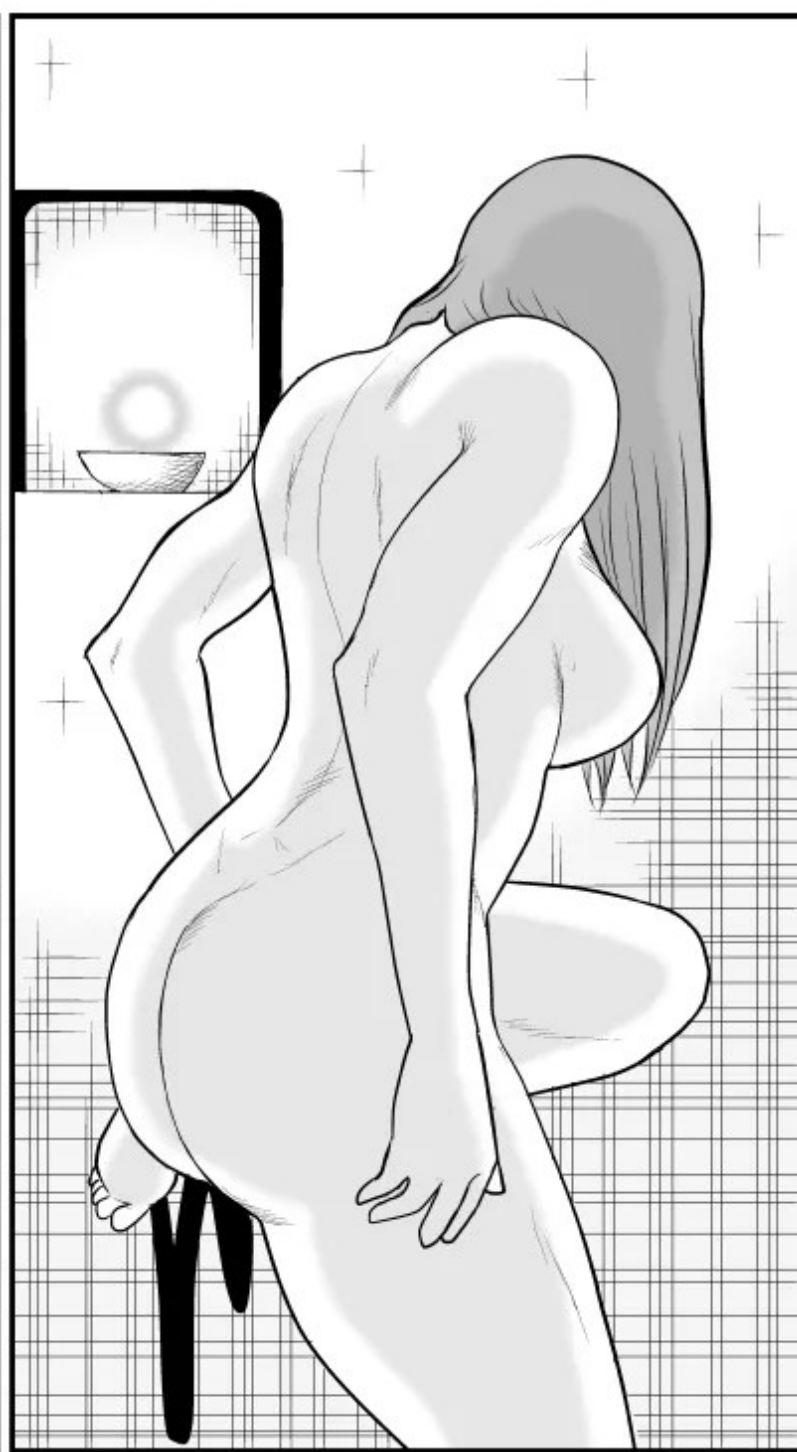
ああ
はいは
言っ
ただ
み
いた

それじゃあ
今度は
おぬしが
仕事する番じゃ

あ……

私はコロナ

「紅」の二つ名を持ち
辺境ではそれなりに
知られている剣士だ



こんな森の奥まで
やってきたのは
愛用の大剣の手入れのため

世界にふたつとないが
名剣で重宝されているが
古竜のレア素材で
作られてるため
そのあたりの職人では
手が出せないのだ

憤懣やるかたないが
何度も命を救ってくれた
愛剣のため

こうして定期的に
娼婦のようなことをしているのである

うほほ♪
思った通り
よう似合うぞ

わざわざ
街まで行って
買ってきた
甲斐があったわい

お前なあ……

それが出来る鍛冶師が
このドワゾーなのだ
この男は女好き
とにかく

依頼を
引き受ける条件として
私の身体を要求してきた

どうせ
脱がすのなら
着せる意味
なからうが…

ギシ…

こういうものは
過程を楽しむ
もんじゃよ

まったく…

仰せの通り
に…な…
ン…

モミモミ

うむ
ちゃんと
下は裸じやの

おい

よしで
ええぞ

ん…

シィン…
♡♡♡



うほほ
いつもながら
たまらんの

無敵の
女剣士が
股ぐら広げて
這いつくばって
とる

私も暇じゃ
ないんだから
とっとと...

≡
.....
〃

ノ
ッ
ッ

なにを
偉そうに
たたいと
わしの機
嫌を損
ねたら
いんじ
ゃん？

キチンと
おねだり
せんかい

ヒキヒキ...

このジジイ...
の調子に
おつて...

シキ...

…剣のお礼だ…
私のここを
好きに使ってくれ…

ぬちや…

だが我慢しなければ……

キッ……



ズッ……

ズッ……
ズッ……

……っ

あ……あ……

今はこいつだから
頼れないんだから……



くそ……こいつの
やはりデカすぎ……る
形が変えられ……そ……っ

今回は十日くらい
つきあってもらうぞい

な……長すぎだ
前回の倍じゃ
ない……か……っ

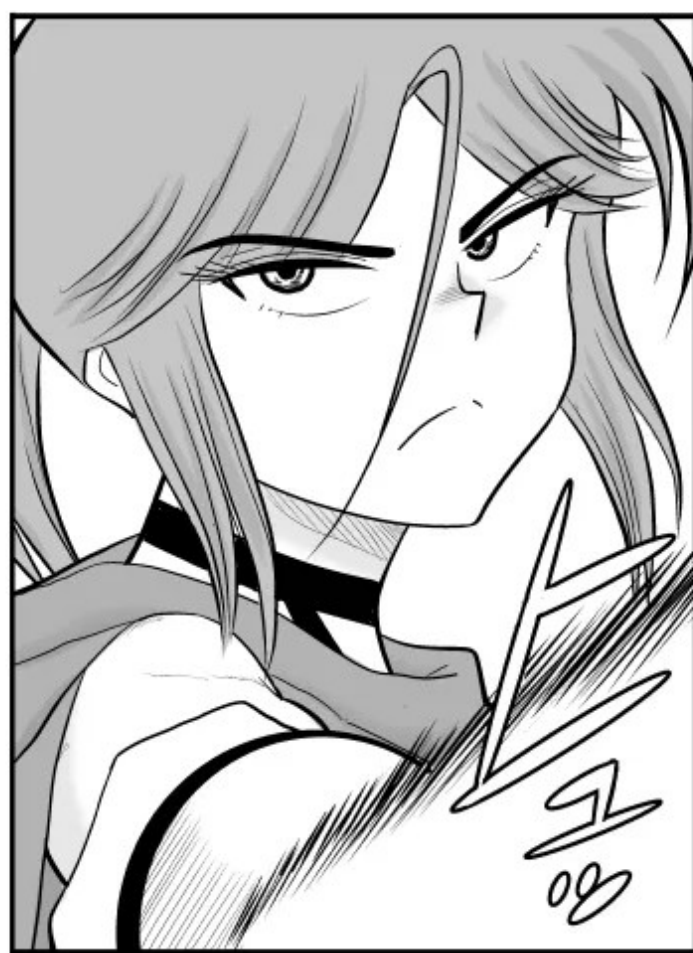
シ
シ

キッ
シ

それだけ
手間取ったん
じゃよ

まさか天下の
紅が約束を
破るとは
言うまいの

ブル
ブル
ブル



片づいたぞ

お
お
か
か
る
る

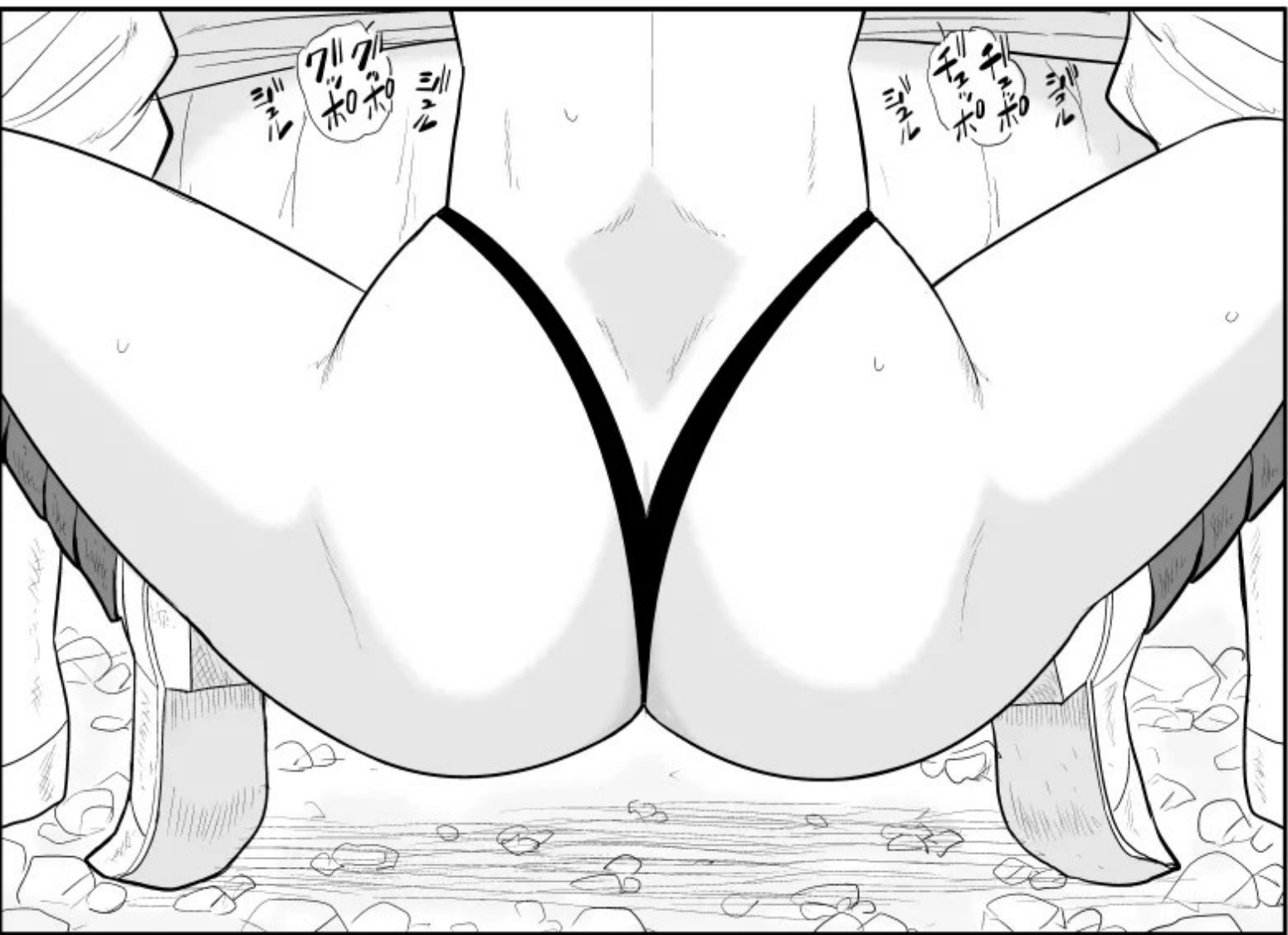
この辺りは
ええ素材が
取れるんじや
魔物が
多すぎたの



こういう
仕事なら
文句言わ
ず引き受
ける

お前も腕
いいんだ
からもっ
と真面目
に生きた
らどう

ほっほっ
お褒めに
あずかり
光栄至極
じゃ



言ってるそばから
これか
まったく...

昨夜
あんなにしたくせに
なんでこんなに
元気なんだ

ええから
ほれ
しゃぶれ

はいはい...

70
ハ
...

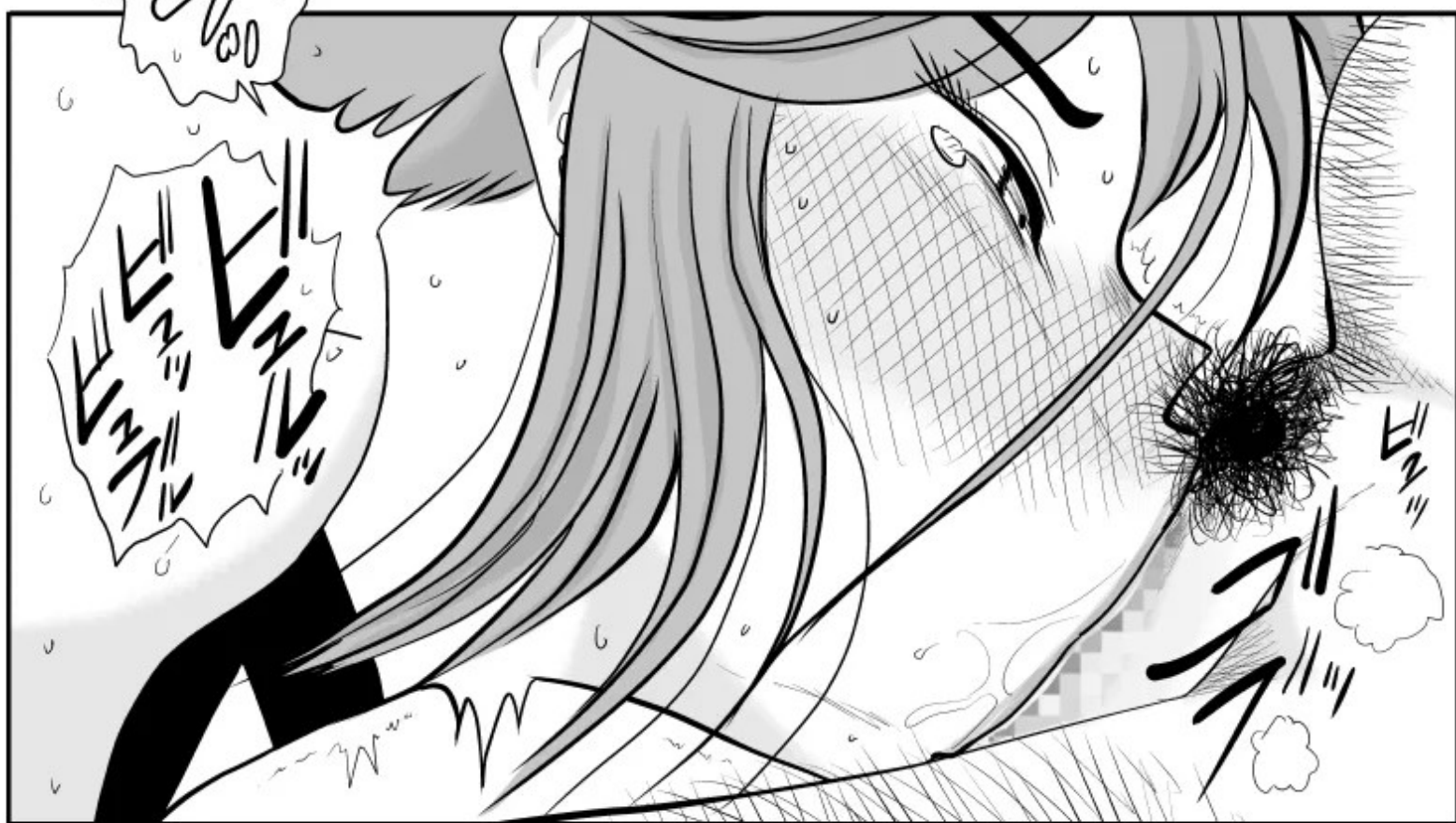
クッ...

デほんと
...

7
7
...



ム…
出すぞ
飲み込めっ



ぬはは
すまん
すまん

お前…
いきなり…

お主の口技が
あまりに
絶品な
ものでな



さして
スツキリした
ことだし
帰って
ひとつ風呂浴びて
埃を落とすと
しようぞ

スツキリ
おたのけは
だ前だけ
がな……



おう
たまらん…
さすがに
慣れたもんじゃな

慣れて
たまるか

そもそもお前
毛深すぎて
チクチク
するんだよ

アッキヤ

アッキヤ

シムハッ

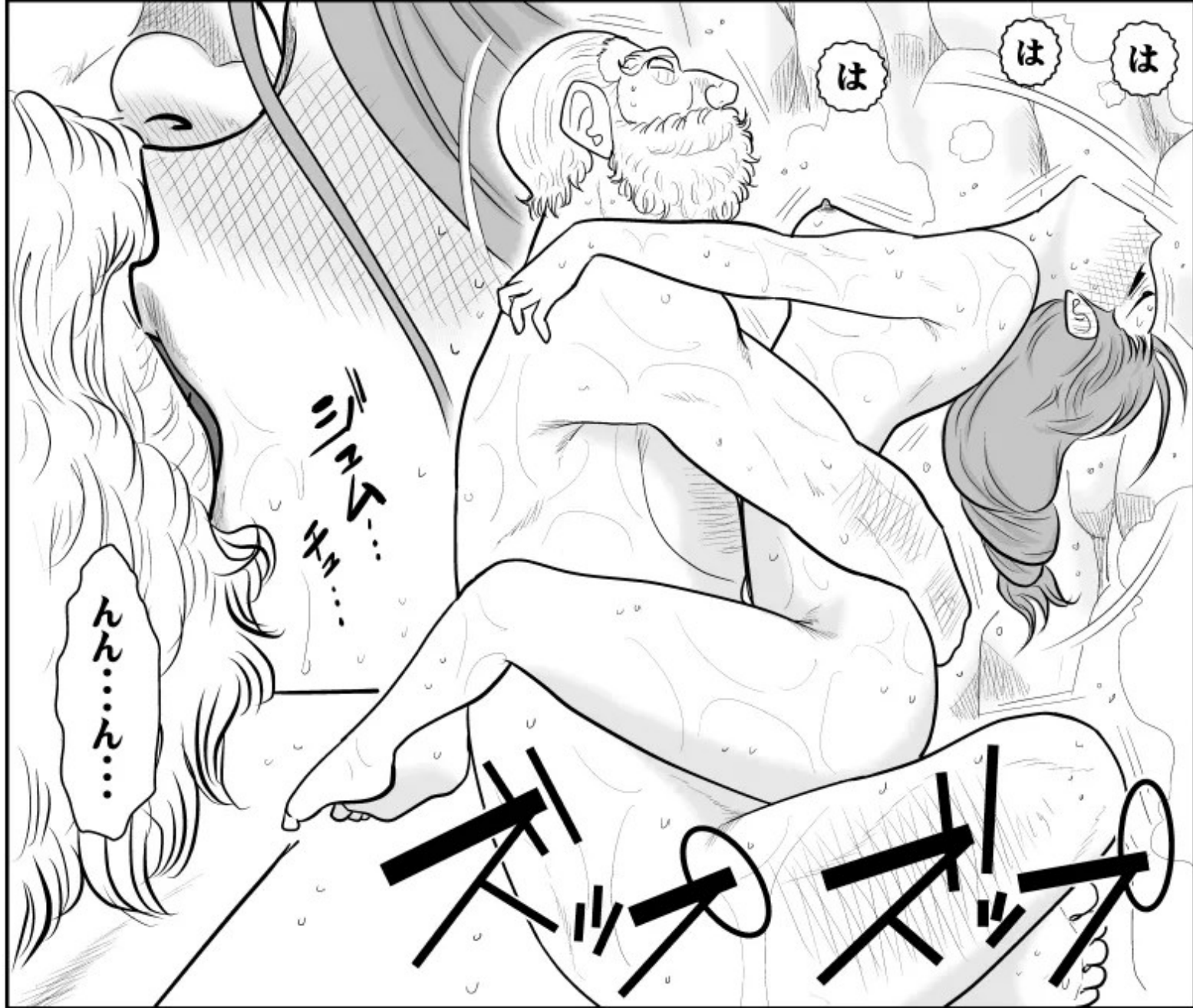
シムハッ

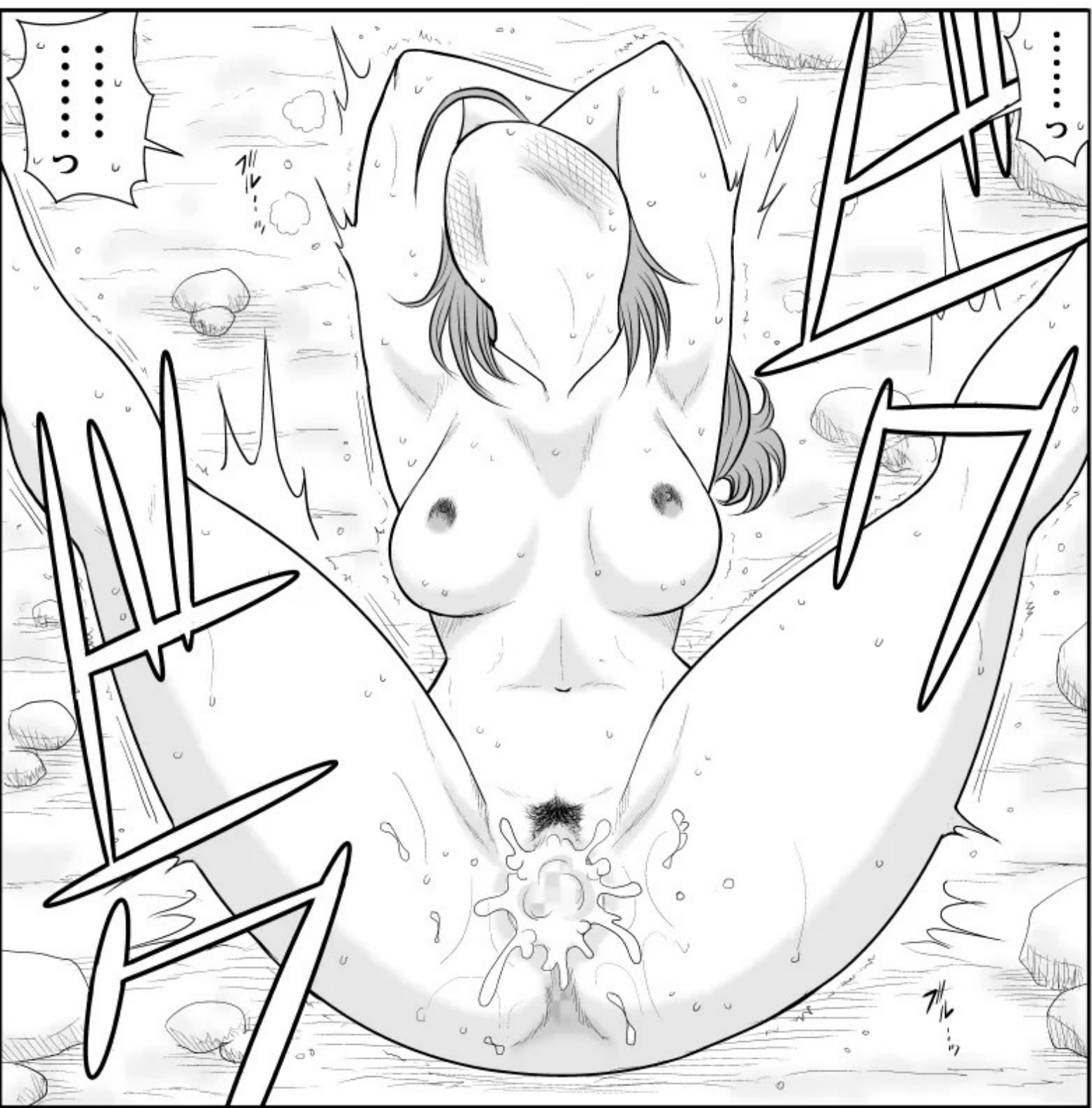
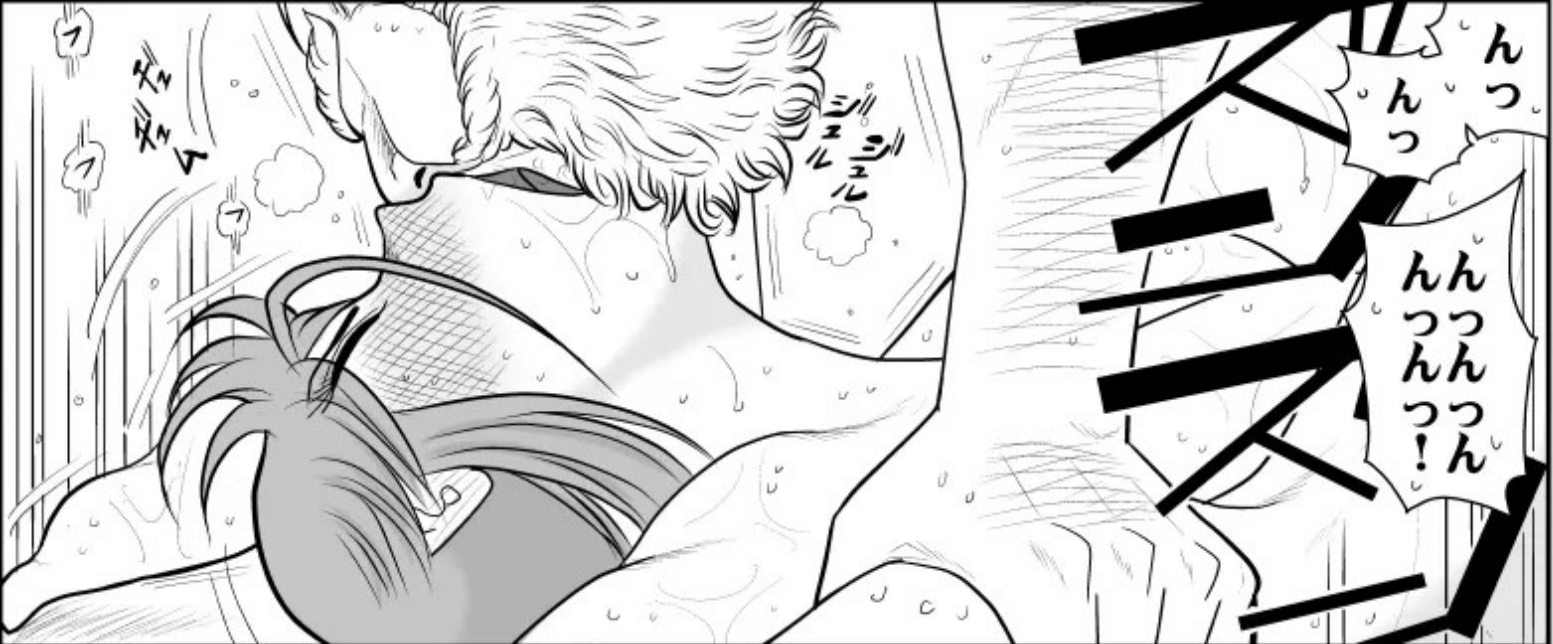
それが男の
魅力じゃろうが
心をこめて
やらんかい

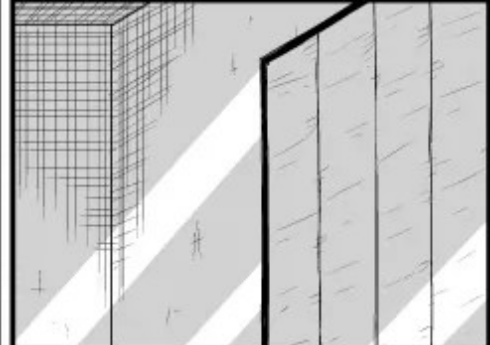
はいはい…

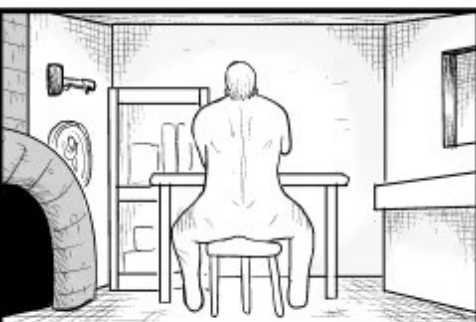
シムハッ

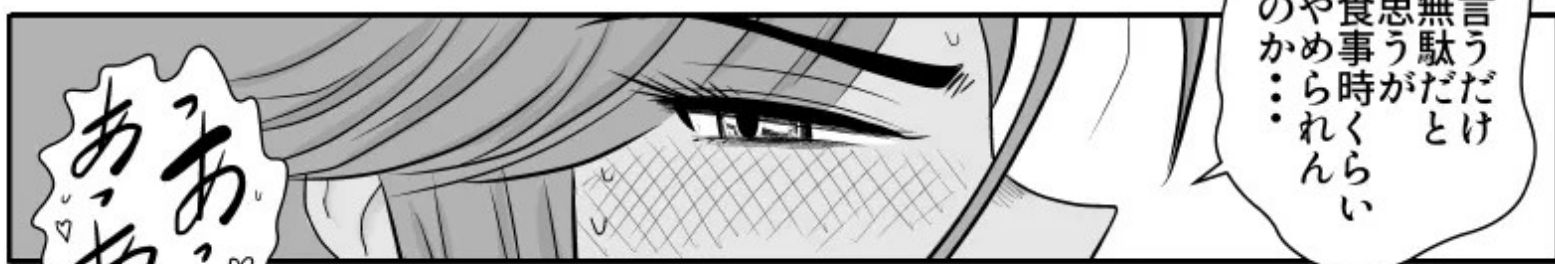






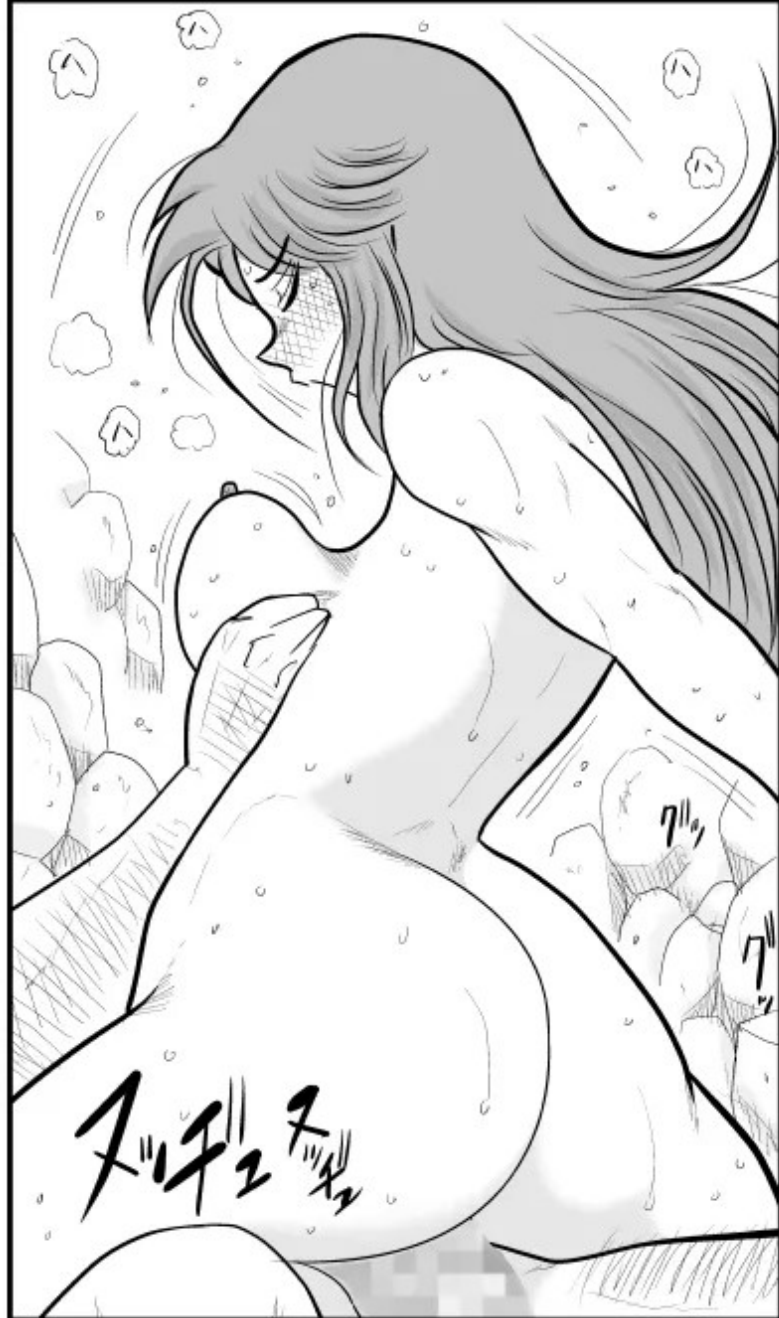












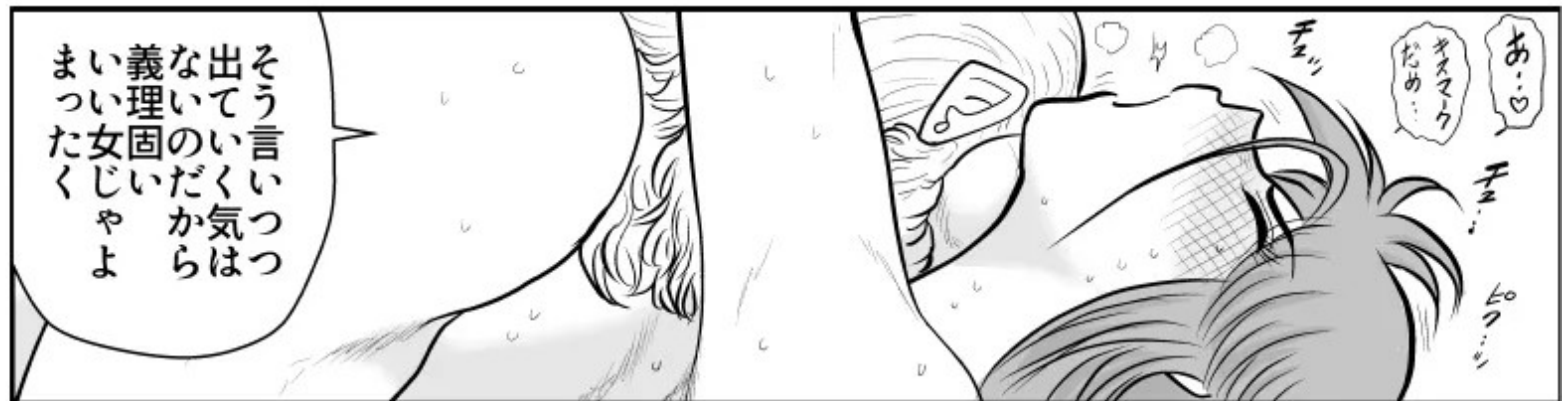


おい：：
もう十五日目
だぞ：

いつまで私を
弄ぶ気だ：

そりやわしが
満足するまで
じゃろうな
：：ヒヒ

お前みたいなの
色魔ジジイが
満足するまで
付き合うつもりは
ない：：ぞ



そう言いつつ
出ないのだから
義理固いやよ
まい女じゃ
まいたく



どうじゃ
いっそ
このまま
わしの女房に
ならんか

はあ：：かな？
バ：：力を
ことを
言う：：なっ

一生
剣を振って
生きてく
わけにも
いかんじゃろ

女の幸せと
いうやつを
たっぷり
味あわせて
やるぞい

どうじゃ

断…る
私はまだ
身を固める
つもりは
ない…い…

お前
ましてや
などと…

だがわしには
抱かれるのは
嫌いじゃ
なかる？

…

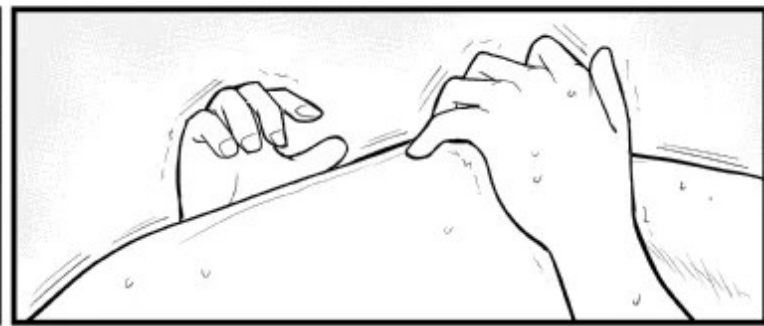
それだけで
上手く
やっついていける
わけが
なかるう…

否定
しきれとらん
ではないか

んあっ…
…あっ！
♡

あっあっ
あっあっ
♡

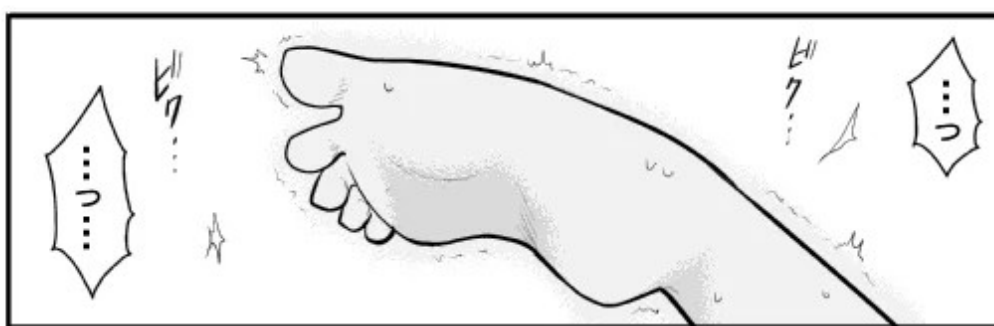
嫌だというなら
引き剥がしてみる
お主の力なら
楽勝じゃろ
ほれほれ



ほれ見ろ
可愛い奴め



腹が立つけど
本当にいい...





素直に
なるまで
とことん
ゆくぞ

ふあぁ...

も...もう
許してえ...

あああ...

パンパン

パン

ギッシ

ギッシ

ああ...



結局
ひと月
いたのう

限度と
いうものが...
ん...む...

チエ...

堪能させて
もらったぞい
クッククック

カ...

あまり調子に
のるなよ
私の我慢にも

また来るのを
心待ちにし
とるぞい

今回以上に
楽しませて
やる

……っ

貴重な
剣なんじゃ
大事に
使えよー

言われなくても
そうするっ

いや
本当……

手入れなんぞ
必要ないくらい
ええ剣なんじゃよ

なんで
気づかなか

おいし
いから
関係
ない
や
決
して
教
え
て
や
ら
ん
が
ね

最強の
女剣士として
有名な
紅の
コロナ

うう……
キスマーク
だらけ……

だまされやすく
ちよろい女
としてはい
それ以上
有名な
のである

あれだから
こいつの
ところには
来ない
嫌なん……

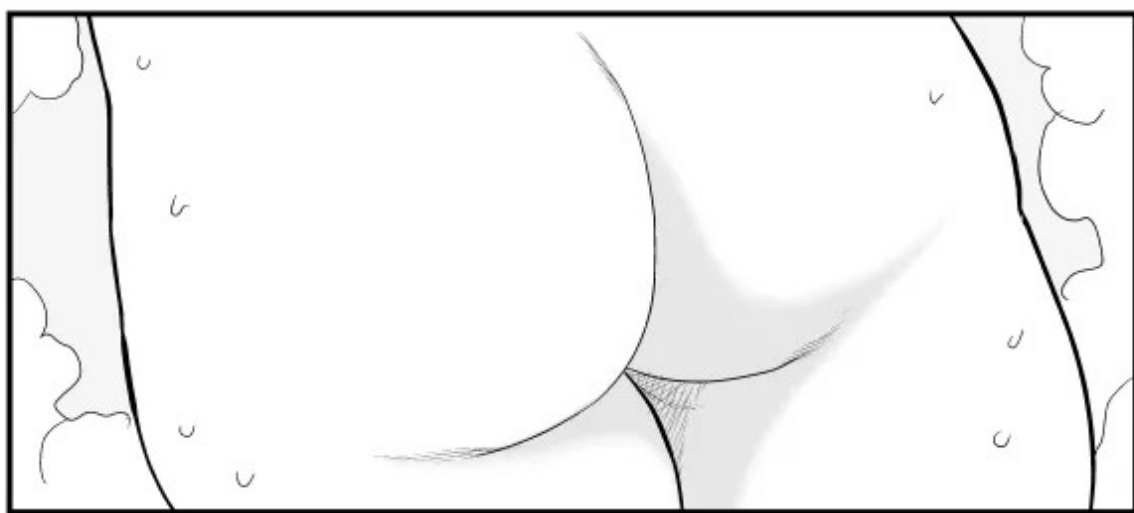
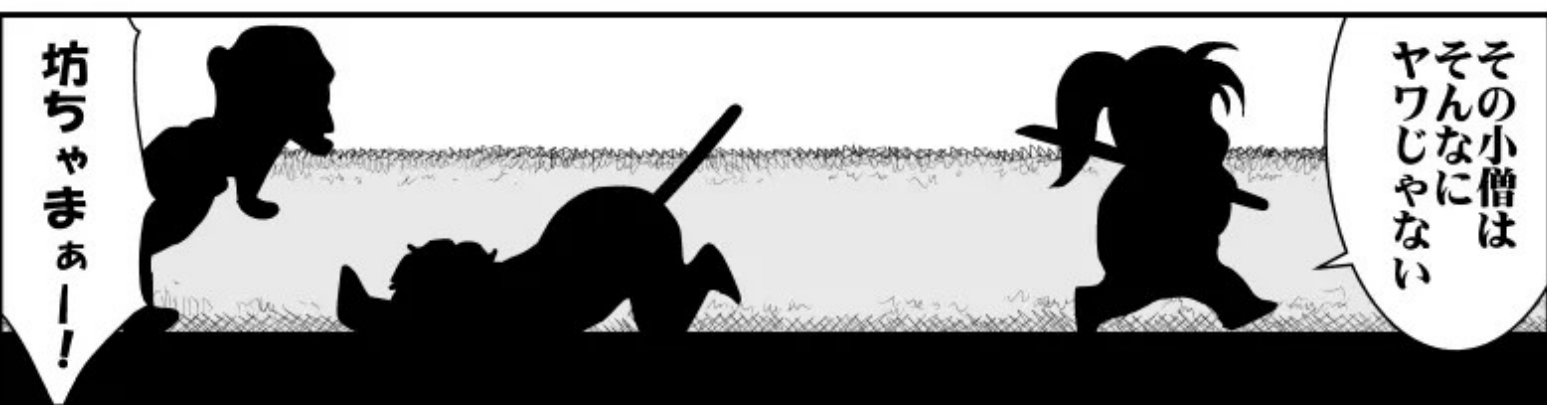
終

ほらほら
どうしたら



んぎんぎん...

これが実戦なら
立ちあがるのを
待ってはくれんぞ

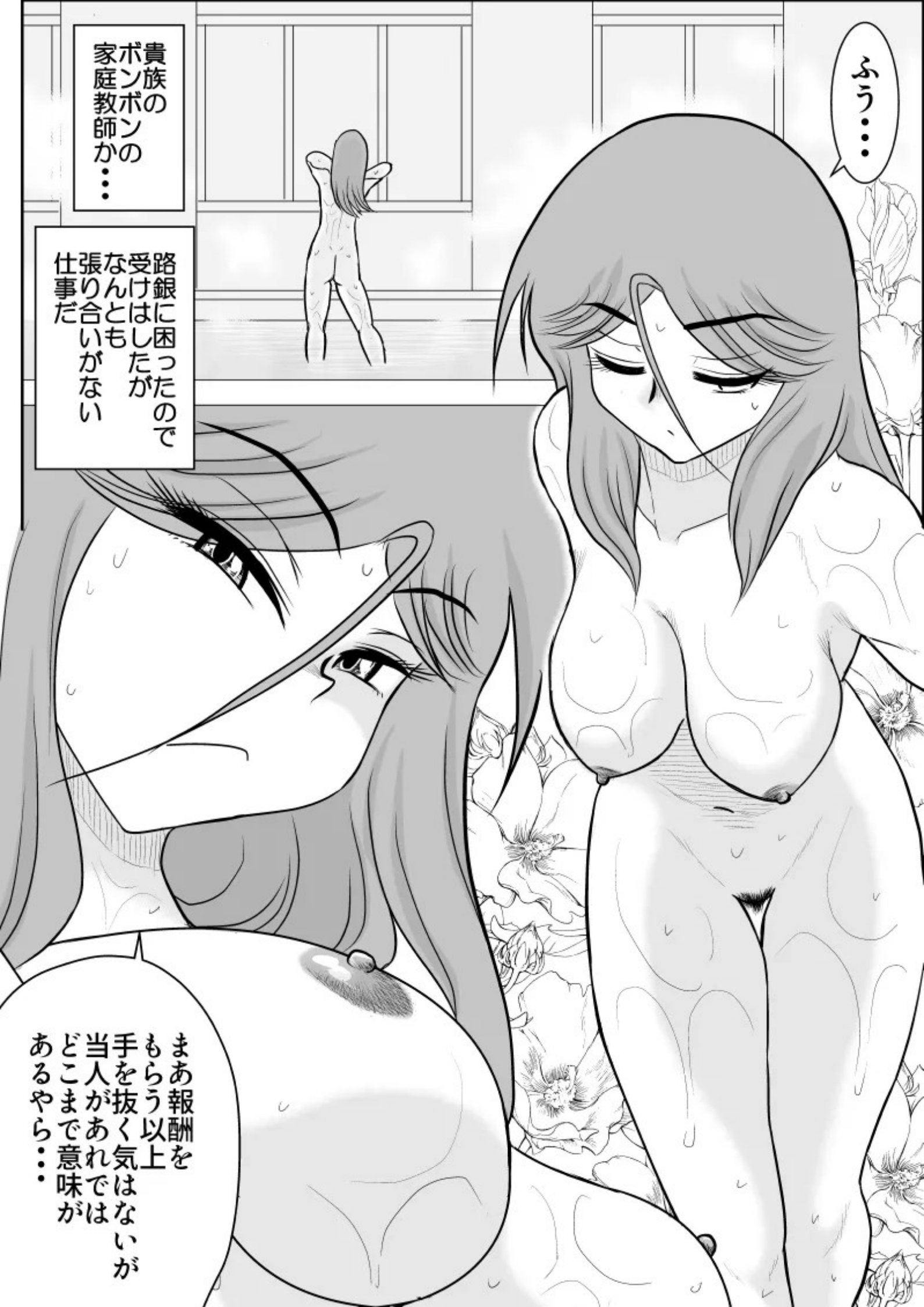


ふう……

貴族の
ボンボンの
家庭教師か……

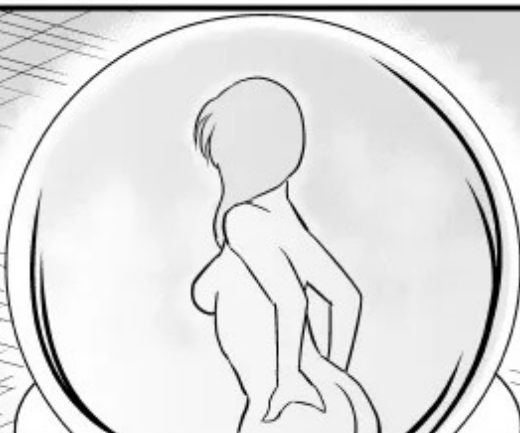
路銀に困ったので
受けはしたが
なんともしない
張り合いがない
仕事だ

まあ報酬を
もらう以上
手を抜く気はないが
当人があれでは
どこまで意味が
あるやら……





くっそ…
やはり
たまらない
身体をしている



紅のコロナ

最強を冠する
美貌の
女剣士と
聞いていたが
予想以上だった

権威にひざまずく
女じゃないと
いうから
おとなしく
してたが
もう我慢ならん

なんとか
モノにする
手はないか？

左様ですな…
これも噂ですが
紅様は驚くほど
だまされやすい
御方と
聞きおよんで
おります

褒美を
出せたと？

そこをうまく
つけば…

はいそのほうが
坊ちやまの
やる気が
増すかと…

mmm...

当家の恥を
晒すようですが
実は坊ちやまの
ご両親は
多額の借金
が理由で
行方知れず

子供じゃ
あるまいし…
あれにはむしろ
厳しくいいた
はうがいいと
私は思うぞ

じき
屋敷も人手に渡り
坊ちやまは
一人で生きていかなば
なりませぬ

なんと…
それは大変だな

長年
お世話になつた
身として
あまりにも不安
どうか坊ちやまを
少しでも強い男子に
してあげては
くれませぬか

うゝむゝ

執事殿の気持ちは
理解したが
あの手の男に褒美
などと言うと…

ならばコロナ
お前自身を
要求するぞ！

当然こうなるか、いっそ
清々じいやつめ

ようし
やる気が
出てきたぞう

まずは
なにからだ
素振りか！

いいだろう
私を好きに
させてやる

おおっ！

その代わり
昨日までが
遊びに
思える程
厳しくいくぞ

ゴ
ゴ
ゴ

どうした
おいした
望み通り
混浴して
やっつて
うのに

なんなら
身体を
洗わせて
やっつて
いぞも

動ければ
話だけの

筋肉痛

お...げ...

覚悟してろ！
必ずお前を
僕のものに
してやるからなあ

ハッ
それは
楽しみだ

見事特訓に
耐えきれる
ようなら
いくらでも
奉仕してやろう

一ヶ月後ー

今日は特に
汗をかいたから
念入りにな

さあ
いつものを頼むぞ

はいはい……

だん……
引き締まって
きたな……

そりや毎日
嫌と言うほど
シゴかれてる
からな

後悔してるか
コロナ
ん？

……
なにをだ
……？

うかつな約束を
したせいと
最強剣士と
称されるお前が
娼婦の真似事
をする羽目に
なっている

さぞかし
屈辱だろう
クックック

誤解するなよ
小僧

確かに腹立たしい部分もあるが正直感心してるのも事実だ

貴族のドラ息子がここまで頑張るとは思ってたんでな

侮った詫びも兼ねてキツチリ褒美をくれてやるさ♡

シキリッ
シキリッ
シキリッ
シキリッ

お

では
お言葉に
甘えて

ゴロン

シタ
シタ

こらこら
こおら!

ギリギリ

イデデッ

最後まででは
ダメだと
何度言わせる

イデデ…
くそぅ…

ほれ
いつも通り
手でして
やるから

なら口も
吸わせて
くれ

あゝ？

チム…

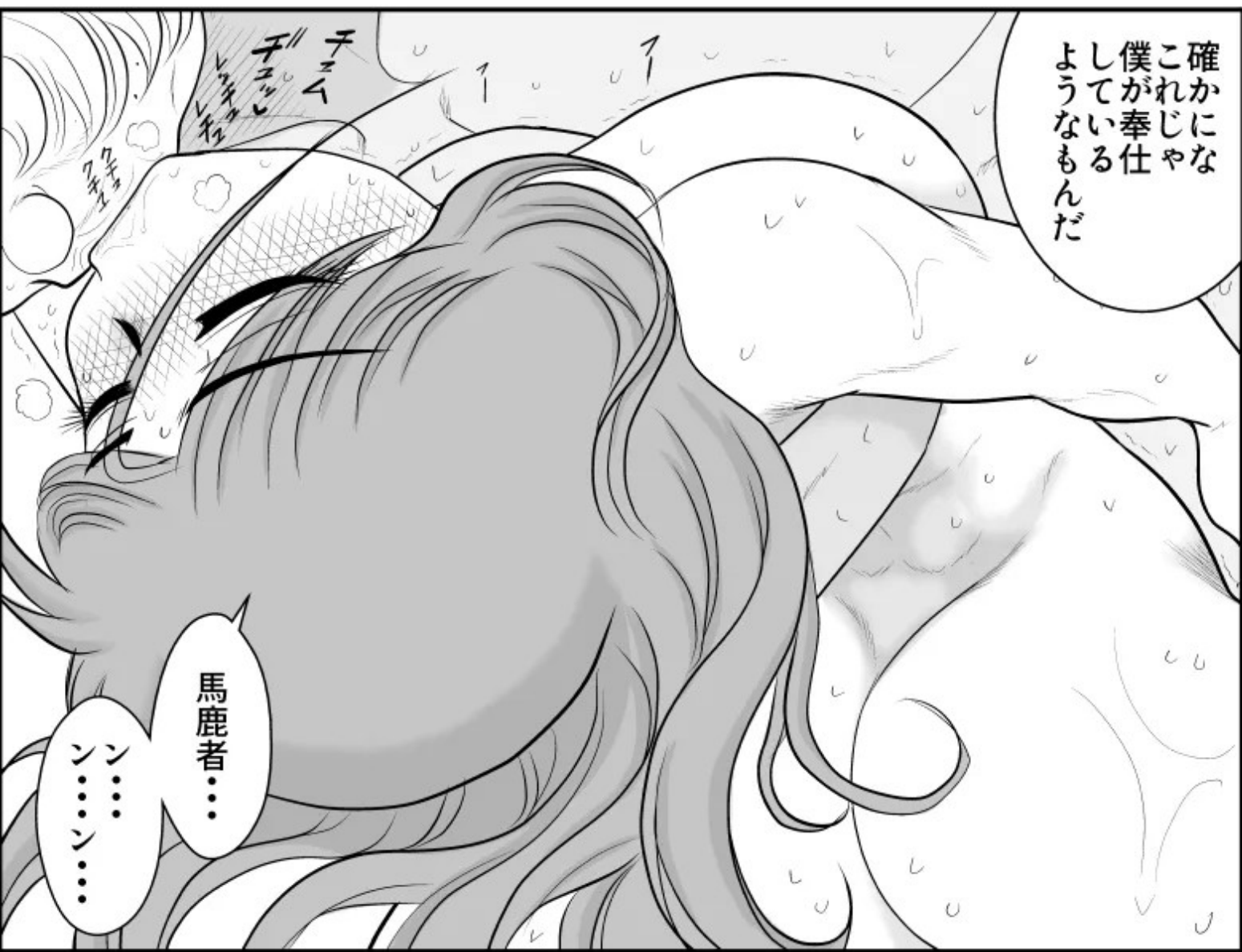
っけあがりおって……
少々甘い顔しすぎたか……？

ま
度がすぎる
ようなら
シメ直すか…

チム
チム



あゝ…
そこまで
としてはいい
言っていない
んだが…



確かに
これじゃ
僕が奉仕
している
ようなも
んだ

馬鹿者…

ン
ン
ン
ン
ン
ン

フー…
スツキリした

ドビッ

そろそろ
口でもして
もらおうかな

そう言うな
じきに僕は
この厳しい世界に
一人放り
出される運命

それまで
幼い頃から
暮らしてきた
この屋敷で
少しだけでも
いたい出に
ひいたいのだ

手でして
やるだけでも
大サービスだぞ
まったく…

やらん
つけあがるな

なあ
師匠…

む…

む…



口の聞きかた
気をつける
シメるぞ

おお
怖い
怖い

申し訳
ありません
師匠殿
どうか
不肖の弟子に
褒美を

10千10千

ったく...

ハム...



まさに娼婦だなど
どこで
覚えたんだ師匠
ククク...

あつたつた...

なぜ男は
ちよつと
気を許すと
調子にのるのだ

ま
しよせん子供だ
本気で怒るのも
大人げない

二週間後—

いずれ来る
別れの餞別と思って
せいいい
いい思いさせてやるか





一度も
イカせてもら
わないのだから

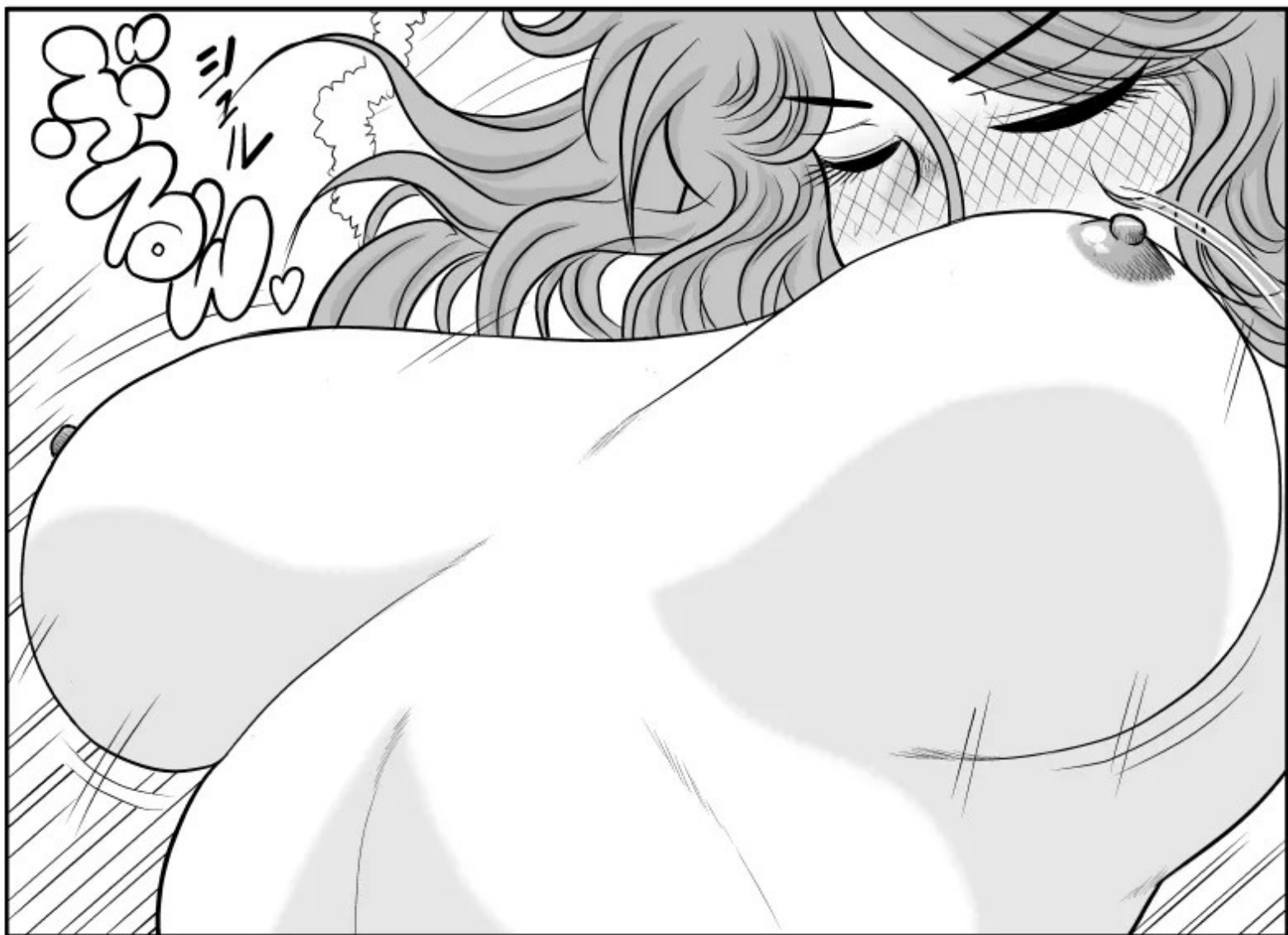
ニヤ...



やはり
さんざん
じらしたのは
わざとか
人をコケに
しおって

キリッ…
ゴキブリ

オゴゴゴ
し…締まる
締まる…!!



スリ
スリ

お前の
勝ちだの
馬鹿者

おお
おはよう



おはよう
ございます

その様子だと
目的達成
されたようで



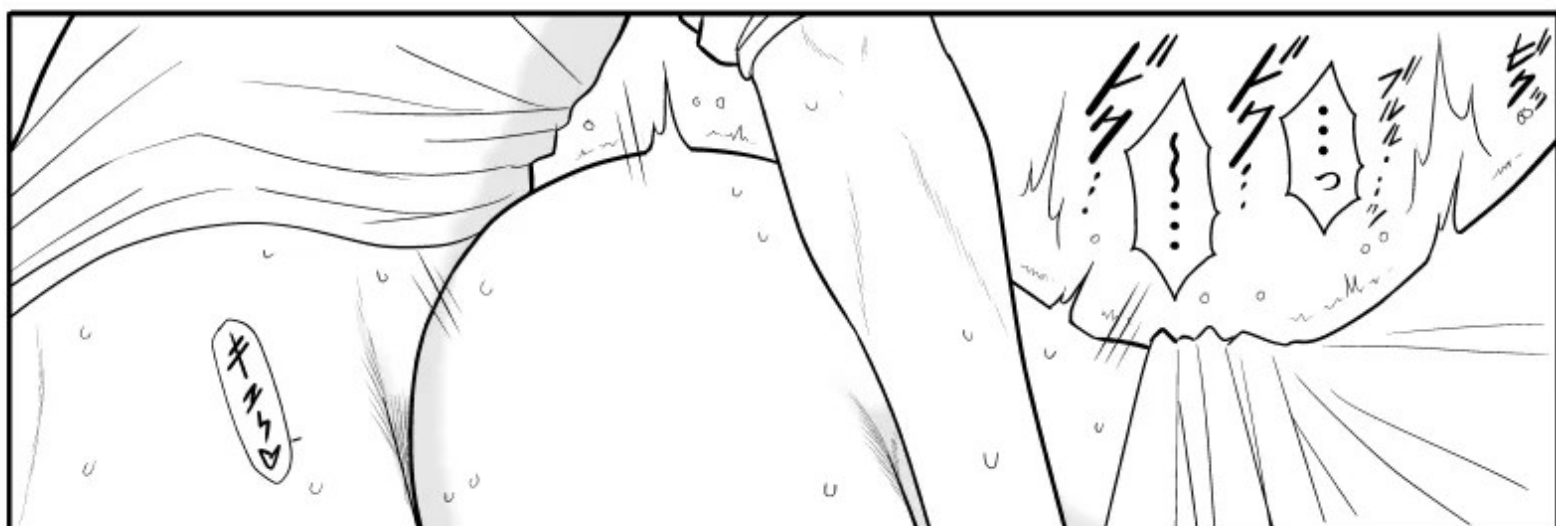
いや
堪能した

手間
かけたぶん
達成感が
たまらな

失神
しなけれ
ば
もつと責
めがて
やったん

ま
言質は
とつたか
らな
僕
の女
だ





約束は
約束だから
四の五の言わん

望み通り
好きにするが
いいさ

けど
あくまで
契約してる
間だからな

はいはい

…なにか
言いたそう
だな…おい



いや貴様
チヨロすぎて
今までよく
無事で
いられたなと

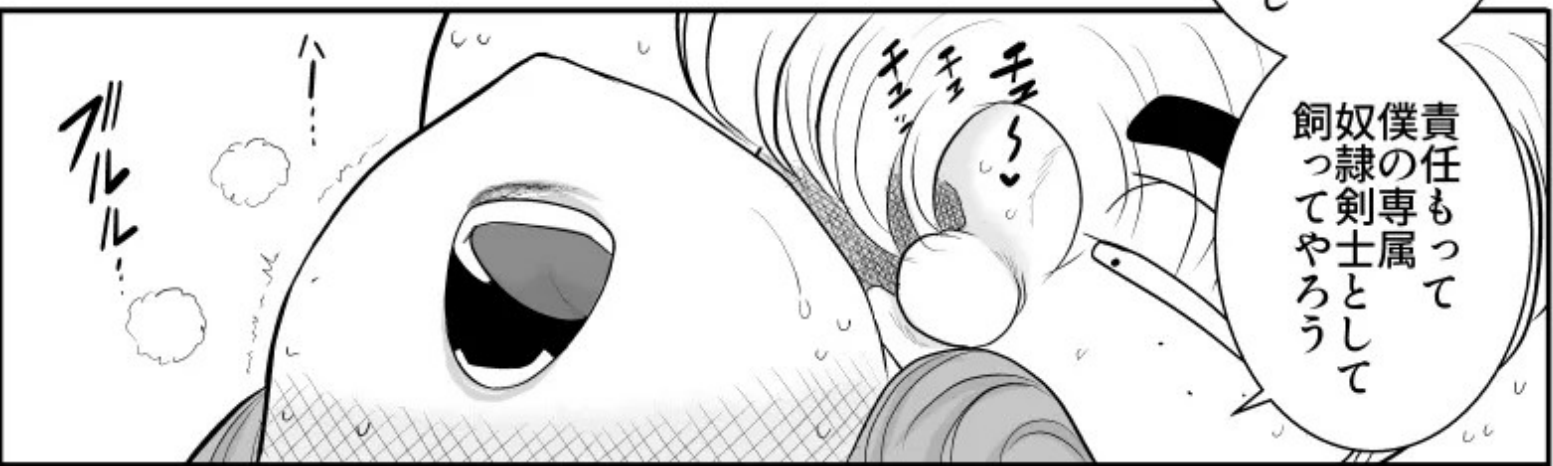
誰が
チヨロい

んはあっ♡♡

ズッ
ズッ

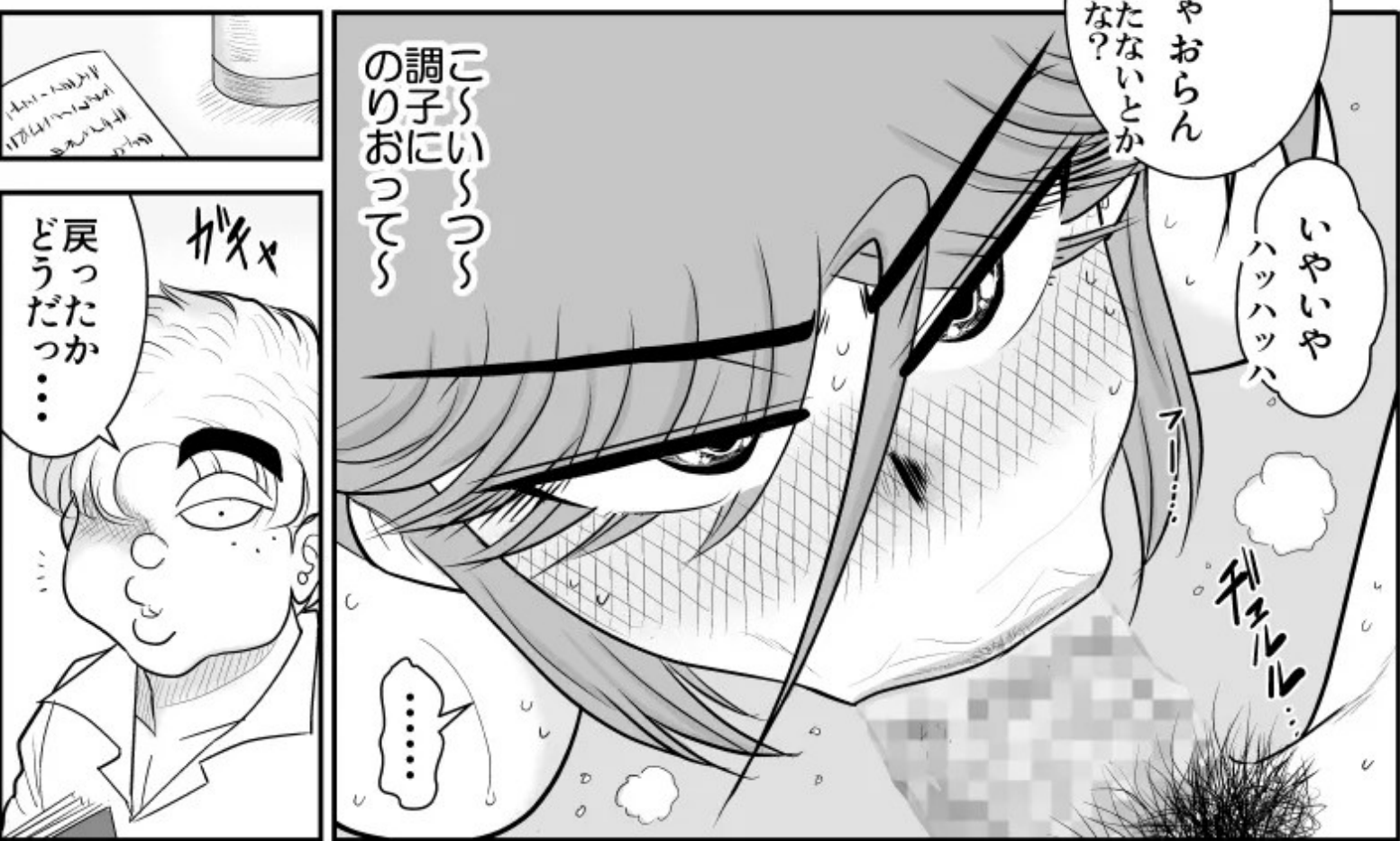
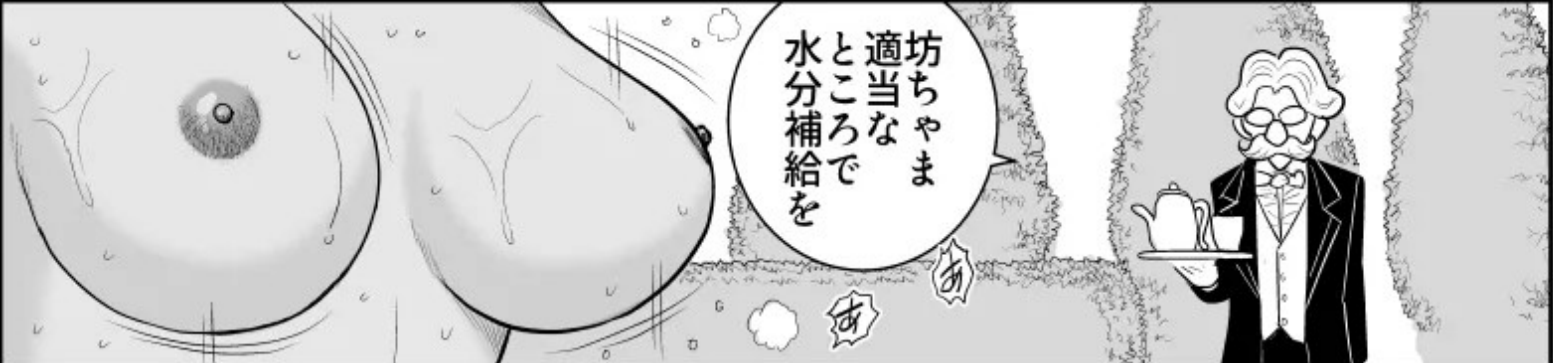
ズッ

〇





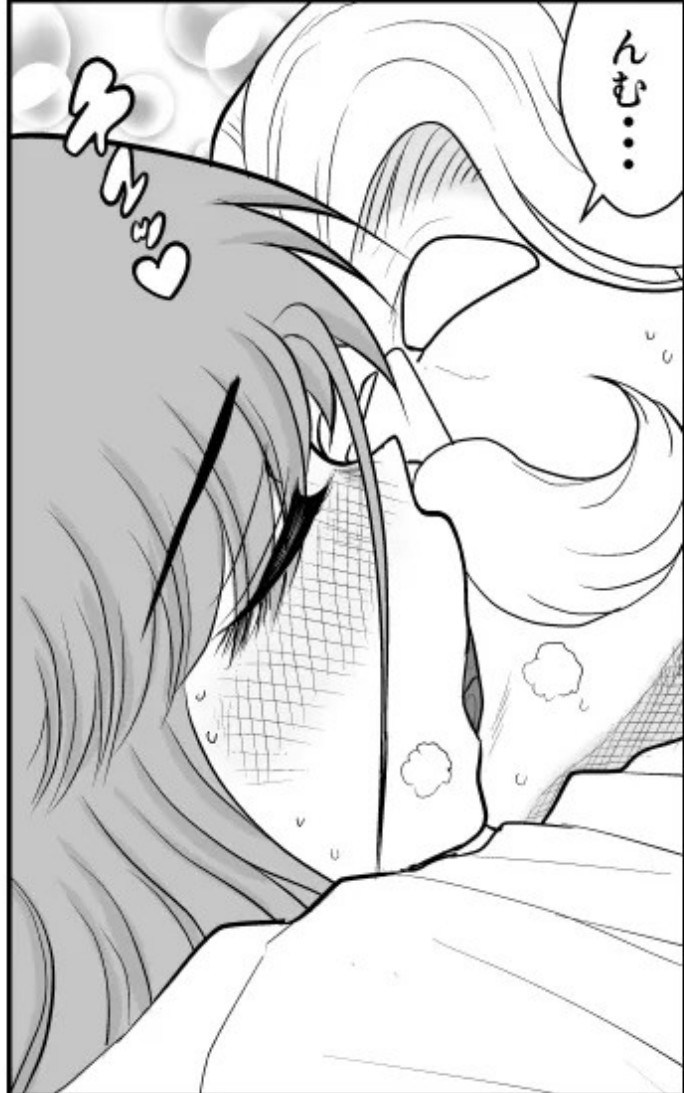




いやはは…
なんと



んむ…



すごかったぞ
執事殿…
年期は伊達じゃ
ないな…



こらこら
坊ちやまの
前ですぞ
まったく



この
ビツ
チが！

あれで
意返し
したつも
りか？
あん？

キシ...

いや真面目に
上手かったぞ

やかましいっ！

あいたた...

ここは
僕自慢の
調教部屋だ

二度と
なめた態度
とれないよう
骨の髄まで
快楽を叩き
こんでやる

多少溜飲は
下がったけど
.....
早まったか.....？

あ
あ
あ

スライムが生き物の血を吸うのは知ってるだろう

あああ

はあ

こいつは知り合いのテイマーに改良させた特異種だな

女の愛液を好む

そのために獲物に全力で快楽を与えるのだ

あああ

わ

あああ

ニルニルニル

本来なら
簡単に倒せる
下等生物に
抱かれる
気分はどうだ
ククク...

んー...

んー

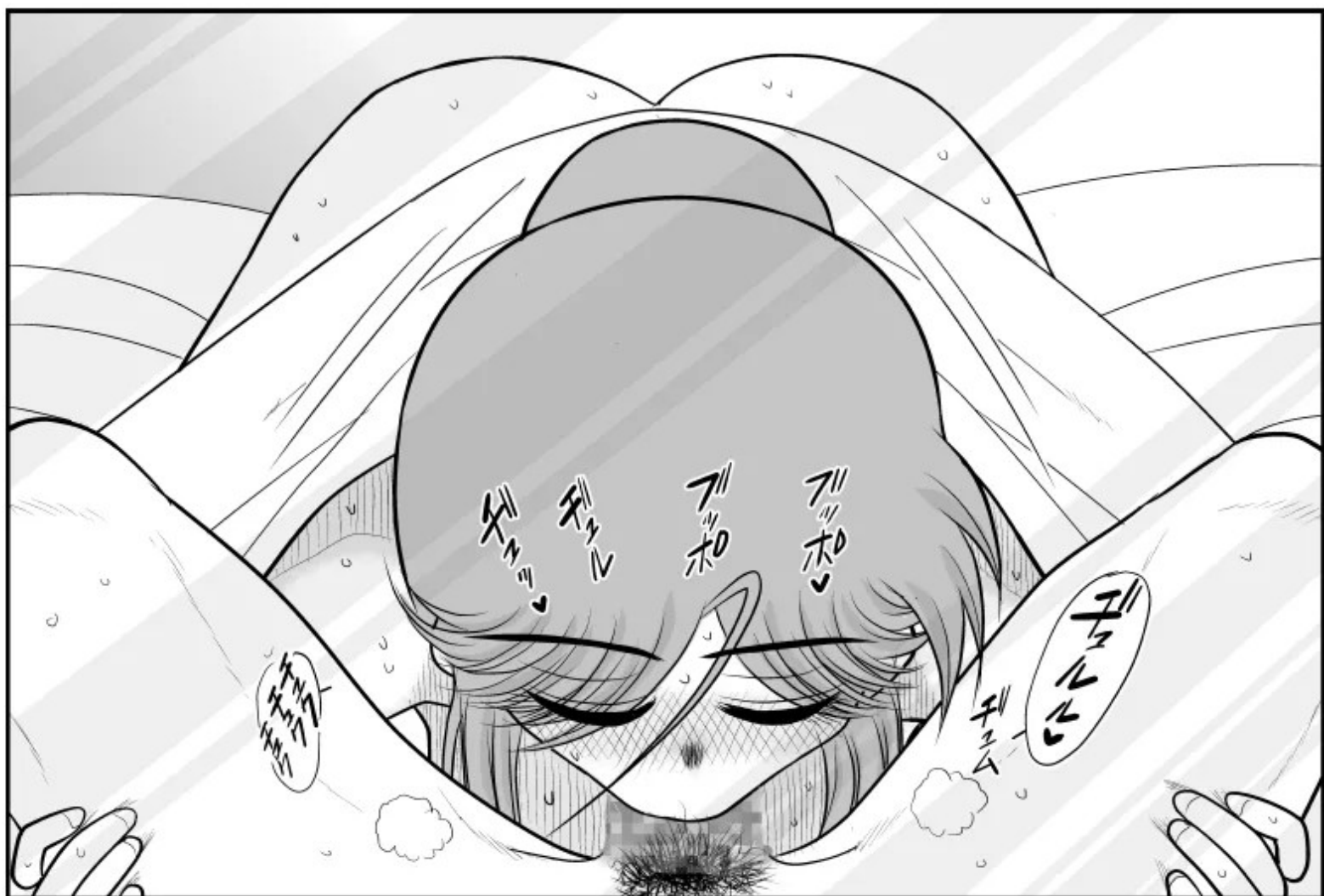
んー

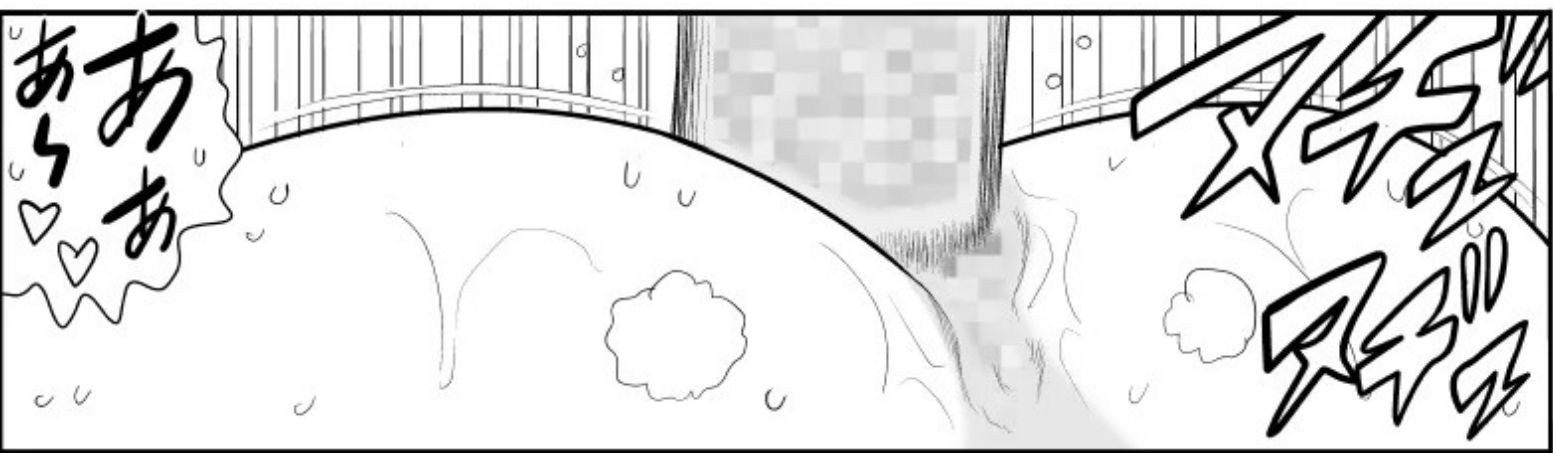
終わるころに
どれだけ素直に
なってるかな
楽しみだな

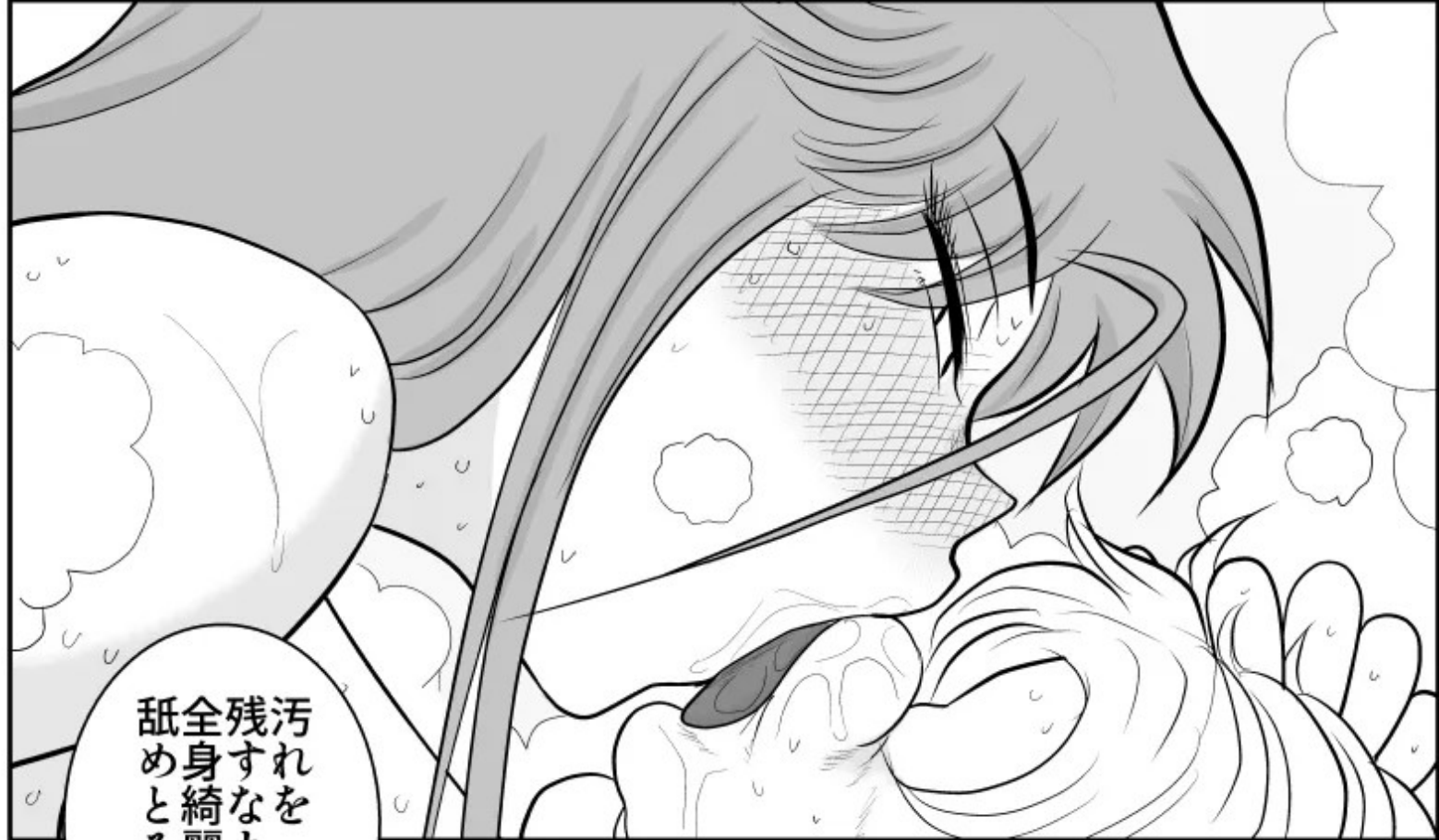
ん
あ
あ

そいつの
食欲は
三日三晩続く

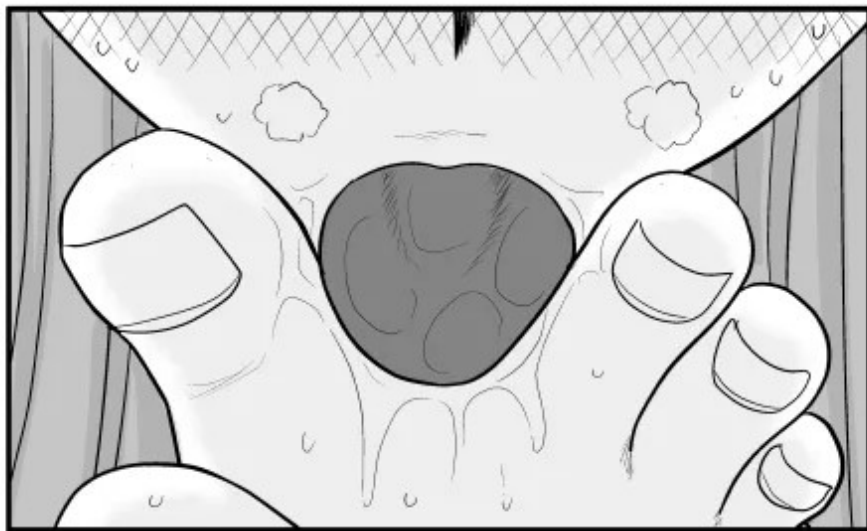
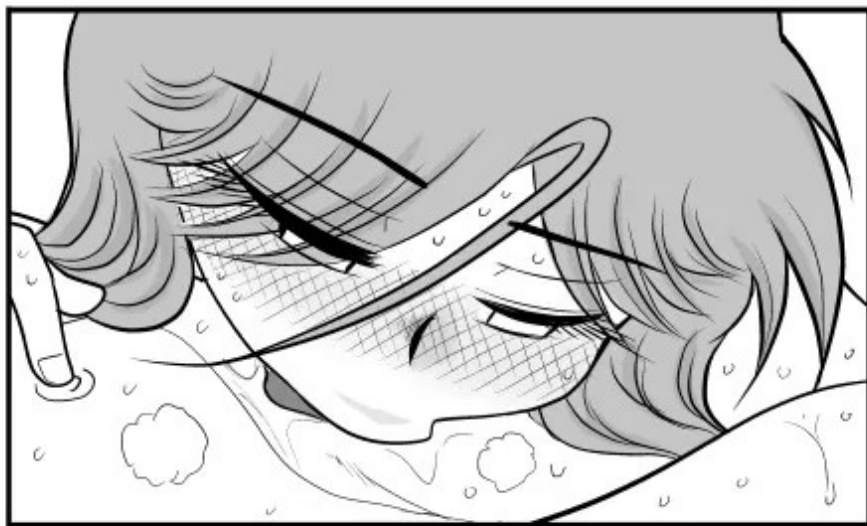
十日後





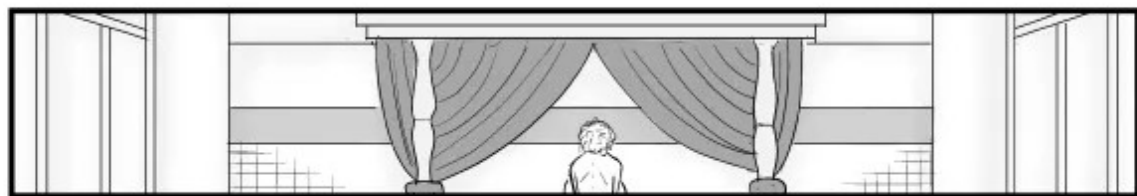


汚れを
残すな
全身綺麗に
舐めとるんだ









すぐに飲むな
味わえ

ドロ...

よし

アハハ

アハハ...

チハハ

チハハ

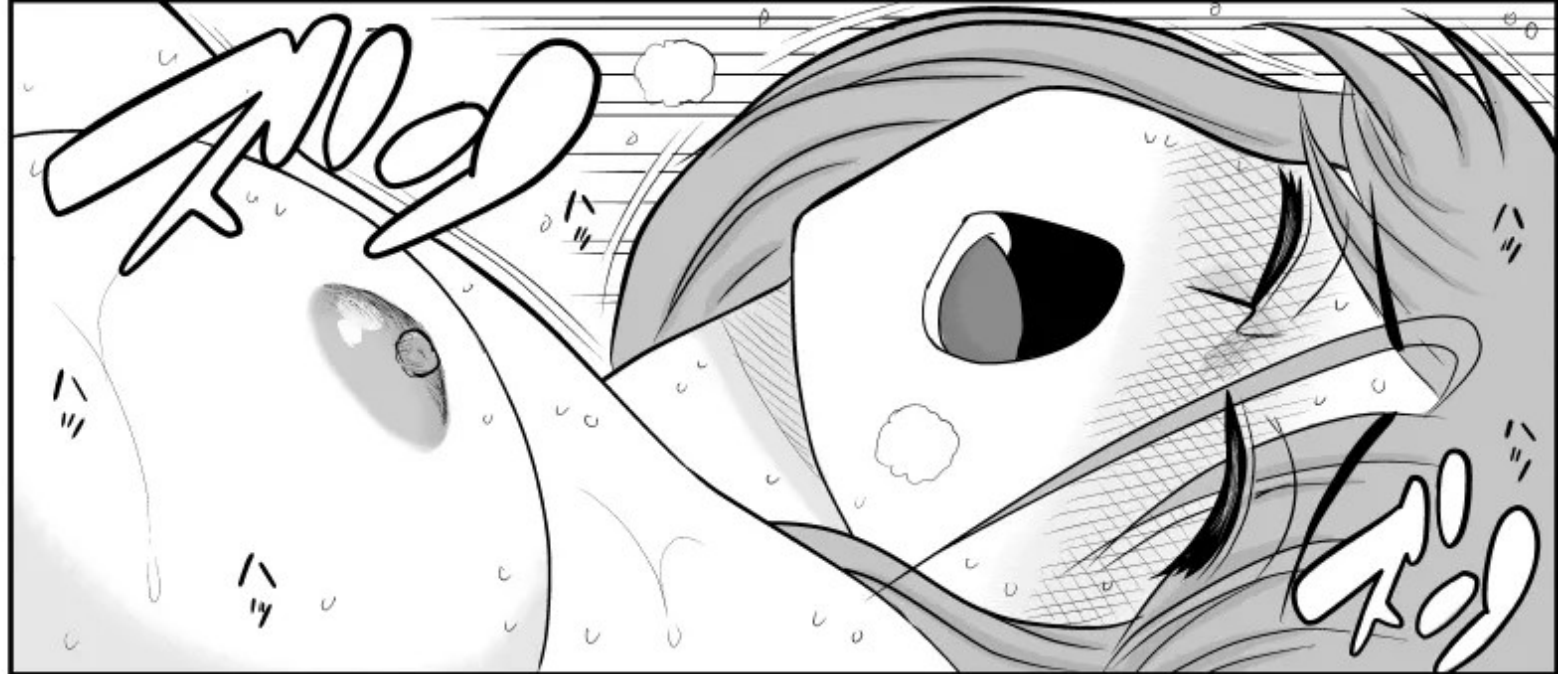
シニシニ

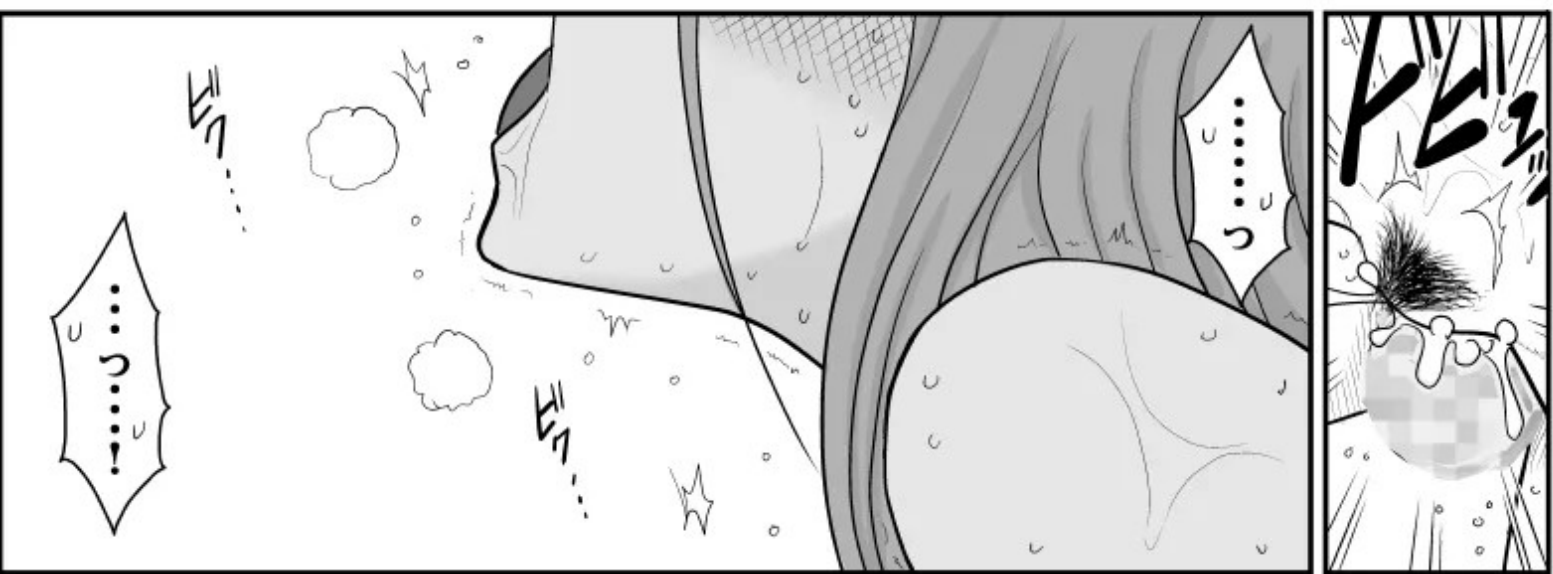
チニ

ア

ア









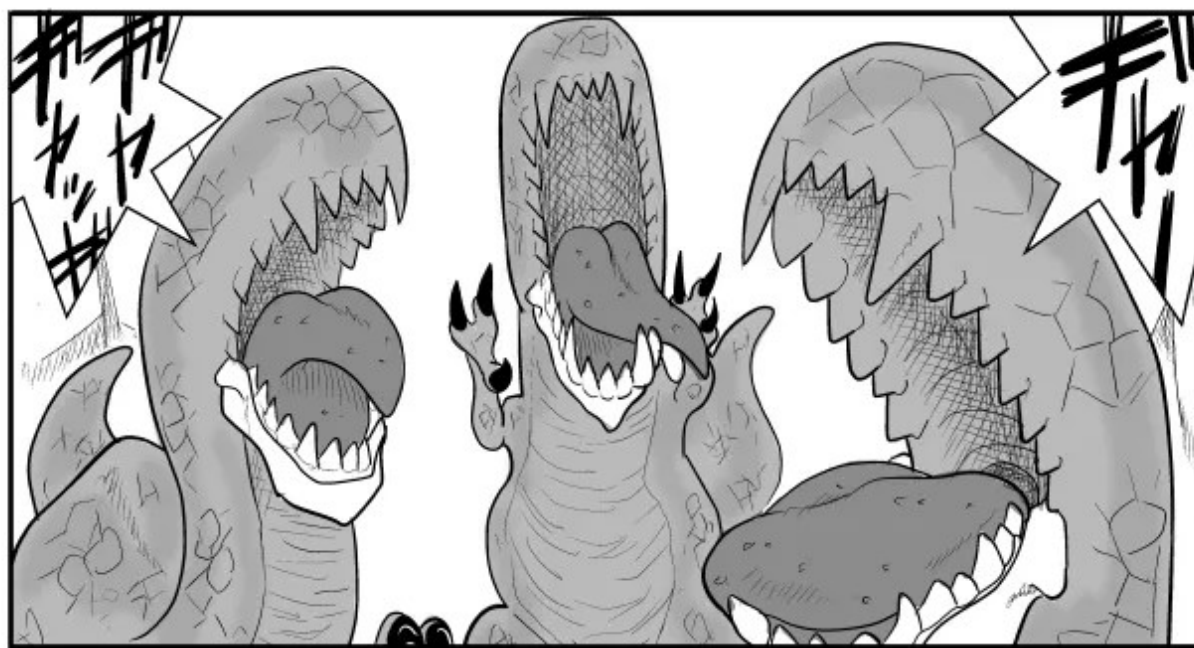
あれは
嘘だ

父も母も
王都で息災に
しておるわ

どこまで
チヨロいんだ
貴様という奴は

今さら
気づいても
その首輪
はめてる限り
遅いかな...

グキッ
グキ
ハ



以前も
経験して
るが
私に
封印
アイテ
ムは
効か
んの
だ
何度
か説
明
し
よう
と
し
た
ろ

おとな
しく
して
たの
は
あく
まで
約束
だっ
たか
ら
だ
と
い
う
の
に

まあ
お互
い
反
省
も
兼
ね
て
訓
練
を
再
開
し
よう

これ
は
訓
練
じ
ゃ
な
く
処
刑
だ
ろ
う
が
ー

坊
ち
ゃ
ま
ー

終

だまされ美剣士コロナ総集編

だまされ美剣士コロナ

成年向



だまされ美剣士コロナ2

成年向

だまされ美剣士コロナ3



成年向

4



だまされ
美剣士 20

成年向

成年向

だまされコトナ5
美剣士

FAKE庵